

指導目標		◎目的や場面に応じ、工夫して話す力、相手の気持ちを考えながら聞く力を身に付けさせ、積極的に話したり聞いたりする態度を育てる。 ◎目的や意図に応じ、構成を考えて書く力を身に付けさせ、進んで文章を書こうとする態度を育てる。 ◎目的や意図に応じ、様々な文章を読み、内容・要旨を捉える力を身につけさせ、読むことを通してものの見方を広げようとする態度を育てる。						
月	章	時数	指導目標	観点別評価基準				
				関心・意欲・態度	話す・聞く	書く	読む	言語知識
4	野原はうたう 声を届ける	5	<ul style="list-style-type: none"> ●詩の中の語句の意味を的確に捉える。 ●音声の働きや仕組みについて関心を持ち、理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の表現に関心をもち、音読の仕方を工夫しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手を意識して、話し方に気を付けながら話している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・作品の特徴や語句の意味を理解し、自分なりの考えをまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・速度や音量、抑揚、強弱などを工夫して音読している。
	書き留める 調べる	2	<ul style="list-style-type: none"> ●日常生活の中からテーマを決め材料を集め、自分の考えを明確にして書く。 ●文章の中の語彙について関心を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを明確にして書こうとしている。 ・語彙に関心を持つ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・集めた情報を整理して記録している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や内容に応じて調べ方を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙に関心をもち、わからない語や注意したい語を調べている。
5	花曇りの向こう	4	<ul style="list-style-type: none"> ●場面の展開や登場人物の描写に着目して、内容を読み取る。 ●作品の展開に注意して、登場人物の気持ちの変化をとらえ、題名に込められた意味を考える。 ●作品の中の語句を的確にとらえ内容を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の展開や登場人物の描写に興味をもって読もうとしている。 			<ul style="list-style-type: none"> ・情景描写に着目し、登場人物の変化を捉えている。 ・気持ちの変化を整理し、題名に込められた意味を捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の心情や行動を表す言葉に着目して作品を読み進めている。
	わかりやすく説明しよう	5	<ul style="list-style-type: none"> ●身近な生活の中から、伝える目的や相手を明確にして情報を集める。 ●説明する観点を決めて情報を整理し、わかりやすい構成を考えて書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材を適切に選択してまとめ、相手にわかりやすく伝える文章を書こうとしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・身近な生活の中から目的や相手に応じた情報を集め、観点を決めて整理して、わかりやすい文章を書いている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・「お気に入りの場所」のよさを表す言葉を用いて、読み手が具体的にイメージできるように書いている。
	漢字の組み立てと部首	2	<ul style="list-style-type: none"> ●漢字の組み立てと部首を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の組み立てに関心を持ち、部首をもとに既習の漢字を調べようとしている。 				<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の組み立てと部首について理解し既習の漢字を調べている。 ・楷書の基本を理解し、それに則って文字を書いている。(硬筆書写)

6	ダイコンは大きな根？	3	<ul style="list-style-type: none"> ● 段落の役割に着目しながら、事実と意見を読み分け、文章の内容を捉える。 ● 筆者の説明の仕方の工夫について考える。 ● に注意する 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な「野菜」について書かれた文章に関心を持ち、段落ごとの内容をまとめようとしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの段落の中心となる内容を要約している。 ・問題提起の段落や根拠を述べている段落など、段落の役割の違いに気づき、筆者の工夫を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・段落の役割を考える際に、文と文、段落と段落を接続する語句に着目している。
	ちょっと立ち止まって	4	<ul style="list-style-type: none"> ● 文章と図の関連や段落と段落の関係に注意して文章の構成を捉える。 ● 筆者の考えをもとに自分の物の見方や考え方を広げる。 ● 文脈における語句の意味を的確にとらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図を使って説明された文章に興味を持ち、文章と図を対応させて読もうとしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の考えをもとに自分のものの見方や考え方を広げている。 ・文章と図の関連や段落の効果を捉えて内容を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指示する語句が表す部分を適切に読み取っている。 ・楷書の基本を理解し、それに則って文字を書いている。(硬筆書写)
	情報の集め方を知ろう	3	<ul style="list-style-type: none"> ● 本などから情報を集めるための方法を理解し、目的に応じて必要な情報の読み取り方を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が設定したテーマについて様々な方法を用いて調べようとしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・本やインターネットを用いて情報を読み取り、テーマに対して必要な情報を選択している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本やインターネット、新聞における事象や行為などを表す多様な語句について理解している。
	話し言葉と書き言葉	2	<ul style="list-style-type: none"> ● 話し言葉と書き言葉の違いについて考え、それぞれの特徴について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・例文を比較して、話し言葉と書き言葉の特徴を理解しようとしている。 			<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉について、それぞれの表現上の特質を理解している。
	詩の世界	3	<ul style="list-style-type: none"> ● 詩を読んで、語句の意味を的確に捉え、内容を理解する。 ● 詩の表現の特徴を捉えて読み、情景を想像する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・興味や関心をもって、詩を読もうとしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・詩の表現から、作者の思いに触れている。 ・詩の情景を想像しながら朗読している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3篇の詩の形や表現の特徴に着目しながら朗読している。
	言葉を集めよう	2	<ul style="list-style-type: none"> ● 観点をもとに多くの言葉を集め、その言葉を使って日常生活を題材として紹介文を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中から観点をもとに多くの言葉を集めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・例文の観点を参考にして多くの言葉を集めて、好きな食べ物についての紹介文を書いている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・紹介文を書くために観点に沿った意味の言葉を多く集めている。
7	空を見上げて	3	<ul style="list-style-type: none"> ● 言葉にはどのような力があるのか読み取り、言葉について考えを深める。 ● 文章の構成や表現の特徴について、自分の考えを持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の持つ力について考えを持とうとしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・「五・七・五」や下の句を読取り内容を理解している。 ・筆者の考えをもとに自分の考え方を広げている。 ・作者の考えを踏まえて人の心を動かす言葉について考えをまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・語句の文脈上における意味を理解し、言語感覚を磨いている。 ・楷書の基本を理解し、それに則って文字を書いている。(硬筆書写)
	文法への扉 1	3	<ul style="list-style-type: none"> ● 言葉の単位とその働きについて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の決まりに関心を持ち、言葉の単位とその働きを理解しようとしている。 			<ul style="list-style-type: none"> ・文法の必要性を知り、言葉の単位と働きについて整理した内容を理解している。

9	光る地平線 私が選んだこの一冊	3	●本から情報を集める方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取る。 ●作品に書かれているものの見方や考え方を捉え自分の物の見方考え方を広くする。	・作品に書かれているものの見方や考え方に興味を持ち、読書紹介に生かそうとしている。			・介することを意識して作品を読んでいる。 ・作品に書かれているものの見方や考え方を捉え、自分のものの見方や考え方を広くしている。	・伝えたい内容に合った言葉や表現を的確に抜き出し、効果的に表現している。 ・楷書の基本を理解し、それに則って文字を書いている。(硬筆書写)
	スピーチをする	7	●話の構成や順序を工夫し、自分の伝えたいことを整理し、相手の反応を踏まえながら話す。 ●声の大きさや速さなど、話し方を意識して聞き手にわかりやすい話し方をする。	・「スピーチの例」を参考に、2分以内で自分が伝えたいことをスピーチにしようとしている。	・「スピーチの例」の構成をもとに、自分の思いや考えを聞き手に伝わるように話している。 ・話し手を意識して、正確に聞き取っている。			・相手が聞き取りやすいように話す速さや声の大きさなどを工夫している。
評価方法・評価場面				授業への取り組み…◎ 授業ノート…◎ 漢字・意味調べノート…◎ 漢字ドリル…◎ 提出物…◎ プリント…◎ 発言…◎ 漢字小テスト…◎ 自己評価…◎	定期テスト…◎ 授業内の活動・発表…◎ スピーチ…◎ スピーチレポート…◎ 授業への取り組み…○	定期テスト…◎ 作文…◎ 小作文…◎ 授業内の活動・発表…◎ ノート…◎ プリント…◎	定期テスト…◎ ノート…○ プリント…○	定期テスト…◎ ノート…○ 漢字小テスト…◎ 文法小テスト…◎ 書写…◎
10	星の花が降るころに	5	●文脈の中で使われている語句の意味を捉え、情景を想像して読む。 ●登場人物の気持ちや行動、場面の展開や描写に着目して読み、自分の考えを持つ。	・作品の展開や登場人物の描写に興味をもって読もうとしている。			・情景描写に着目し、登場人物の心情の変化を捉えている。 ・場面の展開に沿って「私」の気持ちの変化と理由について考えている。 ・登場人物の心情を押さえ、この後の作品の続きを考えている。	・登場人物の心情や行動を表す言葉に着目して作品を読み進めている。
	大人になれなかった弟たちに……	7	●登場人物の行動や情景描写などに着目し、心情を読み取る。 ●表現の特徴や、時代背景を押さえ、作者の思いを捉えながら自分の物の見方や感じ方を見つめなおす。	・時代背景や人物の描写に関心をもって読もうとしている。			・情景や人物描写に着目して登場人物の心情を読み取っている。 ・表現の特徴や時代背景を押さえ、作者の思いを捉えながら、自分の物の見方を広げている。	・繰り返しや「……」などの表現が、効果的に使われていることを理解している。 ・楷書の基本を理解し、それに則って文字を書いている。(硬筆書写)

1 1	わかりやすい案内文を書く	2	●わかりやすく伝えるために、書いた文章の内容を整理し、案内文を工夫して書く。	・事柄や目的に応じた項目を立てて、相手に伝わりやすい案内文を書こうとしている。		・教材の「案内文の下書き」を基に、項目ごとに整理し、読み手を意識してわかりやすい案内文を書いている。	・わかりやすい言葉や慣用表現を適切に用いている。	
	シカの「落ち穂拾い」——フィールドノートの記録から	5	●示されている事実と、筆者の考えとの関係を読み取る。 ●筆者の考えの述べ方や、図表の役割と効果を考える。	・動物の生態など内容に興味をもって読もうとしている。			・図表に着目しながら文章を読み、論理の展開を理解している。 ・意見と事実の読み分け、文章の用紙を捉えている。 ・文章の構成や特徴、小見出しの効果について理解し、自分の考えをまとめている。	・箇条書きや小見出しに着目して読み、その効果について考えている。 ・楷書の基本を理解し、それに則って文字を書いている。(硬筆書写)
	調べたことを報告しよう	4	●課題に合わせて、集めた材料を整理する。 ●調べた内容が分かりやすく伝わるように、構成に沿って文章にまとめる。	・日常生活を振り返って話題を探し、構成を考えてレポートを作成しようとしている		・例を参考にして、調べたことを整理し、構成を工夫してレポートを書いている。		・情報を的確に伝える表現や構成に気付き、自分のレポートに取り入れている。
	漢字の音訓	1	●漢字の音と訓について理解する。	・漢字の音・訓に関心を持ち、漢字の理解を深めようとしている。				・例の漢字を基に漢字の音・訓について理解し、既習の漢字においても音・訓について調べ、語彙を広げている。
	書初めをしよう 毛筆書写	6	●字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書く。	・楷書の基本を理解し、それに則って文字を書こうとしている。				・楷書の基本を理解し、それに則って文字を書いている。
	音読を楽しもう	1	●仮名遣いに注意して音読し、古文の言葉の響きや調子に読み慣れる。	・「いろは歌」を読み、言葉のリズムに親しもうとしている。			・「いろは歌」を音読し、現代語訳を参考に内容に親しんでいる。	・「いろは歌」の言葉の調子や間の取り方などを考えて音読している。
	月に思う	1	●月を題材にした随筆を読み、古典には様々な種類の作品があることを知る。 ●文章に表れているものの見方や考え方を捉える。	・本文を読み、古典の世界に関心を持とうとしている。			・昔の人の季節の感じ方を捉えている。	・歴史的仮名遣いの言葉を正しく読み、現代語訳を参照して文語の意味を捉えている。
1 2	蓬萊の玉の枝	4	●語句に注意しながら、現代の文章と古典の文章とで異なる部分を確認古典の文章の表現の特徴を知る。 ●仮名遣いに注意し、古典のリズムを味わいながら音読し、古典の文章に読み慣れる。	・古典の文章を、興味・関心をもって繰り返し音読しようとしている。			・現代の文章とは異なる表現や表記に注意して物語の展開を捉えている。	・仮名遣いに注意し、古典特有のリズムを味わいながら音読している。

1	今に生きる言葉	4	<ul style="list-style-type: none"> ● 故事成語の由来と意味を理解する。 ● 「矛盾」の書き下し文を音読し、漢文特有の言い回しに読み慣れる。 ● 自分の生活を振り返り、故事成語を使って体験文を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 故事成語の意味や由来に関心を持ち、漢文の言い回しに読み慣れようとしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 調べた故事成語の中から、自分の体験に関するものを選び、体験文を書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代語訳を参考にして、故事成語の由来と意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 例示されている故事成語の由来と意味を理解している。 ・ 漢文特有の言い回しに注意して音読している。
	百人一首をしよう	3	<ul style="list-style-type: none"> ● 百人一首についての理解を深め、古典の世界への興味・関心を広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 百人一首に関心を持ち、基本的ルールを理解して、意欲的に取り組もうとしている。 				<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の言語文化に積極的にふれ、百人一首の成り立ちやルールを理解している。
	指示する語句と接続する語句	3	<ul style="list-style-type: none"> ● 指示する語句と接続する語句の働きや効果について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指示する語句と接続する語句の文章中での働きを理解しようとしている。 				<ul style="list-style-type: none"> ・ 指示する語句と接続する語句の働きや効果について理解している。
	幻の魚は生きていた	5	<ul style="list-style-type: none"> ● 文章の中心的な部分を読み取り、要旨を捉える。 ● 文章に表れている考え方を捉え、自分の見方や考え方を広げる。 ● 筆者の主張に対する自分の考えを、具体的な根拠を挙げて書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章の要旨を捉え、自分の考えを広げようとしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的な根拠を挙げて、自分の考えを書いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章の要旨を捉えている。 ・ 学習を通して自分の見方や考え方を広げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境や生物に関する言葉の意味を理解している。 ・ 楷書の基本を理解し、それに則って文字を書いている。(硬筆書写)
	グループディスカッションをしよう	5	<ul style="list-style-type: none"> ● 日常生活の中から話題を決め、交流を通じて話し合いの材料を集める。 ● 話し合いの話題や方向をとらえて、相手の反応を踏まえて話したり自分の考えをまとめたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話し合いに積極的に参加し、発言したり、他者の発言に耳を傾けたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活の中から話題を決め、交流を通じて話し合いの材料を集めている。 ・ 話し合いの話題や方向を捉え、相手の反応を踏まえて話したり、自分の考えをまとめたりしている。 			
	根拠を明確にして魅力を伝えよう。	4	<ul style="list-style-type: none"> ● 作品を鑑賞し、その魅力を根拠を明確にして文章を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 好きな作品を選び、その魅力を表現しようとしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 根拠を明確にして、その魅力を伝える文章を書いている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 読み手に伝わる鑑賞文にするために、印象や感動を表す言葉を探し、書いている。
2	感じたことを整理する	2	<ul style="list-style-type: none"> ● 感じたことや読み取ったことを、観点を立てて整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵の特徴や感じたことなどを複数の付箋に書き出している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵から感じたことや読み取ったことを観点別に整理できている。 		
	文法への扉 2	2	<ul style="list-style-type: none"> ● 文節どうしの関係、連文節、文の組み立てについて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文の決まりに関心を持ち、文章どうしの関係などについて理解しようとしている。 				<ul style="list-style-type: none"> ・ 文節どうしの関係、連文節、文の組み立てについて整理した内容を理解している。

3	少年の日の思い出	7	●場面展開や人物の描写に注意して作品を読み、登場人物の心情の移り変わりを捉える。 ●文脈の中における語句の意味を正確に捉えて作品を読み、登場人物のものの見方や考え方について、自分の考えを持つ。	・作品を読み、情景や登場人物の気持ちに関心を向けようとしている。		・別の人物を選び、その人物の気持ちや考えを物語の流れに沿って書きかえている。	・場面展開や人物の描写に注意しながら読み、登場人物の心情の移り変わりを捉え、人物のものの見方や考え方について、自分なりに考えている。	・場面描写の言葉や登場人物の心情を表す言葉に着目して作品を読み進めている。
	さまざまな表現方法	2	●言葉の並べ方の工夫や比喩について理解する。	・さまざまな表現の工夫について理解しようとしている。				・言葉の並べ方の工夫や比喩について、それぞれの表現上の特徴などを理解している。
	漢字の成り立ち	2	●漢字に成り立ちについて理解する。	・漢字の成り立ちに関心をもち、漢字の理解を深めようとしている。				・漢字の成り立ちについて理解し、練習問題の漢字を分類している。
	単語の性質を見つけよう	3	●単語の分類について理解する。	・単語の性質について関心をもち、単語の分類を理解しようとしている。				・自立語と付属語、活用の有無、品詞、体言と用言について理解している。
	印象深く思い出を伝えよう	4	●伝えたい自分の気持ちや考えを、相手や目的を考えながら書く。 ●文章を読み返し、わかりやすく、印象深いものになっているかを推敲する。	・自分の考えや気持ちを、相手の目的に合ったメッセージになるように書こうとしている。		・文章を読み返し、わかりやすく、印象深いものになっているかを推敲する。		
	1年間の学びを振り返ろう	5	●伝えたいことを、効果的な図表を入れたポスターにしてまとめ、互いに読み合い、自分の表現に活かす。 ●学んだことの中から題材を選び、材料を集めながら考えをまとめ、整理してポスターを作る。 ●発表内容について、話の構成を工夫して話したり、他のグループの発表を聞いたりする。	・印象に残った題材をポスターにまとめて、協力して発表に取り組もうとしている。	・話の構成を工夫し、聞き手の反応を踏まえながら発表している。	・1年間の国語学習の中から題材を選び、分析したことを整理して整理してまとめている。		・聞き手が興味を持つような言葉や構成を考え、ポスター作りに取り組んでいる。
	ぼくがここに	2	●文脈の中における語句の意味を捉え、表現の特徴について自分の考えを持つ。	・作品の表現の特徴を捉え、朗読に活かそうとしている。			・作品の中の語句の意味や表現の特徴を捉え、自分の考えを持っている。	・語句や表現の効果や特徴に着目している。

<p style="text-align: center;">140</p> <p style="text-align: center;">評価方法・評価場面</p>	授業への取り組み…◎ 授業ノート…◎ 漢字・意味調べノート…◎ 漢字ドリル…◎ 提出物…◎ プリント…◎ 発言…◎ 漢字小テスト…◎ 自己評価…◎ 前期評価…◎	定期テスト…◎ 授業内の活動・発表…◎ 授業への取り組み…○ 前期評価…◎	定期テスト…◎ 作文…◎ 小作文…◎ 授業内の活動・発表…◎ ノート…◎ プリント…◎ 前期評価…◎	定期テスト…◎ ノート…○ プリント…○ 前期評価…◎	定期テスト…◎ ノート…○ 漢字小テスト…◎ 文法小テスト…◎ 書き初め・書写…◎ 前期評価…◎
前期・後期の取組における評価の集計 全体まとめの提示					
年度末の評価					

指導目標		◎言語感覚を豊かにすることによって、思考力・判断力を高める。 ◎言語によって伝え合うことを通して、正確に理解し、表現・伝達する力を身につける。						
月	章	時 数	指 導 目 標	観点別評価基準				
				関心・意欲・態度	話す・聞く	書 く	読 む	言語知識
5	見えないだけ	2	●言葉の用い方や表現の特徴に注意し、自分なりの感想をもちながら読む。 ●詩の感想を交流する。	・比喩的に表現された「見えないだけのもの」についてのイメージを生かし、楽しんで朗読しようとしている。	・詩を読んで感じたことを発表する。		・表現の特徴や、作者のものの見方や感じ方について、自分なりに感想をもっている。	・抽象的な概念を表す語句について関心をもち、語句の意味について調べている。
	アイスプラネット	7	●登場人物の言動や心情を表す表現などに注意して、作品を読み取る。 ●作品に表れているものの見方や考え方について自分の考えをもつ。 ●物語の感想を交流する。	・学習の課題に沿って作品を読み、情景や登場人物の気持ちを想像しようとしている。			・登場人物の言動の意味を考え、内容を理解している。 ・登場人物の言動を手がかりにして、人物の関係や心情の変化を捉えている。	・登場人物の言動や心情を表す言葉に着目して、作品を読み進めている。
	生物が記録する科学 ーバイオロギングの可能性	4	●文章構成や事実・考えの示し方に着目し、説明の仕方の特徴を捉える。 ●説明されている内容を、的確に捉え、ものの見方や考え方を広げる。	・事実と考えの示し方などに注目して、その特徴を捉えようとする。			・文章構成等に注目し説明のしかたの特徴を捉えている。	・語句の意味を的確に捉え発表や話し合いの中で正確に使うことができる。
	メディアと上手につきあうために	2	●メディアの特徴をつかみ、メディアとのつきあい方について自分の考えを持つ。	・メディアの特徴に興味を持ち情報を集めてメディアとのつきあい方を考える。			・さまざまなメディアの特徴を理解し、その活用の仕方や注意点について、自分の考えをまとめている。	・メディアによって文章の形態や展開が異なることに気づくことができる。
	書写	1	●行書の書き方の基本を学ぶ(硬筆)					・楷書と行書の違いを知り、行書の基本的な書き方を知る。
	枕草子	5	●日本の四季を描いた情景描写の巧みさを読み取り、作者の四季の捉え方や感じ方について自分の考えをもつ。 ●朗読を通して言葉の響きや調子を楽しみ、四季折々の風物に寄せる作者のものの見方感じ方に触れる。	・「枕草子」の内容に興味をもち、内容を理解しようとしている。	・「枕草子」の内容にあった朗読をしようとしている。	・自分なりの季節感が効果的に伝わるように、構成や描写を工夫して自分流枕草子を書いている。	・描写の効果を考えて内容を理解し、作者の季節に対するもの見方や考え方について、感想をまとめている。	・「枕草子」の文体の特徴を生かして朗読している。
	魅力的な提案をしよう	2	●情報を多様な方法で集め、聞き手を想定して整理し、わかりやすい説明の構成や展開を考える。 ●資料や機器を活用し、写真や図表などと言葉を効果的に組み合わせで説明する。	・グループの話し合いに進んで参加し、聞き手や目的を意識したプレゼンテーションを行おうとしている	・多様な方法で情報を集め、目的や聞き手に合わせて、材料を整理して、伝えたいことが明確な構成、展開を作ることができる。			・相手や目的に応じて、話の構成や話し方を工夫している。
	書写	2	●点画の連続と省略に注意し、行書の基本的な書き方を知る。					・点画の連続と省略を意識しながら、行書で字を書くことができる。
新しい短歌のために 短歌を味わう	3	●解説文の筆者のもの見方や考え方について、知識や体験と関連づけて自分の考えをもつ。 ●短歌に示された語句の効果的な使い方や描写の効果を理解し、情景を想像しながら朗読する。 ●心情や情景が伝わるように、描写を工夫して短歌を創作する。	・短歌の形式や表現に興味をもち、その世界に親しもうとしている。	・短歌に示された語句の効果的な使い方や描写の効果を理解し、情景を想像しながら朗読する。	・学習した短歌の形式や表現の工夫を参考にして、自分の体験や思いが伝わるように短歌を作っている。	・短歌を語句の使い方や描写の工夫に触れながら読み味わい、感想をまとめている。	・短歌に使われている言葉の語感の豊かさや、口語と文語の違いなどに気づくことができる。	

6	盆土産	6	<ul style="list-style-type: none"> ●方言や心情を表す語句の効果的な使い方を理解し表現に即して優しさや温かさなどを読み味わう。 ●描写の効果、登場人物の言動の意味などに注意し、人柄や心情を読み取る。 ●内容や表現のしかたについて感想を交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の人柄や思いを文章表現から読み取ろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の心境や状況を考えながら朗読しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・方言などの語句の使い方や描写の効果に着目し、登場人物の人柄や心情を捉えながら作品を読み味わっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・方言について興味をもち、作品の読み取りに役立てている。
	字のない葉書	3	<ul style="list-style-type: none"> ●人物の言動や様子を描写した表現、心情を表す語句に着目して読み、その人柄や心情を捉える。 ●筆者の父親への思いや、父親の家族への愛情を読み取り、家族のきずなや人間関係について自分の考えをもつ。 ●内容について感想を交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・父親に対する「私」の思いや家族のきずなを表している表現を探そうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「私」の気持ちが伝わるように注意しながら朗読する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人物の言動や心情を表す語句の効果的な使い方に着目して父親への「私」の思いを読み取り、家族のきずなに対する筆者の考え方と比べながら自分の考えをまとめ、友達と交流している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・慣用句や多義的な意味を表す語句などにも着目して読んでいる。
7	スピーチをする	9	<ul style="list-style-type: none"> ●話の構成や順序を工夫し、自分の伝えたいことを整理し、相手の反応を踏まえながら話す。 ●声の大きさや速さなど、話し方を意識して聞き手にわかりやすい話し方をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「スピーチの例」を参考にして、3分以内で自分が伝えたいことをスピーチにしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「スピーチの例」の構成をもとに、自分の思いや考えを聞き手に伝わるように話している。 ・話し手を意識して、正確に聞き取っている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・相手が聞き取りやすいように、話す速さや声の大きさなどを工夫している。
	扇の的 —「平家物語」から	5	<ul style="list-style-type: none"> ●冒頭部分を音読することで古文の表現に慣れ古典の世界を楽しむ。 ●冒頭部分に書かれたものの見方や考え方について自分なりに想像する。 ●古典の文を朗読して、その独特の調子やリズムに慣れ作品を楽しむ。 ●登場人物の心情を想像しながら作品を読み、古典に描かれたものの見方や考え方について自分の考えをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「平家物語」冒頭部分を音読して、作品の世界を楽しもうとしている。 ・「平家物語」のもつ独特の調子やリズムを意識して朗読し、登場人物の心情を知ろうとしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・冒頭部分の内容から当時の無常観という考え方について、感想をもっている。 ・内容を読んで、登場人物の心情や、平家と源氏の戦に対する考え方の違いなどについて感想をまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「平家物語」の独特の調子とリズムを捉えながら音読している。 ・作品の朗読を通して、登場人物の心情や情景の描写などについて理解している。
9	仁和寺にある法師 —「徒然草」から	4	<ul style="list-style-type: none"> ●古典の文章を朗読してその表現に慣れ、作品を読み味わう。 ●描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、作者のものの見方や考え方について自分の考えをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「徒然草」の表現に慣れ親しみ、内容について理解しようとしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・「徒然草」を朗読し、表現を味わいながら、作者の考え方について、自分の感じ方と比較して感想をまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「徒然草」を朗読し、登場人物の行動や心情について理解している。
	漢詩の風景	3	<ul style="list-style-type: none"> ●漢詩特有の言葉遣いや調子を生かして読み味わう。 ●漢詩とその解説文を読み、詩の情景や人物の心情を想像するとともに、漢詩特有の表現について考えをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢詩特有の言葉遣いや調子に親しみ、詩に描かれている情景を考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢詩特有の言葉遣いや調子を生かしながら文章を朗読する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢詩三編と解説文を朗読し、漢詩独特の言い回しに慣れ親しみながら、詩の情景や人物の心情を想像している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢詩特有の言葉遣いや調子を知り、リズムを味わいながら朗読している。
10	書写	6	<ul style="list-style-type: none"> ●行書を書き慣れる。(毛筆) 				<ul style="list-style-type: none"> ・点画の連続や省略の仕方を知り、行書の字形を確認しながら書くことができる。
	世界で一番の贈り物	1	<ul style="list-style-type: none"> ●登場人物の言動の意味や展開、表現のしかたなどに着目して読み、作品に込められたものの見方や感じ方を捉え、自分の考えを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書掲載の物語を興味をもって読み、さらに、自分の興味関心に沿って、さまざまな本を読み広げようとしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・自分が推薦する本の魅力が伝わるように、情報を集め、比較検討し、表現や構成を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品に込められたメッセージや文学作品としてのよさについて、自分の考えをもち、友達と話合っている。
評価方法・評価場面			授業への取り組み…◎ 授業ノート…◎ 漢字・意味調べノート…◎ 漢字ドリル…◎ 提出物…◎ プリント…◎ 発言…◎ 漢字小テスト…◎ 自己評価…◎ スピーチ…◎ スピーチレポート…◎	定期テスト…◎ 授業内の活動・発表…◎ 授業への取り組み…◎ スピーチ…◎ スピーチレポート…◎	定期テスト…◎ 作文…◎ 小作文…◎ 授業内の活動・発表…◎ ノート…◎ プリント…◎	定期テスト…◎ ノート…◎ プリント…◎	定期テスト…◎ ノート…◎ 漢字小テスト…◎ 文法小テスト…◎ 書写…◎

1 1	モアイは語る -地球の未来	6	●文章の構成や論の展開に着目して、筆者の主張を捉える	・筆者が主張していることを読み取ろうとしている。			・序論の問題提起に対応した本論の説明や、本論を受けた結論など、論の展開を押さえて、筆者の主張を捉えている。	
	気持ちを込めて書こう 手紙を書く	6	●伝えたい気持ちや用件を明確にし、効果的に伝わるよう表現や構成を工夫して手紙を書く。	・手紙の特徴や書式に関心を持ち、相手に応じて書こうとしている。		・伝えたい内容を明確にし、効果的に伝わるように表現や構成を工夫して書いている。 ・形式を整え推敲して相手や目的に応じて手紙を書いている。	・時候の挨拶や「拝啓」「敬具」など手紙特有の言葉や、敬語を適切に使っている。	
	敬語	2	●日本語の敬語表現の特徴について理解を深め、その使い方を身につけ、相手や目的に応じて言葉を工夫することの大切さに気づく。	・コミュニケーションにおける敬語の役割を理解しようとしている。				・敬語には丁寧語・尊敬語・謙譲語があることを理解し、相手に応じて使っている。
	同じ音訓をもつ漢字	2	●同訓異字や同音異義語などの意味・用法の違いについて理解する	・漢字の訓や音に関心を持ち、同じ訓の漢字や同音異義語に対する理解を深めようとしている。				・文脈や言葉の意味に注意して、同じ訓をもつ漢字、同音異義語の使い分けができています。
1 2	走れメロス	8	●語句の効果的な使い方を理解し、表現の巧みさを読み味わい、描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てる。 ●表現のしかた及び主人公の考え方について、根拠となる部分を挙げて自分の考えをもつ。 ●文章の形式を選び、表現のしかたを工夫して書く。 ●物語の感想を、その理由とともに交流する。 ●表現のしかたを工夫して文章を書く。	・登場人物の行動や考え方について自分の考えをもとうとしている。	・登場人物の気持ちを考えて朗読しようとしている。	・文章の題材と形式を選び、形式に応じて文章を書いている。	・登場人物の変化を読み取り、作品に描かれた「友情」や「正義」に対する考え方と自分の考えを比べている。	・抽象的な概念を表す語句や難語句に関心を持ち、語句の意味について調べている。
1	書写	6	●新年の抱負を書き初めに書き表す。					・行書の特徴を理解し、用紙に対する配列を工夫して書くことができる。
	話し合って考えを広げよう	5	●社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定して考えをまとめ論理的な構成を考えて話す。 ●相手の意見や考えを尊重しながら目的に沿って討論し、互いの発言を比較・検討しながら自分の考えを広げる。	・テーマについて自分の考えをまとめ、討論に参加し、さらに考えを深めようとしている。	・異なる立場を想定して考えをまとめ、説得力のある根拠を述べようとしている。			
	根拠を明確にして意見を書こう	4	●社会生活の中から課題を決めて、適した情報を集めて自分の考えをもつ。 ●自分の意見と根拠を明確にして、効果的に伝わるよう文章構成などを工夫して書く。	・自分の立場や意見が伝わるように、根拠を明らかにして書こうとしている。		・自分の立場を決め、根拠を明らかにして、構成を工夫して文章を書いている。		・意見文にふさわしい論の展開や、語句の使い方などに気づいている。
	書写	2	●手紙やはがきの書き方を知り、正しい書式で書く。					・書式の決まりを理解し、目的に応じて工夫して書くことができる。
	百人一首	4	●百人一首についての理解を深め、古典の世界への興味・関心を広げる。	・百人一首の基本的ルールを理解し、ゲームに意欲的に取り組める。				
2	小さな町のラジオ発	2	●多様な方法で選んだ本や文章のものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつ。	・文章に描かれた状況を思い浮かべながら読み、同様のテーマやジャンルなどの本に、関心を広げようとしている。			・筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもっている。	・事象や出来事を伝える文章で用いられている語句に関心を持ち、理解している。
	同音異義語	4	●同音異義語の意味や用法について理解し、語感を磨き、語彙を豊かにする。	・教科書の例や身近にある類義語・対義語・多義語などに興味を持ち、語彙を増やそうとしている。				

3	表現の仕方を工夫して書こう	4	●場面や気持ちの変化が効果的に伝わるように、文章の構成や描写を工夫して書く。 ●書いた文章を互いに読み合い、意見や感想を交流して自分の表現に役立てる。	・自分の体験の中から題材を探し、表現を工夫しようとしている。		・場面の様子や気持ちの変化が効果的に伝わるように描写や構成を工夫して書いている。		・情景や心情を効果的に伝えるために、語句の選択や文章表現、語感にも注意して、文章を書いている。
	方言と共通語	4	●方言と共通語の果たす役割について理解する。	・方言や共通語に関心をもち、それぞれの使われ方について考えようとしている。				・方言と共通語の役割や特徴について理解している。
	科学はあなたの中にある	5	●抽象的な語句に注意しながら、事例と主張の関係を考えて内容を理解する。 筆者の「科学」に対する考え方について、知識や体験を結び付けて考える。	・自分の知識や体験と照らし合わせながら、文章を読み、考えを深めようとしている。	・資料やデータを見ながら自分の意見や考えを発表し合う。		・事例と主張の関係を捉えて、筆者の見方や考え方を理解している。	・文章中で使われている抽象的な語句の意味を必要に応じて調べ、自分でも使おうとしている。
	本の世界を広げよう	4	●物語を読み、内容や表現のしかたについて感想を交流する。	・文章に描かれた状況を思い浮かべながら読み、同様のテーマやジャンルなどの本に、関心を広げようとしている。		・テーマ別など、本の種類を工夫し読書記録を書いている。	・筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもっている。	
	助詞	7	●助詞の役割と性質について理解する。	・付属語について関心をもち、働きと種類を理解しようとしている。				・助詞と助動詞の働きや種類について整理した内容を理解している。
評価方法・評価場面			授業への取り組み…◎ 授業ノート…◎ 漢字・意味調べノート…◎ 漢字ドリル…◎ 提出物…◎ プリント…◎ 発言…◎ 漢字小テスト…◎ 自己評価…◎	定期テスト…◎ 授業内の活動・発表…◎ 授業への取り組み…○	定期テスト…◎ 作文…◎ 小作文…◎ 授業内の活動・発表…◎ ノート…◎ プリント…◎	定期テスト…◎ ノート…○ プリント…○	定期テスト…◎ ノート…○ 漢字小テスト…◎ 文法小テスト…◎ 書写…◎	
前期・後期取り組みにおける評価の集計 全体のまとめの提示								
年度末の評価								

指導目標		◎言語感覚を豊かにすることによって、思考力・判断力を高める。 ◎言語によって伝え合うことを通して、正確に理解し、表現・伝達する力を身につける。						
月	章	時数	指導目標	観点別評価基準				
				関心・意欲・態度	話す・聞く	書く	読む	言語知識
4	春に	2	<ul style="list-style-type: none"> ●作者の思いと自分の体験を重ねながら朗読に意欲的に取り組む。 ●作品中の語句やその効果を読み取り朗読に活かす。 ●作品中に用いられた表現技法の効果を抑える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●様々な感情が沸き起こる様子を想像しながら、それを活かした朗読をしようとしている。 			<ul style="list-style-type: none"> ●対照的な言葉を並べていることの効果に気づき、それを活かした朗読を考えている。 ●感情が揺れている様子を読み取り、それに対する共感や反論を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●反復や比喻などの表現技法の効果について考え、それを朗読に活かそうとしている。
	スピーチ	5	<ul style="list-style-type: none"> ●新聞記事の中から話題を探し、記事の内容を正確に読み取り、自分の感想や考えを持つ。 ●話す相手を意識して、話し方を工夫する。 ●聞き取った内容を評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新聞に興味を持ち、気になる記事を意欲的に探そうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●相手の表情や反応に注意しながら、適切に説明を補足したり、わかりやすい言葉に言い換えたりしている。 ●仲間の話の内容を理解し、新たな価値観を知り、自分のもの見方や考え方を深めている。 		<ul style="list-style-type: none"> ●新聞記事の内容を正確に読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●相手や場面に応じた言葉遣いに注意し、敬語を適切に使っている。
5	万葉・古今・新古今	6	<ul style="list-style-type: none"> ●和歌の世界に触れる楽しさを味わい、進んで作品を読む。 ●三大和歌集の代表的な和歌について、歴史的背景やそれぞれの和歌の特徴を捉えながら読み味わう。 ●それぞれの和歌について、語句の使い方や表現上の工夫に注意して読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新元号の典故について、興味を持って知ろうとしている。 ●和歌を音読して古典のリズムに親しみ、和歌に表現された情景や心情を捉えようとしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ●和歌を現代短歌で訳すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●語句の使い方や表現の工夫に注意して和歌を読んでいる。 ●和歌の表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●それぞれの和歌集の歴史的背景や特徴を捉え、和歌の鑑賞に活かしている。
	握手	5	<ul style="list-style-type: none"> ●登場人物の生き方や考え方、作品の構成などに関心を持つ。 ●回想と現在が交錯する構成を理解し、登場人物の言動や描写、エピソードから、人物像やその生き方、考え方を読み取る。 ●語句や表現技法の効果的な使い方について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●作品を読み、その良さや特徴について、自分の考えを深めようとしている。 			<ul style="list-style-type: none"> ●回想のきっかけとなる事柄に着目し、回想と現在の関係、エピソードの順番などを整理している。 ●ルロイ修道士の人物や考え方、生き方、それに対する「わたし」の気持ちを読み取っている。 ●指言葉や握手の象徴性、過去と現在を交錯させる構成など、自分なりに批評の観点を選び、作品を読み深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●語句や表現技法の文章の中での意味や効果を捉えている。
6	魅力的な紙面を作ろう	4	<ul style="list-style-type: none"> ●内容にふさわしい文章の形態や素材を選び、紙面構成を工夫して書く。 ●書いた文章を読み返し、文章構成や表現、紙面の体裁を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分が書く文章に合った形態を選び、進んで文章を書こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●より良い紙面構成について、仲間と内容を相談したり、アイデアを出し合ったりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●内容に合った文章の形態を選び、素材の配置など、紙面構成を工夫している。 ●文章を読み返し、形態に合った文章校正や効果的な表現になるよう、紙面の体裁を整えている。 		<ul style="list-style-type: none"> ●選んだ文章形態に合った語句や表現を意識して使っている。 ●見出しの文言を工夫している。
	論語	3	<ul style="list-style-type: none"> ●昔の人の生き方や考え方について、自分たちの生活と関連付けて考え、感想を話し合ったり文章にまとめたりする。 ●「論語」の言葉を読み、孔子の人間の生き方についての観察や思索を捉え、自分の物の見方や考え方を深める。 ●「論語」の古典における位置づけを知り、「論語」に親しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「論語」の四つの章句について自分の考えを持ち、グループなどで話し合ったり、文章にまとめたりしている。 			<ul style="list-style-type: none"> ●孔子の人間の生き方に対する鋭い観察や深い思索に触れ、現代の自分たちの生活と比べながら、その言葉を実感として捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「論語」の古典における位置づけを理解し、内容に親しんでいる。
	月の起源を探る	5	<ul style="list-style-type: none"> ●月の成り立ちや、科学的なものの見方、考え方について興味を持つ。 ●説明の順序や図、小見出し、語句の用い方に着目し内容を捉える。 ●筆者の論理の展開を捉え、科学的なものの見方や考え方について自分の考えをもつ。 ●説明に用いている語句に注意しながら、読むことを通して、語彙を 	<ul style="list-style-type: none"> ●月について思い浮かぶことや知りたいことを書き出している。 			<ul style="list-style-type: none"> ●図と本文との対応を確かめながら読み、文章の内容を捉えている。 ●問題提起やそれに対する仮説や検証の内容を的確に捉えている。 ●筆者の科学的なものの見方や考え方について自分の考えを述べている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「仮説」「検証」といった、論理的展開を支える語句の、文脈での使われ方を確かめている。 ●接続語に注意し、それを効果的に用いると順序立てて説明できることを確かめている。

		増やし語感を磨く。						
7	和語・漢語・外来語	1	●和語、漢語、外来語の使い分けに注意し、語感を磨き語彙を豊かにする。	●和語、漢語、外来語の使い分けを理解しようとしている。				●和語、漢語、外来語のそれぞれを理解し、相手や場面に応じて適切に使い分けている。
	俳句の「可能性」	5	●季語や切れ字に注意しながら、具体的な言葉や表現に即して情景や心情を想像し、俳句の世界に親しむ。 ●感動の中心が伝わるよう、語句や語順、表現の仕方を工夫して俳句を作る。 ●語句の効果的な使い方に注意し、語感を磨き、語彙を豊かにする。 ●俳句を読む楽しさを知り、想像を働かせながら読み味わう態度を養う。	●俳句を味わい、印象的な言葉や表現を書き抜いている。 ●意欲的に俳句を創作している。		●感動が効果的に伝わるよう、自分の経験を工夫して表現している。	●俳句から想像した世界や感想を、作品中の言葉や表現に即してまとめている。	●語句の使われ方の工夫に注意して、作品を読んだり、俳句を作ったりしている。
	「批評」の言葉をためる	3	●文脈における語句の意味に気をつけながら、「批評する言葉」についての筆者の考えを読み取り、自分の考えを深める。	●進んで文章を読み、内容を理解しようとしている。 ●自分の語彙を豊かにしようとしている。			●文脈における語句の意味に注意して読み、筆者の考えを捉え、自分の考えを深めている。	●抽象的な言葉の意味を捉えている。
9	挨拶	2	●比喻や象徴的な表現に着目し、作者のものの見方や考え方を捉える。 ●詩に表現されている内容と、現代社会の状況を重ね合わせながら考えを深める。	●作品を読み、人と人との関わりについて考えようとしている。			●比喻や象徴的な表現に着目し、作者の思いを読み取っている。 ●作品に込められた思いを、詩の世界と現実の世界のあり方とを重ね合わせながら考え、自分の言葉で説明している。	●詩の一語一語を注意して読み、語感を磨き語彙を豊かにしている。
	奥の細道	5	●古典の文章を、表現の仕方や文体の特徴に着目して読み味わう。 ●歴史的背景などを考えながら、作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えを持つ。	●俳句に込められた芭蕉の思いを考えようとしている。			●作品の表現の仕方や文体の特徴に着目しながら読んでいる。 ●芭蕉の感じたことをふまえながら、選んだ俳句が心に響いた理由を述べている。	●歴史的背景をふまえながら作品を読んだり、古典の一節を引用した文章を書いたりして、古典の世界に親しんでいる。
10	新聞の社説を比較しよう	5	●社説を読み、主張や論理の展開、表現の仕方を捉える。 ●一つの話題に関する複数の文章を読み比べ、主張や構成について評価し、ものの見方や考え方を広げる。 ●構成や論理の展開を工夫し、資料を適切に引用して意見を主張する文章を書く。	●二つの社説を読み、主題や論理の展開の違いに目を向けようとしている。		●社説を元にテーマを決め、構成や引用する資料を工夫して意見を書いている。	●構成や展開、表現の仕方など観点に沿ってまとめている。 ●内容の違いを読み比べ、主張や構成について評価し、ものの見方や考え方を広げている。	●新聞で用いられる言葉の特徴を捉えている。
	作られた「物語」を超えて	4	●筆者の考えを表す語句や論理の展開に着目して主張を捉え、表現の仕方について評価する。	●教材文に興味を持ち、自分の考えを広げようとしている。			●語句や論理の展開、表現の仕方などについて自分なりに評価している。 ●読み取ったことを踏まえ、これからの「新しい世界」について自分の考えを持っている。	●比喩的に用いられている言葉の意味に気づいている。
	話し合っ提案をまとめよう	6	●話し合いが効果的に展開するように、進行の仕方を工夫する。 ●社会生活の中から課題を見つけ、その解決に向けて説得力のある提案をし、自分のものの見方や考え方を深める。 ●話し合いが効果的に展開するように進行を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かし合う。	●話し合いの進め方などについて考えようとしている。 ●自分が取り組みたい課題を考えようとしている。	●話し合いが効果的に展開するように、論点を整理するなどして進行を工夫している。 ●社会生活の中から話題を決めて資料などを活用して提案し、話し合いを通して自分のものの見方や考え方を深めている。 ●観点に沿って論点を整理し、長所を生かしてより良い結論になるように話し合いを進行している。			●話し合いに適した言葉遣いを意識して発言している。 ●話し合いという場を意識し、適切な言葉遣いをしている。
11	批評文を書く	5	●社会生活の中から関心のある事柄を決め、観点を立てて分析し、考えを深める。 ●論理の展開や表現の仕方を工夫し、説得力のある文章を読み合っ、ものの見方を深める。	●社会生活の中の事柄について、自分の意見を明確にして批評文を書くようとしている。		●分析のための観点を示し、判断や批評の根拠を明確にし、資料を適切に引用して、説得力のある構成で批評文を書いている。 ●友達の書いた批評文から参考になる部分や表現を指摘し、自分の表現に役立てている。	●自分の意見を効果的に表現するために、批評するときの言葉を適切に使い分けている。	

12	故郷	6	●作品からその時代背景と社会の特徴を捉え、その中で生きる人と人とのかかわりについて考える。 ●場面や登場人物の設定、情景描写、心情表現に着目し内容を捉える。 ●主人公のものの見方と、登場人物の生き方の変化を捉え、その時代と社会の中で生きることを考える。 ●情景描写と人物描写に用いられる表現や語句に着目し、それらの言葉を用いて考えを説明する。	●作品の内容や言葉から、作品中の時代と社会の特徴を読み取り、登場人物の生き方についての考察に活かしている。			●帰郷後の現在の場面と回想場面の違いについて理解し、物語の構成について考えている。 ●登場人物のそれぞれの生き方を比較し、特に、旧友と私の間を隔てる「壁」について考えている。 ●「私」の考え方について、その時代と社会的な背景をふまえながら批評している。	●作品中の語句や表現の意味を理解し、自分の考えを説明するときに、適切に用いている。	
	書き初め	3	●身の回りの多様な文字に関心をもち、効果的に文字を書く。	●日本の伝統文化である書き初めに関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。				●行書の特徴を理解し、用紙に対する配列を工夫して書くことができる。	
	文法	5	●2年生までに学習した文法の知識を確かめ、理解を深める。	●三年間の文法学習を振り返り、苦手な箇所を克服しようとしている。				●文節の区切りや品詞の違いについて理解している。	
	初恋	2	●詩における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して読み、人間、社会、自然などについて考え、自分の意見を持つ。	●進んで朗読し、詩の世界を味わおうとしている。			●表現や語句の効果に着目し、作者の思いについて、自分の状況と照らし合わせながら説明している。	●文語特有の表現を味わい、語感を磨いている。	
	誰かの代わりに	5	●現代社会の可能性や困難、自分の生き方について考え、意見を持つ。 ●文脈における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して論理の展開の仕方を捉え、内容の理解に役立てる。	●現代社会の特徴を知り、可能性や困難、自分の生き方について考えようとしている。			●筆者の主張を捉え、現代社会や生き方に対する自分の意見を持っている。 ●抽象的な語句や論理の展開の仕方を捉え、内容を理解している。	●文章中の抽象的な語句に興味を持ち、意味や類義語等を調べている。	
	私を束ねないで	3	●詩における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して読み、自分の可能性や生き方などについて考え、自分の意見を持つ。	●表現の特徴や作者の思いを捉え、自分の考えを持つようとしている。			●詩における語句の効果的な使い方や表現の工夫に注意して読み、自分の可能性や生き方などについて考え、自分の意見を持っている。	●語感を磨き、語彙を豊かにしている。	
	百人一首	3	●百人一首についての理解を深め、古典の世界への興味・関心を広げる。	●百人一首の基本的ルールを理解しゲームに意欲的に取り組もうとしている。				●百人一首の基本的ルールを理解し、ゲームに意欲的に取り組んでいる。	
3	読書	3	●好きな本を読み、内容やその本の魅力について感想を交流する。	●文章に描かれた状況を思い浮かべながら読み、同様のテーマやジャンルなどの本に、関心を広げようとしている。	●ビブリオバトルを通じて、本の魅力を自分の言葉で仲間に伝えようとしている。		●筆者のものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもっている。		
評価方法・評価場面				授業への取り組み…◎ 授業ノート…◎ 漢字ドリル…◎ 提出物…◎ プリント…◎ 発言…◎ 自己評価…○	定期テスト…◎ 授業内の活動・発表…◎ 授業への取り組み…○	定期テスト…◎ 作文…◎ 小作文…◎ 授業内の活動・発表…◎ ノート…◎ プリント…◎	定期テスト…◎ ノート…○ プリント…○	定期テスト…◎ ノート…○ 漢字テスト…◎ 文法小テスト…◎ 書写…◎	
前期・後期取り組みにおける評価の集計 全体のまとめの提示									
年度末の評価									

指導目標		広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。					
月	章	時数	指導目標	観点別評価基準			
				社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
4月	【地理的分野】 第1編 世界のさまざまな地域 第1章 世界の姿	10	●地球儀や世界地図を活用し、緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国の名称と位置、地域区分などを取り上げ、世界の地域構成を大観させる。	緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置、地域区分などを基に、世界の地域構成に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。	世界の地域構成を緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置、地域区分などを基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	地球儀や世界地図など世界の地域構成に関する様々な資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	世界の地域構成について、緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置、地域区分などを理解し、その知識を身に付けている。
5月	第2章 世界各地の人々の生活と環境	10	●世界各地における人々の生活の様子とその変容について、自然及び社会的条件と関連付けて考察させ、世界の人々の生活や環境の多様性を理解させる。	世界各地の人々の生活と環境の多様性に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。	世界各地の人々の生活と環境の多様性を、自然及び社会的条件と関連付けた人々の生活の様子とその変容を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	世界各地の人々の生活と環境の多様性に関する様々な資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	世界各地の人々の生活と環境の多様性について、自然及び社会的条件と関連付けた人々の生活の様子とその変容を理解し、その知識を身に付けている。
6月 7月 9月 10月	【歴史的分野】 序章 年代や時代区分の表し方 第1章 原始と古代の日本 1 日本のあけぼのと世界の文明 2 「日本」の国の成り立ち 第2章 中世の日本 1 武家政治の成立	8 20 10	●歴史を学ぶ意欲を高め、その意義について考える。年代の表し方や時代区分についての基本的な内容を理解する。 ●古代までの日本で暮らす人々の生活や文化に興味をもち、追究しようとする事ができるようにする。 ●鎌倉幕府の成立などを通して、武家政治の特色を考えさせ、武士が台頭して武家政治が成立し、その支配が次第に全国に広まるとともに、東アジア世界との密接なかかわりがみられたことを理解させる。 ●農業など諸産業の発達などを通して、武家政治の展開や民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解させる。	歴史資料について関心を持ち、意欲的に調べようとする。 古代までの歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に追究し、古代までの文化遺産を尊重しようとする。 武家政治の成立とその支配の広まり、東アジア世界との密接な関わりなど、中世の歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に追究し、中世の特色を捉えようとするとともに、中世の文化遺産を尊重しようとする。	歴史には様々な時代区分の仕方があることについて考察し、歴史モノサシなどを活用して、適切に表現している。 古代までの歴史的事象から課題を見だし、古代までの特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 ・鎌倉幕府の成立や武家政治の特色について多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 ・農業など諸産業の発達について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	適切な情報を選択して、図表なども用いてまとめている。 年表や歴史地図、映像など古代までに関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりして。 ・鎌倉幕府の成立などに関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ・農業など諸産業の発達などに関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	小学校で学習してきた歴史上の人物の活躍した時代とその事績について理解している。 古代までの特色などを、世界の歴史を背景に理解し、その知識を身に付けている。 ・武士が台頭して武家政治が成立し、その支配が次第に全国に広まるとともに、東アジア世界との密接な関わりがみられたことを理解し、その知識を身に付けている。 ・武家政治の展開や民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解し、その知識を身に付けている。
前 期				評 価			
評価方法・評価場面				授業への取り組み…◎ ノート…○ プリント…◎ ・授業にまじめに参加し、発言等も含め、熱心に取り組んでいる。	定期テスト…◎ ノート…◎ プリント…○ 小テスト…○ ・1つの社会的事象を様々な角	定期テスト…◎ ノート…○ プリント…◎ 小テスト…◎ 地形図…◎ ・テーマに沿って資料を収集	定期テスト…◎ 小テスト…○ プリント…◎ ・社会科に関する事柄について、その意義や特色、相互の関連を理解し、その知識

				・プリント等の課題に着実に取り組み提出できる。	度から考察することができる。	し、加工して発表することができる。	を身につけている。
10月 11月	【歴史的分野】 第2章 中世の日本 2 武家政治の動き	10	●南北朝の争乱と室町幕府、東アジアの国際関係、応仁の乱後の社会的な変動などを通して、武家政治の特色を考えさせ、武家政権が成立し、その支配が次第に全国に広まるとともに、東アジア世界との密接なかかわりがみられたことを理解させる。 ●農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、禅宗の文化的な影響などを通して、武家政治の展開や民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解させる。	武家政権の成立とその支配の広まり、東アジア世界との密接な関わり、武家政治の展開や民衆の成長を背景とした社会や文化など、中世の歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に追究し、中世の特色を捉えようとするともに、中世の文化遺産を尊重しようとする。	・南北朝の争乱と室町幕府、東アジアの国際関係、応仁の乱後の社会的な変動や武家政治の特色について多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 ・農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、禅宗の文化的な影響などについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・南北朝の争乱と室町幕府、東アジアの国際関係、応仁の乱後の社会的な変動などに関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ・農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、禅宗の文化的な影響などに関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・武家政権が成立し、その支配が次第に全国に広まるとともに、東アジア世界との密接な関わりがみられたことを理解し、その知識を身につけている。 ・武家政治の展開や民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解し、その知識を身につけている。
12月 1月 2月	【地理的分野】 第3章 世界の諸地域 アジア ヨーロッパ アフリカ 北アメリカ 南アメリカ オセアニア	30	●世界の諸地域について、各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる。地理的事象を取り上げ、それを基に主題を設けて、それぞれの州の地域的特色を理解させる。	世界の諸地域の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。	世界の諸地域の地域的特色を、各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる主題を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	世界の諸地域の地域的特色に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	世界の諸地域について、各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる主題を基に地域的特色を理解し、その知識を身につけている。
3月	第4章 世界のさまざまな地域の調査	7	●世界の諸地域に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる地理的事象を取り上げ、様々な地域又は国の地域的特色をとらえる適切な主題を設けて追求し、世界の地理的認識を深めさせるとともに、世界の様々な地域又は国の調査を行う際の視点や方法を身につけさせる。	世界の様々な地域の調査とその地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追求し、捉えようとしている。	世界の様々な地域的特色をとらえる適切な主題を設定し、世界の様々な地域の調査を行う際の視点や方法を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	世界の様々な地域の調査とその地域的特色に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	世界の様々な地域の調査について、地域的特色とともに、世界の様々な地域の調査を行う際の視点や方法を理解し、その知識を身につけている。
学 年 末 評 価							
評価方法・評価場面				授業への取り組み…◎ ノート…○ プリント…◎ ・授業にまじめに参加し、発言等も含め、熱心に取り組んでいる。 ・プリント等の課題に着実に取り組み提出できる。	定期テスト…◎ ノート…◎ プリント…◎ 小テスト…○ ・1つの社会的事象を様々な角度から考察することができる。	定期テスト…◎ ノート…○ プリント…◎ 小テスト…◎ ・データに従い、図やグラフ、表を作成し、発表することができる。	定期テスト…◎ 小テスト…○ プリント…◎ ・社会科に関する事柄について、その意義や特色、相互の関連を理解し、その知識を身につけている。

指導目標		広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる民主的、平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。					
月	章	時数	指導目標	観点別評価基準			
				社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用 of 技能	社会的な事象についての知識・理解
4月 5月	第3章 近世の日本 発展と世界の動き 1節 ヨーロッパとの 出会い 2節 信長・秀吉の全国 統一	10	●戦国の動乱とヨーロッパ人の来航、織田・豊臣による統一事業を通して、政治や社会の大きな変化について理解する。	・戦国の動乱と、その時期のヨーロッパ人の来航に対する関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 ・織田・豊臣の時期の政治や社会の大きな変化と文化の展開に対する関心を高め、意欲的に追求しようとしている。	・戦国の動乱と、その時期のヨーロッパ人の来航及びヨーロッパ文化がわが国の社会にもたらした影響を多角的・多面的に考察することができる。 ・織田・豊臣による統一事業と対外関係のあらまし、文化の展開を通して、歴史の流れと時代の特色を多角的・多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・戦国の動乱と、その時期のヨーロッパ人の来航、織田・豊臣の時期の政治や社会の大きな変化と文化の展開に関する絵画や文献などの様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・戦国の動乱とその時期のヨーロッパ人の来航を、世界の歴史を背景に理解し、その知識を身につけている。 ・織田・豊臣の時期の政治や社会の大きな変化を、わが国の歴史とかかわる世界の歴史を背景に理解するとともに、武将や豪商などの生活文化の展開に気付き、その知識を身につけている。
6月 7月	【地理的分野】 第2編 日本のさまざまな地域 第1章 日本の姿	5	●地球儀や地図を活用し、我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の特色と変化、地域区分などを取り上げ、日本の地域構成を大観させる。	日本の地域構成に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。	日本の地域構成を、国土の位置、世界各地との時差、領域の特色と変化、地域区分などを基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	地球儀や地図など日本の地域構成に関する様々な資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	日本の地域構成について、国土の位置、世界各地との時差、領域の特色と変化、地域区分などを理解し、その知識を身に付けている。
9月	第2章 世界と比べた日本の地域的特色	22	●世界的視野や日本全体の視野から見た日本の地域的特色を取り上げ、我が国の国土の特色を様々な面から大観させる。	世界と比べた日本の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。	世界と比べた日本の地域的特色を、世界的視野や日本全体の視野から見た自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、地域間の結び付きを基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	世界と比べた日本の地域的特色に関する様々な資料から、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	世界と比べた日本の地域的特色について、世界的視野や日本全体の視野から見た自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、地域間の結び付きを理解し、その知識を身に付けている。

前 期 評 価				
評価方法・評価場面	定期テスト …○	定期テスト …◎	定期テスト …◎	定期テスト …◎
	授業への取り組み…◎	授業への取り組み…○	授業への取り組み…○	授業への取り組み…○
	ノート …◎	ノート …◎	ノート …○	小テスト …○
	プリント …◎	プリント …◎	プリント …◎	
	レポート課題 (夏休み課題含む)…○	レポート課題 (夏休み課題含む)…○	レポート課題 (夏休み課題含む)…○	
	・授業にまじめに参加し、発言等も含め、熱心に取り組んでいる。 ・プリント・ワークシート等の課題に着実に取り組み提出ができる。	・考える力を必要とする問題を解くことができる。 ・自分の考えたことをまとめ、記述をして表すことができる。	・資料統計を活用し、読み取りや計算などによって、問題を解くことができる。	・基本的な名称を理解している。

後期

10月	第3章 日本の諸地域	35	●日本を幾つかの地域に区分し、それぞれの地域について、自然環境、歴史的背景、産業、環境問題や環境保全、人口や都市・村落、生活・文化、他地域との結び付きを基に考察し、地域的特色をとらえさせる。	日本の諸地域の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。	日本の諸地域の地域的特色を、自然環境、歴史的背景、産業、環境問題や環境保全、人口や都市・村落、生活・文化、他地域との結び付きのいずれかを中核とした考察の仕方を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	日本の諸地域の地域的特色に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	日本の諸地域について、自然環境、歴史的背景、産業、環境問題や環境保全、人口や都市・村落、生活・文化、他地域との結び付きのいずれかを中核とした考察の仕方を基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。
	第4章 身近な地域の調査	5	●自分たちの生活している地域の地理的事象を調査することによって、地域の課題やよさについて興味を持つようにする。	身近な地域の特徴、課題やよさについて、意欲的に調査活動に取り組もうとしている。	調査した結果をもとに、身近な地域の特徴を考察することができる。	2万5千分の1の地形図を利用して、地理的事象を見いだすことができる。	地形図のきまりを、概ね理解している。 調査によって得られた地域の地理的特質を概ね理解している。
12月	3節 江戸幕府の政治 4節 産業・交通の発達と町人文化 5節 幕府政治の改革	8	●身分制度を基盤とする社会が成立し展開したという観点から、我が国における近世社会（武家社会）の成立とその変化をとらえる。	・江戸幕府の政治の仕組み、対外関係、身分制度に関心をもち、意欲的に課題を追究しようとしている。 ・社会の変動や幕府政治改革に関心をもち、その時代に生きた人々の立場になって学習活動を行っている。	・様々な資料を通して、産業、交通、町人文化の特徴を多面的・多角的に考察している。 ・身分制度が確立したことの意味を、差別された人々の立場に立って考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・江戸幕府が長く続いた理由を考えるために適切な資料を選択し、よみとっている。 ・江戸時代の農民の生活を資料を十分に活用して調べ、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・近世日本の歴史に関して、その知識を十分に身につけている。

12月	第4章 近代の日本と世界	20	●19世紀後半の開国と明治維新以降の我が国の近代化の歴史について、世界の動きとのかかわりの中でとらえる。	<ul style="list-style-type: none"> 市民革命の自由・平等の要求や産業革命の新たな労働問題から人権問題について関心をもつとともに、それらについて自分の意見を持つようとしている。 我が国の近代の歴史と、それに関わる世界の動きに関心を高め、国際協調の精神を養い意欲的に学習している。 	<ul style="list-style-type: none"> 開国が政治的、社会的、経済的にどのような影響を与えたかについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 複雑な国際情勢の中で独立を保ち、近代国家を形成していった政府や人々の活動について考えを深め、歴史の流れと時代の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料から市民革命や産業革命の背景を十分に読み取っている。 資料から欧米諸国との対等の外交関係を樹立するまでの経緯を調べ、取り組みの移り変わりについてまとめられている。 様々な資料から日清戦争前後の産業の発展の様子を、十分に読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 明治時代の日本と世界の歴史に関して基本的事項を理解し、その知識を十分に身に付けている。
-----	--------------	----	--	---	---	---	---

学 年 末 評 価

評価方法・評価場面	定期テスト …○ 授業への取り組み…◎ ノート …◎ プリント …◎ レポート課題 …○ ・授業にまじめに参加し、発言等も含め、熱心に取り組んでいる。 ・プリント・白地図等の課題に着実に取り組み提出ができる。	定期テスト …◎ 授業への取り組み…○ ノート …◎ プリント …◎ レポート課題 …○ ・考える力を必要とする問題を解くことができる。 ・自分の考えたことをまとめ、記述をして表すことができる。	定期テスト …◎ 授業への取り組み…○ ノート …○ プリント …◎ レポート課題 …○ ・資料統計を活用し、読み取りや計算などによって、問題を解くことができる。	定期テスト …◎ 授業への取り組み…○ プリント …◎ 小テスト …○ ・社会科用語の意味を理解している。 ・基本的な名称を理解している。
-----------	--	---	--	--

指導目標		広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、わが国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を養い、国際社会に生きる、民主的、平和的な国家・社会の形成者としての公民的資質の基礎を養う。					
月	章	時数	指導目標	観点別評価基準			
				社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
4月	第4章 近代の日本と世界 3節 アジア最初の立憲国家・日本 4節 近代産業の発展と近代文化の形成	4	●19世紀後半の開国と明治維新以降の我が国の近代化の歴史について、世界の動きとのかかわりの中でとらえる。	・我が国の近代の歴史と、それに関わる世界の動きに関心を高め、国際協調の精神を養い意欲的に学習している。	・複雑な国際情勢の中で独立を保ち、近代国家を形成していった政府や人々の活動について考えを深め、歴史の流れと時代の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・資料から欧米諸国との対等の外交関係を樹立するまでの経緯を調べ、取り組みの移り変わりについてまとめられている。 ・様々な資料から日清戦争前後の産業の発展の様子を、十分に読み取っている。	・明治時代の日本と世界の歴史に関して基本的事項を理解し、その知識を十分に身に付けている。
5月	第5章 二度の世界大戦と日本 1節 第一次世界大戦前後の日本と世界 2節 第二次世界大戦終結までの日本と世界	16	二つの世界大戦をはさんで展開する我が国の歩みを、世界の動きとの関連に着目し、多面的、多角的に理解するとともに、人類の福祉と国際平和の実現について考える。	・第一次世界大戦や国際連盟の設立から国際問題について積極的に考え、この時期の国民の政治的自覚の高まりに十分に関心をもっている。 ・世界恐慌から第二次世界大戦までの学習の中で、日本や世界の問題に関心をもつとともに、国際関係の理解に意欲的に取り組もうとしている。	・世界の動きを背景に日本の歴史を大きくとらえ、第一次世界大戦や第二次世界大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解し、歴史の流れと時代の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・第一次、第二次世界大戦をはさんで展開する我が国の動きに関する文献、映像、統計、調査の結果などの様々な資料を収集し適切に選択し活用し、追究した結果をまとめたり発表して。	・二つの世界大戦と日本と世界に関して、基本的事項を理解し、その知識を十分に身に付けている。
6月	第6章 現代の日本と世界 1節 第二次世界大戦後の占領と再建 2節 経済大国・日本の国際的役割	14	●冷戦、我が国の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを通して、第二次世界大戦後の諸改革の特色を考えさせ、世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解させる。 ●高度経済成長、国際社会とのかかわり、冷戦の終結などを通して、我が国の経済や科学技術が急速に発展して国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解させる。	新しい日本の建設、経済や科学技術の急速な発展と国民生活の向上、国際社会における我が国の役割の増大など、現代の歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に追究して現代の特色を捉えようとし、国際協調の大切さを考えようとする。	・冷戦、我が国の民主化と再建の過程、国際社会への復帰や第二次世界大戦後の諸改革の特色について多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 ・高度経済成長、国際社会との関わり、冷戦の終結などについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・冷戦、我が国の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などに関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択し読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ・高度経済成長、国際社会との関わり、冷戦の終結などに関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解し、その知識を身に付けている。 ・我が国の経済や科学技術が急速に発展して国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解し、その知識を身に付けている。
6月	【公民的分野】 第1章 私たちの生活と現代社会	16	●現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などがみられることを理解させるとともに、そ	・現代日本の社会や我が国の伝統と文化に対する関心を高め、それらを意欲的に追究してい	・現代日本の特色や現代社会における文化の意義や影響、文化の継承と創造の意義につい	・現代日本の社会や我が国の伝統と文化に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切	・現代日本の特色や現代社会における文化の意義や影響を理解し、その知識を身に付けて

7月	第1節 私から見える現代日本の社会 第2節 現代社会の文化と私たちの生活 第3節 現代社会をとらえる見方や考え方		れらが政治、経済、国際関係に影響を与えていることに気付かせる。また、現代社会における文化の意義や影響を理解させるとともに、我が国の伝統と文化に関心をもたせ、文化の継承と創造の意義に気付かせる。 ●人間は本来社会的存在であることに着目させ、社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義について考えさせ、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などについて理解させる。その際、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任などに気付かせる。	る。 ・社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義に対する関心を高め、それらを意欲的に追究している。	て多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	たり図表などにまとめたりしている。 ・社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	いる。 ・社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義と、現代社会を捉える見方や考え方の基礎としての対立と合意、効率と公正などについて理解し、その知識を身に付けている。
7月9月	第2章 私たちの生活と政治 -日本国憲法の基本原則- 第1節 日本国憲法の基本原則 第2節 基本的人権の尊重	25	●人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に 深めさせ、法の意義を理解させるとともに、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解させ、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について考えさせる。また、日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについての理解を深め、日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解させる。	・人間の尊重についての考え方や法に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、民主的な社会生活について考えようとしている。	・我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について、民主的な社会生活に関わる様々な事象から課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・人間の尊重についての考え方や法に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・人間の尊重の考え方、法の意義と法に基づく政治の大切さ、日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていること、天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解し、その知識を身に付けている。
前 期 評 価							
評価方法・評価場面			定期テスト …◎ 授業への取り組み …◎ ノート …◎ レポート課題 …○ (夏休みの課題含む) ・授業にまじめに参加し、発言等も含め、熱心に取り組んでいる。 ・プリント等の課題に着実に取り組み、提出ができる。	定期テスト …◎ 小テスト …○ 授業への取り組み …○ ノート …◎ レポート課題 …◎ (夏休みの課題含む) ・考える力を必要とする問題を解くことができる。 ・自分の考えたことをまとめ、記述をして表すことができる。	定期テスト …◎ 小テスト …○ 授業への取り組み …○ ノート …◎ レポート課題 …◎ (夏休みの課題含む) ・文章史料や資料統計を活用し、読み取りや計算などによって、問題を解くことができる。	定期テスト …◎ 小テスト …◎ 授業への取り組み …○ ・社会科用語の意味を理解している。 ・基本的な名称を理解している。	
9月	第3章 私たちの生活と政治 -民主政治と政治参加- 第1節 民主政治の	25	●地方自治の基本的な考え方について理解させる。その際、地方公共団体の政治の仕組みについて理解させるとともに、住民の権利や義務に関連させて、地方自治の発展に寄与しようとする住	・国や地方公共団体の政治に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、民主的な政治について考えようとしている。	・議会制民主主義や選挙の意義、民主政治の推進と公正な世論の形成や国民の政治参加との関連について、国や地方公共団体の政治に関わる様々な事	・国や地方公共団体の政治に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・地方自治の基本的な考え方、地方公共団体の政治の仕組み、国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらまし、政党の役割、多数決の原理と

10月	<p>しくみ</p> <p>第2節 国民の代表機関としての国会</p> <p>第3節 行政権を持つ内閣</p> <p>第4節 裁判所と司法権</p> <p>第5節 地方自治と住民</p>		<p>民としての自治意識の基礎を育てる。</p> <p>また、国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解させ、議会制民主主義の意義について考えさせるとともに、多数決の原理とその運用の在り方について理解を深めさせる。さらに、国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解させるとともに、民主政治の推進と、公正な世論の形成や国民の政治参加との関連について考えさせる。その際、選挙の意義について考えさせる。</p>		<p>象から課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p>	<p>その運用の在り方、法に基づく公正な裁判の保障について理解し、その知識を身に付けている。</p>	
	11月	<p>第4章 私たちの生活と経済</p> <p>第1節 消費と経済</p> <p>第2節 生産と労働</p> <p>第3節 市場経済と金融</p> <p>第4節 私たちの生活と財政</p> <p>第5節 私たちの生活と福祉</p>	20	<p>●身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解させるとともに、価格の働きに着目させて市場経済の基本的な考え方について理解させる。また、現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解させるとともに、社会における企業の役割と責任について考えさせる。その際、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の本質と関連付けて考えさせる。</p>	<p>・個人や企業の経済活動に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、個人や企業の経済活動について考えようとしている。</p>	<p>・社会における企業の役割と責任、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について、個人や企業の経済活動に関わる様々な事象から課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p>	<p>・個人や企業の経済活動に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p>
12月	<p>第4章 私たちの生活と経済</p> <p>第5節 私たちの生活と財政</p> <p>第6節 私たちの生活と福祉</p>	10	<p>●国民の生活と福祉の向上を図るために、社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、社会保障の充実、消費者の保護など、市場の働きにゆだねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たしている役割について考えさせる。また、財源の確保と配分という観点から財政の役割について考えさせる。その際、租税の意義と役割について考えさせるとともに、国民の納税の義務について理解させる。</p>	<p>・国や地方公共団体の経済活動に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、経済活動について考えようとしている。</p>	<p>・国や地方公共団体が果たしている役割や財政の役割について、国や地方公共団体の経済活動に関わる様々な事象から課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p>	<p>・国や地方公共団体の経済活動に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p>	<p>・社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、社会保障の充実、消費者の保護、租税の意義と役割及び国民の納税の義務について理解し、その知識を身に付けている。</p>
3月	<p>第5章 私たちと国際社会の課題</p> <p>第1節 国家と国際社会</p> <p>第2節 持続可能な社会をつくるために</p>	10	<p>●世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを認識させ、国際社会における我が国の役割について考えさせる。その際、日本国憲法の平和主義について理解を深め、我が国の安全と防</p>	<p>・国際社会の活動に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、世界平和の実現と人類の福祉の増大について考えようとしている。</p>	<p>・国際社会及び我が国の果たす役割について、国際社会の活動に関わる様々な事象から課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p>	<p>・国際社会の活動に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p>	<p>・国家間の相互の主権の尊重と協力、各国の相互理解と協力及び国際機構などの役割の大切さについて認識し、日本国憲法の平和主義について理解を深めるとともに、国際社会における課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることについて理</p>

		<p>衛及び国際貢献について考えさせるとともに、核兵器などの脅威に着目させ、戦争を防止し、世界平和を確立するための熱意と協力の態度を育てる。また、地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解させる。</p>			<p>解し、その知識を身に付けている。</p>
学 年 末 評 価					
評価方法・評価場面	<p>定期テスト …◎ 授業への取り組み …◎ ノート …◎ レポート課題 …○ (夏休みの課題含む)</p> <p>・授業にまじめに参加し、発言等も含め、熱心に取り組んでいる。 ・プリント等の課題に着実に取り組み、提出ができる。</p>	<p>定期テスト …◎ 小テスト …○ 授業への取り組み …○ ノート …◎ レポート課題 …◎</p> <p>・考える力を必要とする問題を解くことができる。 ・自分の考えたことをまとめ、記述をして表すことができる。</p>	<p>定期テスト …◎ 小テスト …○ 授業への取り組み …○ ノート …◎ レポート課題 …◎</p> <p>・資料統計を活用し、読み取りや計算などによって、問題を解くことができる。</p>	<p>定期テスト …◎ 小テスト …◎ 授業への取り組み …○</p> <p>・社会科用語の意味を理解している。 ・基本的な名称を理解している。</p>	

指導目標		<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な概念や原理・法則の理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得する。 数学的な活動の楽しさ、数学的な見方や考え方のよさを知り、それらを進んで活用する態度を育てる。 					
月	章	時数	指導目標	観点別評価基準			
				関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
4月	整数の性質	15	<ul style="list-style-type: none"> ●自然数、整数、素数の意味を理解し、素因数分解ができるようにする。 	⑩自然数を素数だけの積で表そうとする。	⑩素因数分解の考えを使って、約数を求めたり、平方数を見つけたりすることができる。	⑩素因数分解ができる。	⑩素数がどんな数かわかる。自然数と整数のちがいがわかる。
	第1章 正負の数 1 正負の数		<ul style="list-style-type: none"> ●正の数・負の数の意味を理解するとともに、大小を判断できるようにする。 	⑩負の数を使用することの良さに気づき、大小関係を表そうとする。	⑩数の範囲を負の数まで拡張し、互いに反対の性質をもつ量を表すことに便利であることに気づき、大小関係を絶対値に着目してとらえることができる。	⑩反対の性質をもつ量を正の数、負の数を用いて表すことができる。 ⑩数の大小関係を判別することができる。	⑩正の数・負の数の意味、表記の仕方がわかる。 ⑩絶対値の意味がわかる。
5月	2 加法と減法		<ul style="list-style-type: none"> ●正の数・負の数の加減の計算ができるようにする。 	⑩負の数に関心を持ち、正の数・負の数の加法、減法の能率良い計算の仕方を調べて、確かめたり、計算しようとする。	⑩加法と減法を統一的にみて、加減の計算を、正の項、負の項の和としてとらえることができる。	⑩正の数、負の数の加法、減法の計算ができる。	⑩正の数・負の数の加法、減法の意味と計算方法がわかる。 ⑩加法の交換法則、結合法則がわかる。
	3 乗法と除法	13	<ul style="list-style-type: none"> ●正の数・負の数の乗法、除法の計算、かっこを含む計算、加減乗除の混じった計算ができるようにする。 	⑩正の数・負の数の乗法、除法に関心を持ち、能率的な計算の仕方を調べたり、計算したりしようとする。	⑩負の数が入った乗法、除法の混じった計算を、能率的にする方法をみつけることができる。	⑩正の数・負の数の乗法除法ができる。 ⑩除法を乗法になおして計算できる。 ⑩四則混合計算ができる。	⑩正の数・負の数の乗法除法の計算方法がわかる。 ⑩指数、累乗、逆数の意味がわかる。 ⑩四則混合計算、分配法則がわかる。 ⑩数の範囲とその数の範囲で計算可能名四則計算について理解している。
6月	第2章 文字と式 1 文字を使った式	17	<ul style="list-style-type: none"> ●文字の意味を理解し、数量を文字を使って表すことができるようにする。 	⑩いろいろな数量を文字を使って表すことの良さに気づき、文字を使って式に表そうとする。	⑩いろいろな数量を文字を使った式に表し、文字は数の代わりであることがわかる。 ⑩式から数量を読み取ることができる。	⑩いろいろな数量を、その約束に基づいて、文字を使った式で一般的に表すことができる。	⑩数の代わりに文字を用いて数量を式に表せることがわかる。 ⑩文字式を表すときの約束がわかる。 ⑩代入の意味がわかる。
	2 文字式の計算		<ul style="list-style-type: none"> ●同じ文字を含む項は1つにまとめられることを理解する。 	⑩文字式の計算は、数と同じように計算できることに興味をも	⑩同類項をまとめることを分配法則に基づいて考えることがで	⑩同類項をまとめ、式を簡単にすることができる。	⑩項、係数、1次式の意味がわかる。 ⑩文字式の計算は数の

7			●単項式、多項式と数の乗法、除法1次式の加減の計算ができるようにする。	ち、計算しようとする。	きる。 ⑧数と1次式の乗法の仕方を考えることができる。	⑧数と1次式加減乗除の計算ができる。	計算と同じように操作できることがわかる。
前期中間まとめの提示							
9月	第3章 方程式 1 方程式	2 3	●いろいろな数量の関係を等式を用いて表すことができるようにする。 ●方程式と解の意味を理解する。 ●等式の形を理解し、方程式が解けるようにする ●不等式について理解し、数量の間の大小の関係を不等式を用いて表すことができるようにする。 ●比例式の意味とその性質を理解し、それを利用して問題を解決することができる。	⑧数量の関係を等式や不等式を使い等しい関係や大小の関係を見だし、等式で表そうとする。 ⑧等式の性質や方程式に関心を持ち、調べようとする。 ⑧比例式の性質を利用して方程式を作り、具体的な問題を解決しようとする。	⑧未知の数量を含む関係を、方程式の形に表すことができる。 ⑧具体的な事象には不等式で表せるものがあることに気づき不等式で表したり、式を見て数量関係を読みとったりすることができる。 ⑧等式の性質を方程式の解き方と結びつけて考えることができる。 ⑧数量の関係を比例式で表し、問題の答えを求めることができる。	⑧ある値が方程式の解かどうかを確かめることができる。 ⑧数量の関係を等式や不等式で表すことができる。 ⑧等式の性質を用いて方程式を解くことができる。 ⑧比例式の性質を利用して方程式を作りその方程式の解を求めることができる。	⑧いろいろな数量関係を等式で表すことができる。 ⑧方程式、解、等式、不等式、移項の意味がわかる。 ⑧等式の性質がわかる。 ⑧比例式の意味とその性質をよく理解している。 ⑧比例式を利用して問題を解く手順を理解している。
評価方法・評価場面				◎授業への取り組み ◎ノート ◎ワーク・プリント ◎課題・レポート ◎自己評価 ・授業にまじめに参加し、発言等も含め、熱心に取り組んでいる。 ・プリント等の課題に着実に取り組み提出できる。	○授業への取り組み ○ワーク・プリント ◎定期テスト ○小テスト ・応用力を必要とする問題を解くことができる。 ・一つの問題をいろいろな角度から考えて解くことができる。	○授業への取り組み ○ワーク・プリント ◎定期テスト ○小テスト ・数量、図形などに関する基本的な問題を確実に解くことができる。	○授業への取り組み ○ワーク・プリント ◎定期テスト ○小テスト ・数学用語の意味を理解している。 ・基礎的な概念や原理、法則を理解している。
前 期 評 価							
10月	2 1次方程式の利用		●移項を理解し、1次方程式が解けるようにする。 ●文章題を1次方程式を用いて解くことができるようにする。	⑧等式の性質を使って方程式を解いたり、形式的な処理に慣れようとする。 ⑧問題解決的な場面で方程式を活用しようとする。	⑧数や文字の移項、解法の手順を導くことができる。 ⑧問題を分析して統合的に数量関係を把握できる。 ⑧方程式をつくるときにどのような数量を	⑧色々な1次方程式を解くことができる。 ⑧問題に応じた方程式を作ることができる ⑧解を吟味できる。	⑧1次方程式を解く手順がわかる。 ⑧方程式を用いて問題解決するときの手順がわかる。

1 1 月	第 4 章 比例と反比例 1 比例	2 0	<ul style="list-style-type: none"> ●ともなって変わる 2 つの量を見いだし、変化、その対応が理解できる。 ●変域の意味を理解し不等式で表すことができる。 ●比例の式、座標の読みとり、それをグラフに表すことができる。 ●比例関係にある 2 つの量を見いだし、問題解決ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ともなって変わる 2 つの量の関係を調べ、比例の関係を見つけようとする。 ⑧比例の関係の特徴を表、式、グラフを用いて調べようとする。 	<p>文字に置いて立式したらよいか判断できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑧具体的な事象から 2 つの数量の関係を説明することができる。 ⑧表や式を用いて比例の関係を考察し、比例の特徴を明らかにすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ともなって変わる 2 つの数量の変化を、表やグラフに表すことができる。 ⑧比例の関係を $y = ax$ の形に表すことができる。 ⑧点の座標を読みとったり書いたりできる。 ⑧関数の関係を式やとことばなどで表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧変数・変域の意味がわかる。 ⑧比例の特徴がわかる。 ⑧x 軸、y 軸、座標の意味を知り、座標の読み方がわかる。 ⑧比例のグラフの特徴がわかる。
	2 反比例	<ul style="list-style-type: none"> ●反比例の形を式の形でとらえることができる。 ●反比例をグラフに表すことができる。 ●事象の中から 2 つの反比例関係を見いだし、問題解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧ともなって変わる 2 つの数量に反比例関係をみつけようとする。 ⑧反比例を表、式、グラフに表そうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧式や表を用いて反比例関係を考察できる。 ⑧式、表とグラフの関係を考察し、反比例の特徴を明らかにできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧反比例の関係を $y = a/x$ の形の式に表すことができる。 ⑧反比例のグラフを書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧反比例の特徴がわかる。 ⑧反比例のグラフの特徴がわかる。 ⑧反比例のグラフが双曲線になることがわかる。 	
1 2 月	第 5 章 平面図形 1 対称な図形	1 8	<ul style="list-style-type: none"> ●図形の合同、線対称、点対称、正多角形の意味を理解する。 ●直線、線分、角など、図形の基本的な事項を理解する。また、円の接線、弧、弦を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧操作活動や作図を通して図形の対称性について考察しようとする。 ⑧平面図形の平行、垂直、距離、2 直線が作る角について、日常生活と結びつけて考察しようとする。 ⑧円の性質に関心を持ち、円と直線の性質を調べようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧線対称、点対称の特徴を見つけることができる。 ⑧平面の 2 直線の位置関係をとらえることができる。 ⑧距離に注目して円と直線の位置関係を分類したり、考察したりすることができる。 ⑧距離の意味をつかみ、どんな場合に最短になるか直観的にとらえられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧線対称、点対称の作図ができる。 ⑧直線、半直線、線分、角を区別し、用語や記号を用いて表すことができる。 ⑧点と直線、平行な 2 直線の距離を示すことができる。 ⑧円と直線の位置関係、接線を図に表せる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧合同、線対称、点対称の意味、および、図形の性質がわかる。 ⑧直線は、平面上にある 2 点で決定することができる。 ⑧ 2 直線の位置関係は、交わる、平行の 2 つの場合があり、平行線間の距離は一定であることがわかる。 ⑧円と直線の位置関係で、弦の垂直 2 等分線は円の中心を通り、円の接線は円の半径に垂直に交わることが理解できる。

1 月	2 基本の作図		<ul style="list-style-type: none"> ● 定規とコンパスを使って垂線、線分の垂直二等分線、角の二等分線の書き方などの、基本的な作図ができるようにする。 ● 基本的な作図を利用できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑩ 能率的な作図方法を工夫し、作図しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑩ 定義がもつ論理性とその良さに気づき、図形の表す点のもつ条件をもとに、作図手順を考えることができる。 ⑩ 応用的な作図の場面で、条件を統合して直観的に作図手順を見いだすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑩ 定規とコンパスを用いて基本的な作図ができる。 ⑩ 円の中心を作図で求めることができる。 ⑩ 円の接線を作図することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑩ 線分の垂直二等分線や、角の二等分線の意味がわかる。 ⑩ 作図とは、定規と、コンパスを使って図を書くことであることがわかる。
	3 図形の移動		<ul style="list-style-type: none"> ● 平行移動、回転移動、対称移動の意味を理解する。 ● 移動させた図形を書くことができる。 ● それぞれの移動における性質が理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑩ 図形の移動に関心を持ち、観察操作実験をとおして3つの移動について性質を調べようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑩ 3つの移動についてそれらの移動の性質を見いだしたり調べることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑩ 3つの移動について移動させた図形を書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑩ 平行移動回転移動対称移動の意味や3つの移動における性質を理解している。 ⑩ 移動における回転の中心や対称の軸の意味を理解している。
2 月	第6章 空間図形 1 いろいろな立体	1 6	<ul style="list-style-type: none"> ● 立体の意味を理解する。また、いろいろな角錐、円錐、多面体について理解する。 ● 平面の決定条件を理解する。また、空間における直線と平面の位置関係について理解し、空間の見方を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑩ 具体物をその面の形などに着目して、分類、考察しようとする。 ⑩ 空間図形に関する関心を高め、平面や直線の位置関係を考察しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑩ 立体をその面の形などによって分類することができる。 ⑩ 位置関係に関する事項を分類、整理することができる。 ⑩ 平行や垂直の意味を説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑩ 錐体の図を見て、その名称を言うことができる。 ⑩ 多面体の図を見て、その名称を言うことができる。 ⑩ 具体的な空間図形から、平行、垂直、ねじれの位置関係を見いだすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑩ 錐体の意味がわかる。 ⑩ 平面で囲まれた立体を多面体だとわかる。 ⑩ 平面は1直線上にない3点で決定することができる。 ⑩ 平行、垂直、ねじれの位置の意味がわかり、記号を使って表記できることがわかる。
	3 立体の表面積と体積		<ul style="list-style-type: none"> ● 運動によって立体を見ることにより、立体の概念の理解を深める。 ● 立体の展開図を通して、立体の概念の理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑩ 空間図形の性質を調べようとする。 ⑩ 回転体について考察し、立体を多面的、直感的にとらえようとする。 ⑩ 見取り図、展開図、投影図から正多面体の性質を考察しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑩ 線や面を動かしたときにどのような立体になるのかをとらえることができる。 ⑩ いろいろな多面体の特徴を、構成する面、辺、頂点の数で説明できる。 ⑩ いろいろな多面体の特徴を、構成する面、辺、頂点の数で常に説明できる。 ⑩ 球の表面積と体積の求め方を導くことが 	<ul style="list-style-type: none"> ⑩ 線や面を動かしたときにできる立体の見取り図を書いたり、名称を言ったりすることができる。 ⑩ 立体の見取り図を見て、その展開図が書ける。 ⑩ 多面体の展開図から多面体を組み立てることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑩ 平面図形を垂直な方向に動かすと柱体ができることがわかる。 ⑩ 平面図形をある直線を軸として回転させるといろいろな回転体ができることがわかる。 ⑩ 立体の展開図の見方がわかる。

3			<ul style="list-style-type: none"> ●おうぎ形の弧の長さや面積は、中心角に比例することを理解する。 ●展開図を利用して、柱体、錐体の表面積を求めることができるようにする。 ●柱体、錐体の体積の公式を理解し、体積を求めることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑩おうぎ形の弧の長さや面積が求められることに関心を持ち、活用しようとする。 ⑩展開図を利用して、立体の表面積を求めようとする。 ⑩柱体、錐体の体積が求められることに関心を持ち、活用しようとする。 	<p>できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ⑩弧と中心角の関係から、おうぎ形の弧の長さや面積を求める公式を導くことができる。 ⑩展開図を利用して、立体の表面積を求めることができることを説明することができる。 ⑩柱体、錐体の体積を求める公式を導くことができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ⑩公式を利用して、おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。 ⑩展開図を利用して、立体の表面積を求めることができる。 ⑩公式を利用して、柱体、錐体の体積を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑩おうぎ形の弧の長さや面積を求める公式がわかる。 ⑩立体の表面積の意味がわかる。 ⑩柱体、錐体の体積を求める公式がわかる。
	第7章 資料の分析と活用	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ●度数分布表やヒストグラム、度数折れ線、相対度数、累積度数の必要性和意味を理解しそれらを用いて資料の傾向を読みとり、説明できるようにする。 ●範囲や代表値の必要性和意味を理解し、それらを用いて、資料の傾向を読みとり、説明できるようにする。 ●近似値や誤差の意味を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑩資料を度数分布表やヒストグラムに整理したり、累積度数や相対度数を求めて資料の傾向を読みとり説明しようとする。 ⑩資料の範囲や代表値を求め、資料の傾向を読みとり説明しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑩資料を度数分布表やヒストグラムに表したり、累積度数や相対度数に表したりして、資料の傾向を読みとり説明できる。 ⑩資料の範囲や代表値を求め、そこから傾向を読みとり、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑩資料を度数分布表やヒストグラムに表したり、累積度数や相対度数を求めることができる。 ⑩資料の範囲や代表値を求めることができる。 ⑩近似値をもとにして、真の値を不等号を使って表すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑩度数分布表やヒストグラム、度数折れ線、累積度数、相対度数の意味を理解している。 ⑩資料の範囲や代表値の必要性和意味を理解している。 ⑩近似値や誤差の意味を理解している。 ⑩有効数字の意味を理解している。 	
	1年間のまとめ	6						
評価方法・評価場面			<ul style="list-style-type: none"> ◎授業への取り組み ◎ノート ◎ワーク・プリント ◎課題・レポート ◎自己評価 ・授業にまじめに参加し、発言等も含め、熱心に取り組んでいる。 ・プリント等の課題に着実に取り組み提出できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業への取り組み ○ワーク・プリント ◎定期テスト ○小テスト ・応用力を必要とする問題を解くことができる。 ・一つの問題をいろいろな角度から考えて解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業への取り組み ○ワーク・プリント ◎定期テスト ○小テスト ・数量、図形などに関する基本的な問題を確実に解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業への取り組み ○ワーク・プリント ◎定期テスト ○小テスト ・数学用語の意味を理解している。 ・基礎的な概念や原理、法則を理解している。 		
学 年 末 評 価								

指導目標		<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な概念や原理・法則の理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得する。 数学的な活動の楽しさ、数学的な見方や考え方のよさを知り、それらを進んで活用する態度を育てる。 					
月	章	時数	指導目標	観点別評価基準			
				関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
4月	第1章 式の計算 1 式の計算	25	<ul style="list-style-type: none"> ●単項式，多項式，次数について理解する。 ●同類項をまとめ，多項式どうしの加減ができるようにする。 ●単項式どうしの乗除，数と多項式の乗除，乗除の混じった計算ができるようにする。 ●等式を指定された文字について解けるようにする。 ●整数の性質を文字式を用いて説明できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑥文字式の分類，計算に興味を持ち，調べ，計算しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑥多項式，単項式，式の次数の違いについてとらえることができ，加減や乗除の計算方法を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑥単項式，多項式を見分け次数を判断することができる。 ⑥加減の計算や単項式や数と多項式の乗除の計算ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑥単項式，多項式，項，係数，1次式，2次式などの意味がわかる。 ⑥加減や乗除の計算がわかる
	5月						
6月	第2章 連立方程式 1 連立方程式とその解き方	23	<ul style="list-style-type: none"> ●2元1次方程式，連立方程式，解の意味を理解する。 ●加減法，代入法によって解けるようにする。 ●複雑な連立方程式を解けるようにする。 ●具体的な問題を，連立方程式を用いて解決できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑥2元1次方程式と解の意味に関心を持ち，1次方程式に帰着して解こうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑥連立方程式の解の意味を理解し，解き方を考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑥解の意味の利用や，加減法代入法で連立方程式を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑥連立方程式とその解の意味や加減法・代入法による解法がわかる。
	7月						
7月	第3章 1次関数 1 1次関数	30	<ul style="list-style-type: none"> ●関数，1次関数の意味を理解し，その特徴を式の形や変化の割合でとらえることができるようにする。 ●グラフの特徴を理解し，それを利用してグラフをかきことができるようにする。 ●直線の式を求めることができるようにする。 ●日常の問題を，1次関数を用いて解くことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑥ともなって変わる2つの数量に関心を持ち，1次関数について調べようとする。 ⑥1次関数のグラフの特徴を調べたり，直線の式を求めたりしようとする。 ⑥具体的な場面で1次関数を利用しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑥1次関数の変化の特徴を考察することができ，点の並び方からグラフが直線になることが類推できる。 ⑥1次関数のグラフを変化の割合や比例のグラフと関連づけたり，グラフから式を求める方法を考察することができる。 ⑥具体的な場面で表や式，グラフを用いて数量関係をとらえることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑥表の特徴や変化のようすから1次関数の関係を式に表して変化の割合を求めることができる。 ⑥傾きや切片で，式から2点を求める方法で1次関数のグラフをかいたり逆にグラフから傾きや切片を読みとるか，連立方程式を用いて直線の式を求めることができる。 ⑥実験データから実験式を求めたり，その式から必要な値を推測したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑥関数，1次関数の意味やグラフの特徴やかき方がわかる。 ⑥直線の式を計算によって求める方法がわかる。 ⑥実験式の意味がわかる。

前 期 中 間 ま と め の 提 示

9月	2 1次関数と方程式	<ul style="list-style-type: none"> ● 2元1次方程式と1次関数は、同じ関係を表していることを理解する。 ● 連立方程式の解は、2つの2元1次方程式のグラフの交点の座標となっていることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 2元1次方程式の解の規則性に関心を持ち、グラフに表そうとする。 ㊦ 連立方程式の解とグラフの関係をj利用して問題を解決しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 2元1次方程式の解の集合を直線としてとらえ、連立方程式の解は2元1次方程式のグラフの交点の座標と一致することをとらえることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 2元1次方程式をyについて解き、グラフをかいたり連立方程式を解いたり、2直線の交点を計算で求めたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 2元1次方程式のグラフは直線で1次関数とみることができることがわかる。 ㊦ 連立方程式の解は、2元1次方程式のグラフの交点の座標と一致することがわかる。
評価方法・評価場面			<ul style="list-style-type: none"> 授業への取り組み…◎ ノート・レポート…◎ 自己評価…◎ ワーク・プリント…◎ 夏休みの課題…◎ ・授業にまじめに参加し、発言等も含め、熱心に取り組んでいる。 ・プリント等の課題に着実に取り組み提出できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト…◎ 授業への取り組み…○ ワーク・プリント…○ ・応用力を必要とする問題を解くことができる。 ・1つの問題をいろいろな角度から考えて解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト…◎ 授業への取り組み…○ ワーク・プリント…○ ・数量、図形などに関する基本的な問題を確実に解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト…◎ 授業への取り組み…○ ワーク・プリント…○ ・数学用語の意味を理解している。 ・基本的な概念や原理、法則を理解している。

前 期 評 価

10月	<p>第4章 平行と合同 1 平行線と角</p> <p>2 合同な図形</p>	<p>20</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 平行線や角の性質に基づいて図形の性質を調べることができる。 ● 多角形の角についての性質を見いだすことができる。 ● 証明の意義と方法を理解できる。 ● 図形の合同の意味を理解し、三角形の合同条件を見いだし、それを活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 多角形の内角の和や外角の和に関心を持ち、調べようとする。 ㊦ 観察、操作を通じ、平行線や角の性質を見だし、確かめようとする。 ㊦ 合同について関心を持ち、調べようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 多角形の内角、外角の和、平行線や角の性質を論理的に考察することができる。 ㊦ 三角形の合同条件を考察し、それを使い判断することができる。 ㊦ 証明のしくみについて考えることができ、仮定から結論を導くための根拠を判断することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 多角形の内角の和、外角の和を求めることができる。 ㊦ 平行線の性質が説明できる ㊦ 三角形の合同条件を式や言葉で表すことができる。 ㊦ 作図の方法が正しいわけや簡単な図形の性質の証明を表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 多角形の角の性質、平行線の性質や用語の意味を理解している。 ㊦ 証明の意義、仮定、結論の意味をを理解している。 ㊦ 三角形の合同条件や図形の性質を理解し、それを用いて図形の証明が説明できることを理解している。
-----	---	---	---	--	--	--

1 1 月	第5章 三角形と四角形 1 三角形	2 7	<ul style="list-style-type: none"> ●三角形や平行四辺形の性質を見だし、確かめることができるようにする。 ●図形の性質が証明できるようにする。 ●面積を変えないで、多角形を変形できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ③三角形の合同条件を使って二等辺三角形の性質や直角三角形の性質を確かめたり利用しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ③合同な三角形を見だし、二等辺三角形の性質を考察することができる。 ③直角三角形の合同条件を考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ③三角形の合同条件を使って二等辺三角形の性質を証明したり、直角三角形の合同条件を言葉や式で表すことができる。 ③ある事柄の逆を示したり、簡単な推論の過程を説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ③二等辺三角形の性質や二等辺三角形になるための条件、直角三角形の合同条件がわかる。 ③定義、逆の意味がわかる。
1 2 月	2 平行四辺形			<ul style="list-style-type: none"> ③平行四辺形の性質や平行四辺形であるための条件を図形の問題や他の四角形の考察に利用しようとする。 ③平行線の性質を使って、等積変形を考えようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ③平行四辺形の性質を証明し、それを図形の証明に利用することができる。 ③平行四辺形であるための条件を作図を通して推測し、三角形の合同条件などを根拠に考察することができる。 ③等積変形の手順を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ③平行四辺形の性質や平行四辺形であることの証明を手順にしたがってかくことができる。 ③辺や角の与えられた四角形が平行四辺形であるかどうかを判別できる。 ③平行線を用いて等積変形を作図ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ③平行四辺形の定義と性質、平行四辺形であるための条件がわかる。 ③長方形、ひし形、正方形の定義や性質がわかる。 ③等積変形の原理がわかる。
2 月	第6章 確率 1 確率	1 5	<ul style="list-style-type: none"> ●身近な事象を通して、統計的確率の意味を理解する。 ●数学的な確率の意味を理解し、簡単な事柄の確率を求めることができるようにする。 ●樹形図や表を用いて、確率を求めることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ③日常の事象の起こりやすさに関心を持ち実験によって調べたり、「同様に確からしい」事柄の起こる確率を求めようとする。 ③日常のいろいろな事象について確率を求めようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ③実験結果から、起こる割合は一定の値に近づくことを見いだすことができ、「同様に確からしい」事柄の確率を考察することができる。 ③起こりうる場合の数を順序よく整理して調べる方法を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ③多数回の実験から起こりやすさを1つの数で表すことができ、簡単な事柄の起こる確率を求めることができる。 ③樹形図や表を利用して場合の数を数え、確率を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ③確率の意味や求め方がわかる。 ③樹形図や表を利用して場合の数を数える方法がわかる。
3 月	1年間のまとめ						
評価方法・評価場面				授業への取り組み…◎ ノート・レポート…◎ 自己評価…◎ ワーク・プリント…◎ 夏休みの課題など…◎ ・授業にまじめに参加し、発言等も含め、熱心に取り組んでいる。 ・プリント等の課題に着実に取り組み提出できる。	定期テスト…◎ 授業への取り組み…○ ワーク・プリント…○ 小テストなど…○ ・応用力を必要とする問題を解くことができる。 ・1つの問題をいろいろな角度から考えて解くことができる。	定期テスト…◎ 授業への取り組み…○ ワーク・プリント…○ 小テストなど…○ ・数量、図形などに関する基本的な問題を確実に解くことができる。	定期テスト…◎ 授業への取り組み…○ ワーク・プリント…○ 小テストなど…○ ・数学用語の意味を理解している。 ・基本的な概念や原理、法則を理解している。
学 年 末 評 価							

指導目標		<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な概念や原理・法則の理解を深め、数学的な表現や処理のしかたを習得する。 数学的な活動の楽しさ、数学的な見方や考え方のよさを知り、それらを進んで活用する態度を育てる。 					
月	章	時数	指導目標	観点別評価基準			
				関心・意欲・態度	数学的な考え方	数学的な技能	知識・理解
4	1章 多項式 1 多項式の計算	20	●(単項式)×(多項式)、(多項式)÷(単項式)の計算ができるようにする。	⑧多項式と単項式の乗除の計算に関心を持ち、計算しようとする。	⑧多項式と単項式の乗除の計算方法を、数の場合などと関連づけて考察することができる。	⑧多項式と単項式の乗除の計算ができる。	⑧多項式と単項式の乗除の計算方法を理解している。
5	2 因数分解		●展開の意味を理解し、(多項式)×(多項式)の計算ができるようにする。 ●乗法公式を使って式を展開することができる。 ●因数、因数分解の意味を理解し、共通因数をくくり出す因数分解ができる。 ●公式を使って因数分解することができる。	⑧展開や因数分解に関心を持ち、計算しようとする。 ⑧公式のよさに気づき、展開や因数分解を、公式を用いて計算しようとする。	⑧展開や因数分解の方法を、2年の文字式の計算と関連づけて、考察することができる。	⑧公式を利用して、式を展開したり、因数分解したりすることができる。	⑧展開、乗法公式の意味や、因数、因数分解の意味を理解している。 ⑧展開や因数分解の手順を理解している。
	3 式の計算の利用		●展開や因数分解を数の計算に応用したり、整数や図形の性質の証明に利用したりすることができるようにする。	⑧展開や因数分解を利用して、数や図形の問題を解決しようとする。	⑧具体的な場面で、式を目的に合うように変形し、数の計算や図形の性質について考察することができる。	⑧具体的な場面で、目的に合うように式を変形したり、式をよみとったりすることができる。	⑧文字式に表現することによって、形式的に処理できることを理解している。
6	2章 平方根 1 平方根	18	●平方根の意味や性質を理解し、 $\sqrt{\quad}$ を使って表すことができるようにする。 ●平方根の大小関係を不等号を使って表し、およその値を計算や電卓を利用して求めることができる。 ●因数、素数、素因数、素因数分解の意味がわかり、数を素因数に分解することができるようにする。	⑧有理数で表せない数(無理数)を平方根を用いて考えることに興味を持ち、数量を平方根を用いて表そうとする。 ⑧平方根の大小関係を、正方形の1辺の長さなどに関連づけて考えようとする。 ⑧素数に関心を持ち、素数を見つけたり、素数でない数を素因数分解したりしようとする。	⑧正方形の1辺の長さなど、具体的な場面で、平方根を用いて考えることができる。 ⑧平方根の近似値の求め方を、大小関係を利用して、平方根の意味にもとづいて考えることができる。 ⑧素因数分解を利用して、それを問題解決に活用することができる。	⑧具体的な場面で、数量を根号を用いて表したり、平方根を求めたりすることができる。 ⑧不等号を用いて平方根の大小関係を表し、それを利用して、平方根の小数值を求めたりすることができる。 ⑧素数を求めたり、素数でない数を素因数分解したりすることができる。	⑧具体的な場面を通して、平方根の必要性を理解している。 ⑧平方根、 $\sqrt{\quad}$ の意味を理解している。 ⑧平方根の大小を理解している。 ⑧素数、因数、素因数分解の意味や手順を理解している。
	2 根号を含む式の計算		● $\sqrt{\quad}$ をふくむ式の乗除の計算をすることができ、目的に応じて $\sqrt{\quad}$ のついた数を変形することができる。 ● $\sqrt{\quad}$ をふくむ式の加減の計算や分配法則を使っての計算ができる。	⑧根号をふくむ式を、簡単な形または必要な形に変形しようとする。	⑧平方根の計算方法について、電卓を利用して近似値を計算するなどして推測したり、数や文字式の計算と同じように見たりして、考え調べることができる。	⑧根号の中の数を簡単にしたり、分母を有理化したりすることができる。 ⑧根号をふくむ式の計算ができる。	⑧根号のついた数や式の変形とその計算方法を理解している。

7	3章 2次方程式 1 2次方程式とその解き方	20	<ul style="list-style-type: none"> ● 2次方程式やその解の意味を理解する。 ● 因数分解や平方根の考えを使って2次方程式を解くことができるようにする。 ● 解の公式を利用して、2次方程式を解けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 2次方程式に表すことができる事柄に関心を持ち、式で表そうとしたり、自分なりの方法で解を求めたりしようとする。 ㊦ 因数分解を利用したり、平方根の考えを用いたりすることで、2次方程式を解くことができることに気づき、解こうとする。 ㊦ いろいろな2次方程式を、解の公式を利用して解こうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 2次方程式で表すことができる事柄があることに気づき、その事柄や解の意味について考え調べることができる。 ㊦ 因数分解や平方根の考えを用いて2次方程式が解けることに気づき、その解き方を考えることができる。 ㊦ 解の公式の導き方を理解し、公式を用いることの良さに気づく。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 2次方程式に値を代入して、その値が解であるかどうかを確認することができる。 ㊦ 因数分解や平方根の考えを利用して2次方程式を解き、その手順を説明することができる。 ㊦ 解の公式を利用して、2次方程式を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 2次方程式とその解の意味を理解している。 ㊦ 因数分解や平方根の考えを使って2次方程式を解く手順を理解している。 ㊦ 因数分解できない2次方程式は、平方完成することによって解くことができることを理解している。 ㊦ 解の公式を理解している。
	2 2次方程式の利用		<ul style="list-style-type: none"> ● 2次方程式を利用して、いろいろな問題を解くことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 2次方程式を用いて、具体的な問題を解決しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 2次方程式を利用した問題の解決で、2次方程式をつくって答を求めたり、その答や解き方が適切であったかどうか振り返って考えたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 文章題における数量の間の関係を2次方程式に表す手順や文章題の答を求める手順を説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 2次方程式を利用して問題を解く手順を理解している。 ㊦ 2次方程式では、解の吟味が必要であることを理解している。
評価方法・評価場面			<ul style="list-style-type: none"> ◎授業への取り組み ◎ノート ◎ワーク ◎テスト ◎夏休みの課題 ・授業にまじめに参加し、発言等も含め、熱心に取り組んでいる。 ・プリント等の課題に着実に取り組み提出できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○小テスト ◎定期テスト <ul style="list-style-type: none"> ・応用力を必要とする問題を解くことができる。 ・1つの問題をいろいろな角度から考えて解くことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ○小テスト ◎定期テスト <ul style="list-style-type: none"> ・数量、図形などに関する基本的な問題を確実に解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○小テスト ◎定期テスト <ul style="list-style-type: none"> ・数学用語の意味を理解している。 ・基礎的な概念や原理、法則を理解している。 	
前 期 評 価							
9	4章 関数 $y = ax^2$ 1 関数 $y = ax^2$	14	<ul style="list-style-type: none"> ● 関数 $y = ax^2$ の意味を理解し、いろいろなことからのなかから $y = ax^2$ の関係を見だし、式に表すことができるようにする。 ● 関数 $y = ax^2$ のグラフをかき、その特徴や変域の対応を調べることができるようにする。 ● 変化の割合の意味を理解しそれを求めることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ $y = ax^2$ となる関係や放物線をえがく事柄に関心を持ち、観察、操作や実験などを通して、考え調べようとする。 ㊦ 関数 $y = ax^2$ の値の変化に興味を持ち、変化のようすを調べたり、グラフをかいたりして、その特徴を考えようとする。 ㊦ 具体的な事柄のなかに関数 $y = ax^2$ として表される場面が 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ $y = ax^2$ で表される事柄について、変化や対応に着目して考え調べることができる。 ㊦ 関数 $y = ax^2$ の変化や対応のようすを考え調べることができる。 ㊦ 関数 $y = ax^2$ について、変化の割合や表、式、グラフから、その特徴をとらえることができる。 ㊦ 関数 $y = ax^2$ の関係を「2乗に比例する関数」という見方で見ることができる。 ㊦ 具体的な事柄を関数 $y = ax^2$ を用いて考察し、その結果が 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 関数 $y = ax^2$ の関係を式に表すことができる。 ㊦ 関数 $y = ax^2$ の関係について、表、式、グラフで表したり、変化の割合に着目し、その特徴をよみとることができる。 ㊦ $y = ax^2$ で表される具体的な事柄について、表、式、グラ 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ $y = ax^2$ で表される事柄があることを知り、関数 $y = ax^2$ の意味を理解している。 ㊦ $y = ax^2$ の変化のようすやグラフの形、変化の割合など、$y = ax^2$ の特徴を理解している。 ㊦ 関数 $y = ax^2$ をどのような場面で用いるかを理解し、利用す
	2 いろいろな関数		<ul style="list-style-type: none"> ● 関数 $y = ax^2$ を利用して事実問題を解くことができるよ 	<ul style="list-style-type: none"> ㊦ 関数 $y = ax^2$ を利用して事実問題を解くことができるよ 			

			うにする。	あることに気づき、 $y = ax^2$ を利用しようとする。	適切かどうかなどについて、考え調べることができる。	フを用いて、表現したり、処理したりすることができる。	ることで、事からの考察や予測ができることを理解している。
10	5章 相似な図形 1 相似な図形	20	●図形の相似の意味や相似な図形の性質を理解する。	㊦拡大図、縮図が身のまわりにあることに関心を持ち、それらをかいたり、相似な図形の性質を考え調べたりしようとする。	㊦ある図形の拡大図や縮図をかいて、相似な図形の性質を考え調べることができる。	㊦拡大図や縮図をかくことができる。	㊦相似の意味、相似な図形の性質、三角形の相似条件を理解している。
	●比の性質を理解し、相似な図形の対応する辺の長さを求めることができるようにする。		㊦2つの三角形が相似になるための条件について関心を持ちそれを調べようとする。	㊦三角形の合同条件をもとにして、三角形の相似条件を考え調べることができる。	㊦相似な図形で、対応する辺の長さや角の大きさを、相似な図形の性質を用いて求めることができる。	㊦具体的な事象のなかに、相似の考えを利用して解決することができるものがあることを理解している。	
	●三角形の相似条件を理解し、図形の性質を調べたり、距離や高さを求めたりするときに利用できるようにする。		㊦高さや距離などを求めるのに相似の考えが利用できることに気づき、それを活用しようとする。	㊦2つの三角形が相似であるかどうかを、相似条件を用いて調べることができる。	㊦2つの三角形が相似であることや三角形の相似条件を、ことばや式などを用いて表したり、よみとったりすることができる。	㊦三角形の相似条件を用いた図形の性質の証明を、よみとったり表したりすることができる。	
11	2 平行線と比	3	●三角形の1辺に平行な直線と他の2辺に関する性質や中点連結定理を理解し、それらを利用して線分の長さを求めたり、図形の性質を証明したりすることができるようにする。	㊦平行線と線分の比の性質に関心を持ち、それを平行線の性質や三角形の相似条件をもとに調べようとする。	㊦平行線と線分の比についての性質を、平行線の性質や三角形の相似条件を用いて確かめることができる。	㊦平行線と線分の比の性質を、ことばや式などを用いて表したり、よみとったりすることができる。	㊦三角形と比の性質、中点連結定理、平行線と比の性質を理解している。
	●平行線と比の性質を理解しそれを利用して線分の長さを求めたり、線分を適当な比に分けたりすることができるようにする。		㊦相似な平面図形の相似比と面積比に関心を持ち、その関係を調べようとする。	㊦相似な平面図形や立体について、相似比と面積比、体積比の関係を考察することができる。	㊦平行線と線分の比の性質を利用して、線分の長さを求めることができる。	㊦相似比と面積比、体積比の関係を理解している。	
	●相似な平面図形の相似比と面積比の関係を理解し、それを利用して面積を求められるようにする。		㊦相似な立体の相似比と表面積の比、体積比の関係を理解し、それを利用して表面積や体積を求められるようにする。	㊦立体の相似について調べようとする。	㊦立体の相似比を求めることができる。		
6章 三平方の定理 1 三平方の定理	14	●三平方の定理を理解し、それを使って辺の長さを求めることができるようにする。	㊦直角三角形の3つの辺の長さの間に成り立つ関係に関心を持ち、観察、操作や実験を通して、共通な性質を見つけ、考え調べようとする。	㊦直角三角形の3つの辺の長さの間に成り立つ関係について、観察、操作や実験を通して、共通な性質を導き、考え調べることができる。	㊦三平方の定理を、直角三角形の3辺の長さを用いて、ことばや式で表すことができる。	㊦三平方の定理は、直角三角形の3辺の関係を表しているということも、直角三角形の3辺をそれぞれ1辺とする正方形の面積の関係を表すものであるということも理解している。	
			●三平方の定理の逆を理解し、それを利用して直角三	㊦三平方の定理の証明方法に関心を持ち、それらについて調	㊦三平方の定理やその逆の証明について知り、考察すること	㊦三平方の定理の証明で、式と図形を関連づけ、証明をよみとったり表したりすることができる。	

			角形であるかどうかを判断できるようにする。 ●具体的な問題を三平方の定理を利用して解決することができるようにする。	べようとする。 ⑧三平方の定理の逆について関心を持ち、考え調べようとする。	ができる。 ⑧三平方の定理や逆を用いると、直角三角形の辺の長さが求められたり、直角三角形であるかどうかを判断できたりするなど、三平方の定理の意味について考えることができる。	できる。 ⑧三平方の定理の逆が成り立つことの説明を、具体例を通してよみとることができる。 ⑧三平方の定理を利用して、直角三角形の辺の長さを求めたり、三平方の定理の逆を使って、三角形が直角三角形であるかどうかを判断したりすることができる。	⑧三平方の定理やその逆を理解している。
12	2 三平方の定理の利用		●三平方の定理を利用して、平面上の線分の長さを求めることができるようにする。 ●三平方の定理を利用して空間内の線分の長さを求めることができるようにする。 ●三平方の定理を利用して、いろいろな問題を解くことができる。	⑧三平方の定理を利用すると、いろいろな長さを直接測らなくても求められることに気づき、それらを求めようとする。	⑧いろいろな図形の中に直角三角形を見だし、辺の長さなどの求め方を考え調べることができる。	⑧図形のなかに直角三角形を見つけ、三平方の定理を利用して目的の長さを求めることができる。	⑧三平方の定理を用いて目的の長さが求められることと、そのためには図形のなかに直角三角形を見いだせばよいことを理解している。
1	7章 円 1 円周角の定理 2 円と直線	1 6	●円周角の定理を証明し、定理を使って角の大きさを求めたり、図形の性質を考察したりできるようにする。 ●円周角と弧の定理を使って角の大きさを求めたり、図形の性質を考察できるようにする。また定理の逆を導き、図形の性質を証明する。 ●円周角の定理を使って、円の接線を作図する方法を考察する。	⑧円周角と中心角の関係に関心を持ち点その関係を調べてみようとする。 ⑧円周角の定理やその逆を利用して、図形のいろいろな性質を導こうとしたり、円の接線の作図の方法を、円周角の定理を利用して考えようとしたりする。	⑧円周角と中心角の関係を見だし、それが成り立つわけを説明することができる。 ⑧円周角の定理を使用して、さらにいろいろな性質を導き、それらを説明することができる。 ⑧円周角の定理の逆が成り立つわけを理解することができる。 ⑧円周角の定理をもとに、円の接線の作図方法を考えることができる。 ⑧接線の長さを求めるとき、三平方の定理を利用してその求め方を考えることができる。	⑧円周角の定理や、それから導き出される定理を用いて、円についてのいろいろな角の大きさを求めたり、円の接線の作図をしたりすることができる。 ⑧円周角の定理の証明を読み取ることができる。 ⑧円外の1点からの接線を作図することができる。 ⑧接線の長さを求めることができる。 ⑧円周角の定理を利用した証明において、辺や角の関係などをよみとることができる。	⑧円周角の定理とその逆を理解している。 ⑧円周角の定理から導き出される定理を理解している。 ⑧円周角の定理を利用した円の接線の作図の方法を理解している。
2	8章 標本調査 1 母集団と標本	8	●標本調査、全数調査の意味と標本調査が行われるわけについて理解する。 ●標本調査の実験方法について知り、模擬的に実験する。 ●母集団の傾向を読み取ったり、標本の平均から母集団の平均を読み取ることができる。	⑧身のまわりで行われているいろいろな調査に関心をもつ。 ⑧標本調査について、模擬的な実験をやってみようとする。 ⑧無作為に抽出する方法を考えようとする。	⑧標本調査では無作為に抽出しなければならぬわけや、標本調査が行われるわけについて考えることができる。 ⑧標本調査の方法や意味をとらえることができる。 ⑧傾向を把握するために標本調査を行い、母集団の傾向をよみとり、説明することができる。	⑧模擬的な簡単な実験を行うことができる。 ⑧乱数表などを利用して、数を無作為に抽出することができる。 ⑧母集団の傾向を読み取ることができる。	⑧標本調査、全数調査との意味を理解し、身のまわりの調査でどちらが行われているか言うことができる。 ⑧無作為に抽出することの意味やその方法を理解している。 ⑧母集団、標本、標本の大きさの意味を理解し、実際の標本調査で、それらをいうことができる。

						㊦模擬的な標本調査の実験の方法を知る。 ㊦母集団の傾向を読み取る方法を理解している。
3	3年間のまとめ	10				
評価方法・評価場面			◎授業への取り組み ◎ノート ◎ワーク ◎テスト ○夏休み・冬休みの課題 ・授業にまじめに参加し、発言等も含め、熱心に取り組んでいる。 ・プリント等の課題に着実に取り組み提出できる。	○小テスト ◎定期テスト ・応用力を必要とする問題を解くことができる。	○小テスト ◎定期テスト ・数量、図形などに関する基本的な問題を確実に解くことができる。	○小テスト ◎定期テスト ・数学用語の意味を理解している。
学 年 末 評 価						

理科 年間指導計画・評価 第1学年

学期	配当月	単元	章	観点別達成目標（評価規準）				配当月	学期
				自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解		
前期	4月 (8)	「生命」	自然の中に生命の営みを見つけてみよう(5)	関① 身近な生物に興味をもち、意欲的に調べようとする。 関② いろいろな場所で水を採取し、水中の微生物を意欲的に観察しようとする。	思① 観察から得られたことから、環境と生物の関係を指摘することができる。 思② 観察から得られたことを適切な方法でわかりやすく表現することができる。 思③ 観察結果をレポートにまとめることができる。	技① ルーペを正しく使って観察することができる。 技② 正しくスケッチすることができる。 <small>マイノート</small> 技③ 顕微鏡や双眼実体顕微鏡を正しく操作できる。 技④ プレパラートをつくり、適切な方法で観察することができる。	知① 生物を観察・調査するための基本的な方法を説明できる。 知② 代表的な生物が生息する環境を説明できる。 知③ 顕微鏡の各部の名称や使い方を説明できる。 知④ 水中の微生物の名前や特徴を説明できる。	4月 (8)	前期
				関① 植物の不思議に興味をもち、植物と動物との違いについて、自分の考えを発表しようとする。 関② いろいろな花のつくりに関心をもち、いくつかの花のつくりの観察を、積極的に行おうとする。 関③ 花のどの部分が果実や種子になるのかについて、関心をもち、調べようとする。 関④ これまでとは異なる裸子植物の花に関心をもち、調べようとする。 関⑤ 身近な植物について、根の様子が植物によって違うことに関心をもち、調べようとする。 関⑥ 茎のつくりに興味をもち、茎の断面の観察を、積極的に行おうとする。 関⑦ 植物による葉脈の様子の違いに関心をもち、調べようとする。 関⑧ 葉のつくりに興味をもち、葉の表面や断面、葉緑体の観察を、積極的に行おうとする。	思① 観察記録に基づいて、花のつくりの共通点と相違点を、見いだすことができる。 思② 果実や種子のでき方を、花のつくりと関連づけて、考察することができる。 思③ マツの花のつくりの特徴を見いだし、被子植物との共通点と相違点を、見いだすことができる。 思④ 根が枝分かれし、さらに根毛が無数にあることの利点を、推論することができる。 思⑤ 茎の維管束の並び方には2とおりのことを、指摘することができる。 思⑥ 青く染まった部分の観察から、道管の役割や道管が根から葉までつながっていることを、推論することができる。 思⑦ 葉の断面の観察から、葉のつくりの規則性を見い出すことができる。 思⑧ 気孔が、葉の裏側に多く存在することを、推論することができる。 思⑨ 葉のつき方の共通点や相違点をあげ、日光の当たり方と関連づけて、考察することができる。 思⑩ 観察結果から、光合成が葉緑体で行われることを、指摘することができる。 思⑪ 対照実験の計画を立てることができる。 思⑫ 実験操作の意味を理解し、光合成の原料として二酸化炭素が必要であることを、指摘することができる。	技① 順序よく分解した花のつくりを、テープにはって、整理することができる。 技② 花のめしべの断面をルーペや顕微鏡で、観察することができる。 技③ 茎や根の切片をつくり、それらのつくりを観察することができる。 技④ 葉の表皮や断面のプレパラートをつくり、顕微鏡で、観察することができる。 技⑤ オオカナダモの葉のプレパラートをつくり、顕微鏡で、観察することができる。	知① 被子植物の花の基本的なつくりがわかる。 知② めしべの子房が果実に、胚珠が種子になることを、理解している。 知③ 被子植物と裸子植物の花のつくりの共通点と相違点がわかる。 知④ 根の様子が植物の種類によって異なることがわかる。 知⑤ 道管と師管の役割を理解している。 知⑥ 葉の断面や表皮のつくりについて理解している。 知⑦ 蒸散のはたらきについて理解している。		
	5月 (10)	植物のくらしとなかま	3章 栄養分をつくるしくみ (6)	関⑨ 植物の葉のつき方について、その共通点や相違点に関心をもち、調べようとする。 関⑩ 葉緑体のはたらきに興味をもち、葉緑体の観察を、積極的に行おうとする。 関⑪ 光合成のしくみに興味をもち、光合成にもなる気体の出入りに関わる実験を、積極的に行おうとする。	思⑬ 光合成と呼吸の行われる時間帯や気体の出入りについて、考察することができる。 思⑭ 被子植物の分類の観点を指摘することができる。 思⑮ 数種類の被子植物について、その特徴の違いを、指摘することができる。 思⑯ 種子をつくらない植物の特徴を見いだし、分類の観点を、指摘することができる。 思⑰ 学習した、植物のなかまごとの違いを手掛かりに、種類のわからない植物を観察し、その分類を、推論できる。	技⑥ シダ植物の体を観察し、その特徴を適切に、記録することができる。 技⑦ シダ植物の葉についている胞子のうを見つけ、ルーペや顕微鏡を使って、観察することができる。	知⑧ 上から見ると葉が互いに重なり合わないようになっている。 知⑨ 光合成は、細胞の中の葉緑体で行われることがわかる。 知⑩ 光合成のしくみを理解している。 <small>マイノート</small> 知⑪ 光合成と植物の呼吸について理解している。 知⑫ 水の移動を中心にして、植物のつくりとはたらきについて総合的に理解している。 知⑬ 単子葉類・双子葉類について、根・維管束の配列・葉脈・花弁の数の特徴との関連性を理解している。 知⑭ シダ植物のおもな特徴がわかる。 知⑮ コケ植物のおもな特徴がわかる。 知⑯ シダ植物・コケ植物のような種子をつくらない植物が、胞子によってふえることがわかる。	5月 (10)	前期
	6月 (12)			4章 植物のなかま分け (4)	関⑫ いろいろな植物の特徴の違いに関心をもち、積極的になかま分けを行おうとする。			知⑰ 学習した植物の分類について、理解している。	6月 (12)
			力だめし (1) 世界最大の花・世界最小の花 (21)						
			予備 (2)						

理科 年間指導計画・評価 第1学年

学期	配当月	単元	章	観点別達成目標（評価規準）			配当月	学期	
				自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能			自然事象についての知識・理解
前期	6月	「エネルギー」	身のまわりには、どのようなしくみがかくされているのだろうか(1) 1章 光による現象(8)	関① 虹や弦楽器の音の違い、月面での歩行などに興味をもち、調べようとする。 関② 光の進み方やもの見え方に興味をもち、その規則性を調べようとする。 関③ 水によってコインの見え方が変わる現象に興味をもち、調べようとする。 関④ 凸レンズを使ったときのもの見え方に興味をもち、調べようとする。 関⑤ 音が出ている物体に興味をもち、共通の特徴を調べようとする。 関⑥ 共鳴音さや空気を抜いていくと音が聞こえなくなる現象に興味をもち、音の伝わり方を調べようとする。 関⑦ 楽器づくりなどを通して音の大きさや高さの違いに興味をもち、調べようとする。 関⑧ 物体に力がはたらくと物体がどうなるのかに興味をもち、力のはたらきを調べようとする。 関⑨ ばねを使って物体にはたらく重力の大きさをどのようにして測定すればよいか疑問をもち、調べようとする。 関⑩ 紙コップにのせた板に人が乗っても紙コップがつぶれない現象に興味をもち、圧力について調べようとする。	思① 実験1の結果をもとに、入射角と反射角の関係を考察することができる。 思② 実験2の結果をもとに、入射角と屈折角の関係を考察することができる。 思③ 凸レンズを通る光の進み方をもとに、どの位置にどのような像ができるのかを作図によって求めることができる。 思④ 実験3の結果をもとに、実像と虚像のできる条件を見いだすことができる。 思⑤ 「ためしてみよう」の結果から、音は物体が振動して発生していることを考察することができる。 思⑥ 図33の結果から、音は空気を振動させて伝わっていることを考察することができる。 思⑦ 実験4の結果から、音の大小と振幅、音の高低と振動数が関係していることを考察することができる。 思⑧ 実験結果を誤差を踏まえながらグラフに表し、ばねののびは力の大きさに比例することを見いだすことができる。 思⑨ 物体にはたらく力を見つけ、力の表し方にしたがって、矢印を使って表現することができる。 思⑩ 同じ力がはたらいていても、受ける面積によってそのはたらきが異なることを考察することができる。 思⑪ 水圧は水の重さによって生じていることを考察することができる。 思⑫ 実験6の結果から、水圧と浮力の関係について考察することができる。 思⑬ 「ためしてみよう」の結果から、空気には重さがあり、その重さによって力を受けることを考察すること	技① 光源装置や鏡、分度器を使って、入射角を変えたときの反射角を測定することができる。 技② 光が空気中から水中へ進むとき、境界面で屈折する角度を、入射角を変えながら測定することができる。 技③ 光が水中から空気中へ進むとき、境界面で屈折する角度を、入射角を変えながら測定することができる。 技④ 凸レンズによってできる像を調べる実験を行い、物体と凸レンズの距離によって像の位置や大きさ、向きが変わることを調べることができる。 技⑤ 振動と音の関係を調べる実験を行い、音の大小や高低と振動のしかたの関係を調べることができる。 技⑥ おもりやばねなどを使って、力の大きさとばねののびの関係を調べることができる。 技⑦ ばねばかりなどを使って、浮力の大きさを調べる実験を行うことができる。	知① 鏡で光がはね返るときの規則性を理解する。 知② 光が水中などから空気中へ進むときの規則性を理解する。 知③ 凸レンズによる像のでき方の規則性を理解する。 知④ 音は波としてすべての方向に伝わり、空気中ではおよそ340m/sの速さで伝わることを理解する。 知⑤ 振幅が大きいほど音は大きくなり、振動数が多いほど音が高くなることを理解する。 知⑥ 物体に力がはたらくと、物体を変形させたり、支えているいろいろな種類の力があることを理解する。 知⑦ 重さと質量の違いを理解する。 知⑧ 力の表し方を理解する。 知⑨ 圧力について理解する。 知⑩ 水圧は水の重さによって生じ、深さが深いほど大きく、あらゆる向きにはたらくことを理解する。 知⑪ 水中にある物体には、物体にはたらく水圧の差から浮力が生じることを理解する。 知⑫ 大気圧が生じるしくみを理解する。	6月	前期
	7月(6)			9月(11)	7月(6)				
後期	10月(12)	「物質」	窓に利用されるもの(1) 1章 いろいろな物質とその性質(7)	関① サッシに使用される材料の特徴に気づき、どのような点がサッシとしてすぐれているのかを考えようとする。 関② 白い粉末状の物質を調べることに興味をもち、調べようとする。 関③ 実験結果をまとめたり、結果をもとに話し合ったりしようとする。 関④ 物質の体積と質量の関数に興味を示し、いろいろな物質について調べようとする。 関⑤ プラスチックが身のまわりでどのように用いられているか調べようとする。 関⑥ 酸素、二酸化炭素、窒素など、空気に含まれている身近な気体に興味をもち、それらの気体について調べようとする。 関⑦ 水素やアンモニアなどの気体に興味をもち、それらの気体について調べようとする。 関⑧ 未知の気体を調べることに興味をもち、調べようとする。 関⑨ 身のまわりにある水溶液について興味をもち、物質が水に溶ける様子について考えようとする。 関⑩ 一定量の水に溶ける物質の量は何に関係するのかを調べようとする。	思① 白い粉末状の物質を調べる方法を計画することができる。 思② 実験結果から、調べた物質が何であるかを類推することができる。 思③ 密度を求めることによって、物質の種類を類推することができる。 思④ プラスチックを水への浮き沈みや燃え方の違いで区別できる。 思⑤ 異なる方法で発生させた気体の性質が、同じ性質か異なる性質かを判断できる。 思⑥ アンモニアの噴水実験の結果や原理を、アンモニアの性質と関連づけて説明することができる。 思⑦ 未知の気体を調べる実験を計画することができる。 思⑧ 水に物質が溶けている様子を粒子のモデルで考えることができる。 思⑨ 水溶液の濃さを表す方法を説明できる。 思⑩ 溶解度曲線より、水溶液に溶けている物質の析出方法を見きわめることができる。 思⑪ 水溶液から取り出した結晶の形で物質を区別することができる。 思⑫ 状態変化を粒子のモデルで説明できる。 思⑬ エタノールを加熱したときの温度変化をグラフで表し、関係を見いだすことができる。 思⑭ 測定した融点の結果から、その物質が何であるか類推できる。 思⑮ 水とエタノールの混合物の温度変化のグラフより、エタノールの多い液体を取り出す方法を計画することができる。 思⑯ 蒸留によって得られた液体のおもな成分を判断することができる。 思⑰ 石油からガソリンや灯油、軽油、重油などを取り出す方法を説明できる。	技① ガスパナーを正しく安全に使用することができる。 技② 白い粉末状の物質を調べる実験を、正しく安全に行うことができる。 技③ 実験レポートを作成することができる。 技④ てんびんやメスシリンダーを用いて、質量や体積を正しく測定することができる。 技⑤ 酸素や二酸化炭素の発生や捕集の実験を正しく安全に行うことができる。 技⑥ 未知の気体を調べる実験を、正しく安全に行うことができる。 技⑦ 一定量の水に溶ける物質の量が物質によって異なることを実験で見いだすことができる。 技⑧ 水溶液から溶けている物質を取り出す実験を、正しく安全に行うことができる。 技⑨ 沸点の測定の実験を、正しく安全に行うことができる。 技⑩ 融点を測定する実験を正しく安全に行うことができる。 技⑪ 蒸留装置を正しく組み立て、安全に実験を行うことができる。	知① 物体と物質の違いについて理解する。 知② 有機物と無機物の違いについて理解し、知識を身につける。 知③ 金属と非金属の違いについて理解し、知識を身につける。 知④ 質量の定義について理解する。 知⑤ 密度の定義と求め方について理解する。 知⑥ 密度とものの浮き沈みについて理解する。 知⑦ プラスチックの性質について理解する。 知⑧ 気体の捕集法について理解する。 知⑨ 酸素や二酸化炭素の性質について理解する。 知⑩ アンモニアや水素、窒素などの性質や発生方法、捕集方法について理解する。 知⑪ 気体の性質を調べることで、気体が何であるか区別できることについて理解する。 知⑫ 水溶液の性質、および、溶質、溶媒について理解し、溶質を水に溶かしたとき、全体の質量は変わらないことを理解する。 知⑬ 質量パーセント濃度の定義と求め方について理解する。 知⑭ 一定量の水に溶ける物質の量は、何によって変わるか理解する。 知⑮ 飽和水溶液、溶解度、再結晶の意味について理解する。 知⑯ 純物質と混合物の違いについて理解する。 知⑰ 状態変化では、物質そのものは変化しないことについて理解する。 知⑱ 状態変化では、体積は変化するが質量は変化しないことについて理解する。 知⑲ 融点と沸点について理解する。 知⑳ 蒸留について理解する。	10月(12)	後期
	11月(12)			12月(7)	11月(12)	12月(7)			
	12月(7)	「物質」	身のまわりの物質(26) 3章 水溶液の性質(5)	関⑧ 未知の気体を調べることに興味をもち、調べようとする。 関⑨ 身のまわりにある水溶液について興味をもち、物質が水に溶ける様子について考えようとする。 関⑩ 一定量の水に溶ける物質の量は何に関係するのかを調べようとする。	思⑧ 水に物質が溶けている様子を粒子のモデルで考えることができる。 思⑨ 水溶液の濃さを表す方法を説明できる。 思⑩ 溶解度曲線より、水溶液に溶けている物質の析出方法を見きわめることができる。 思⑪ 水溶液から取り出した結晶の形で物質を区別することができる。 思⑫ 状態変化を粒子のモデルで説明できる。 思⑬ エタノールを加熱したときの温度変化をグラフで表し、関係を見いだすことができる。 思⑭ 測定した融点の結果から、その物質が何であるか類推できる。 思⑮ 水とエタノールの混合物の温度変化のグラフより、エタノールの多い液体を取り出す方法を計画することができる。 思⑯ 蒸留によって得られた液体のおもな成分を判断することができる。 思⑰ 石油からガソリンや灯油、軽油、重油などを取り出す方法を説明できる。	技⑦ 一定量の水に溶ける物質の量が物質によって異なることを実験で見いだすことができる。 技⑧ 水溶液から溶けている物質を取り出す実験を、正しく安全に行うことができる。 技⑨ 沸点の測定の実験を、正しく安全に行うことができる。 技⑩ 融点を測定する実験を正しく安全に行うことができる。 技⑪ 蒸留装置を正しく組み立て、安全に実験を行うことができる。	知⑫ 水溶液の性質、および、溶質、溶媒について理解し、溶質を水に溶かしたとき、全体の質量は変わらないことを理解する。 知⑬ 質量パーセント濃度の定義と求め方について理解する。 知⑭ 一定量の水に溶ける物質の量は、何によって変わるか理解する。 知⑮ 飽和水溶液、溶解度、再結晶の意味について理解する。 知⑯ 純物質と混合物の違いについて理解する。 知⑰ 状態変化では、物質そのものは変化しないことについて理解する。 知⑱ 状態変化では、体積は変化するが質量は変化しないことについて理解する。 知⑲ 融点と沸点について理解する。 知⑳ 蒸留について理解する。	12月(7)	後期
1月(12)	予備(2)			1月(12)	1月(12)				

理科 年間指導計画・評価 第1学年

学期	配当月	単元	章	観点別達成目標（評価規準）				配当月	学期
				自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解		
後期	1月	「地球」 活きている地球	地球内部の謎にせまる(1) 1章 大地がゆれる(5)	関① 地球深部探査船の調査に興味をもち、プレートと関連づけて考えようとする。 関② 最近発生した地震の記録などから、主体的に震源や震央の意味などを調べようとする。 関③ 地域の特徴をもとに、地震による災害について科学的に考えようとする。	思① 震源からの距離が遠くなるほど初期微動継続時間が大きくなることを見いだす。	技① 各地の地震計の記録から、20秒ごとの等発震時曲線をかくことができる。	知① 地震計の記録から、初期微動・主要動の特徴を理解する。 知② 地震のゆれは、震央から遠くなるほどゆれ始めの時刻が遅くなることを理解する。 <small>マイノート</small> 知③ 地震のゆれの大きさや規模は、それぞれ震度やマグニチュードで表すことを理解する。 知④ 日本付近の震央・震源の分布の特徴を、海洋プレートの沈みこみと関連づけて理解する。 知⑤ 火山噴出物の種類とその特徴を理解する。	1月	後期
	2月(12)		2章 大地が火をふく(5)	関④ 火山噴出物に関心をもち、その特徴や種類を調べようとする。	思② マグマの性質の違いと火山の形や噴出物の色、噴火の様子を関連づけて考察できる。 思③ 火成岩の色の違いが、造岩鉱物の違い(種類と含有率)によることを捉えることができる。	技② 火成岩の鉱物の色や形、大きさ、集まり方に注目して観察し、その特徴をスケッチや文章で記録することができる。	知⑥ 火山噴出物の色の違いは、噴出物に含まれる鉱物の種類や量の違いによることを理解する。 知⑦ 日本付近に火山が多い理由をプレートの動きと関連づけて理解する。 知⑧ 火山岩と深成岩の組織の違いを、その成因などと関連づけて理解する。 <small>マイノート</small> 知⑨ 風化や侵食の作用によりできた砕屑物が、流水のはたらきによって運ばれ、河口や海に堆積することを理解する。	2月(12)	
	3月(6)		3章 大地は語る(7) 力だめし(1) (19) 堆積物から過去の津波にせまる	関⑤ 化石の標本や写真に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとする。 関⑥ プレート境界に震央や火山が集中していることに関心をもち、その原因を調べようとする。	思④ 地層を構成する火山灰の層や砕屑物などから、地層の同時代性を推測できる。 思⑤ 地層に含まれる化石から、地層が堆積した当時の環境や時代を推論できる。 <small>マイノート</small> 思⑥ 地層の特徴から、堆積当時の環境や、地層の変化による環境の変化など、過去の歴史を推測できる。 思⑦ 断層や段丘などから、大地が過去に力を受けたことを推測できる。 思⑧ 海嶺から海溝までの太平洋プレートの動きを動的に捉えることができる。	技③ 堆積岩の様子を、粒の大きさ、かたさ、塩酸との反応などに注目して観察し、その特徴を記録することができる。 技④ 地層の特徴を、厚さや重なり方、各層の構成物について観察し、その特徴をスケッチと文章で記録することができる。	知⑩ 地層の広がり方を、粒の大きさの違いに注目し、時間的、空間的に理解する。 <small>マイノート</small> 知⑪ 堆積岩を、粒の大きさや成分の違いなどと関連づけて分類できる。 <small>マイノート</small> 知⑫ プレートの動きによる大地の変動を、地形の特徴から理解する。	3月(6)	
(105)	年間配当時数 97時間+予備8時間								
おもな評価方法			行動観察、発表、自己評価、マイノート、レポート、ワークシート、提出状況など	発表、マイノート、ワークシート、レポート、小テスト・定期テスト、パフォーマンス課題、など	行動観察、発表、実技テスト、レポート、ワークシート、小テスト・定期テストなど	小テスト・定期テストなど			

※生徒の実態や授業の流れによって、学習する内容の順番を入れ替える場合があります。

理科 年間指導計画・評価 第2学年

学期	配当月	単元	章	観点別達成目標（評価規準）				配当月	学期
				自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解		
前期	4月 (11)	「エネルギー」 電流の性質とその利用	電気の道すじ～送電線～(1) 1章 電流の性質(16)	関① 電気の道すじとしての送電線のしくみに興味をもち、発電や送電、電気の利用について調べようとする。 関② 直列回路と並列回路での豆電球の明るさの違いを調べようとする。 関③ 電圧と電流の関係に興味をもち、規則性を調べようとする。 関④ 電気器具のはたらきに興味をもち、調べようとする。 関⑤ 電力と発生する熱量の関係に興味をもち、調べようとする。	思① 乾電池に2個の豆電球をつないで回路をつくらせ、2と通りの回路ができると考えることができる。 思② 実習1の結果から、回路のつながり方を推測することができる。 思③ 実験1の結果から、直列回路と並列回路での電流の規則性を見いだすことができる。 思④ 実験2の結果から、直列回路と並列回路での電圧の規則性を見いだすことができる。 思⑤ 実験3の結果から、電圧と電流の間の規則性を見いだすことができる。 思⑥ 電圧と電流の関係を表すグラフから、電気抵抗の大きさの違いを見いだすことができる。 思⑦ 抵抗器のつなぎ方による全体の電気抵抗の大きさの変化を見いだすことができる。 思⑧ 実験4の結果から、電力と発生した熱量の関係をみいだすことができる。 思⑨ 実験5の結果から、静電気による力の規則性を見いだすことができる。 思⑩ 電子の流れと電流の関係をみいだすことができる。 思⑪ 電流が流れているときと流れていないときの違いを、モデル図で表現することができる。	技① 豆電球などを使って回路をつくり、電流の流れ方を調べることができる。 技② 電流計を使って、回路に流れる電流を測定することができる。 技③ 電流計を使って、回路の各点を流れる電流を測定することができる。 技④ 電圧計を使って、回路にかかる電圧を測定することができる。 技⑤ 電圧計を使って、回路の各区間に加わる電圧を測定することができる。 技⑥ 電源装置などを使って、回路の電圧と電流を調べることができる。 技⑦ 電圧と電流の関係をグラフに表すことができる。	知① 直列回路と並列回路について理解する。 知② 直列回路と並列回路での電流の規則性を理解する。 知③ 直列回路と並列回路での電圧の規則性を理解する。 知④ 電気抵抗についてイメージをともなって理解する。 知⑤ 回路に成り立つ諸法則を理解し、未知の電流や電圧、電気抵抗を求めることができる。 知⑥ 電力について理解する。 知⑦ 電力量について理解する。	4月 (11)	前期
	5月 (13)		2章 電流の正体(6)	関⑥ 静電気による現象に興味をもち、調べようとする。 関⑦ 空気中を電流が流れる現象に興味をもち、放電現象について調べようとする。	思⑧ 実験4の結果から、電力と発生した熱量の関係をみいだすことができる。 思⑨ 実験5の結果から、静電気による力の規則性を見いだすことができる。 思⑩ 電子の流れと電流の関係をみいだすことができる。	技⑧ 静電気を発生させて、静電気による力の規則性を調べることができる。	知⑧ 静電気による力の規則性について理解する。 知⑨ 静電気と電流の関係について理解する。 知⑩ 放電現象について理解し、知識を身につけている。 知⑪ 電流の正体を理解する。 知⑫ 電流が電子の流れであることを理解する。	5月 (13)	
	6月 (12)		3章 電流と磁界(8)	関⑧ 磁石による現象に興味をもち、磁石の性質やはたらきを調べようとする。	思⑫ 実験6の結果から、電流による磁界の規則性を見いだすことができる。 思⑬ 実験7の結果から、電流が磁界から受ける力の規則性を見いだすことができる。 思⑭ 実験8の結果から、電磁誘導の規則性を見だし、発電のしくみを考えることができる。	技⑨ 導線などを使って、電流がつくる磁界を調べることができる。 技⑩ 磁石とコイルなどを使って、電流が磁界から受ける力を調べることができる。 技⑪ コイルや棒磁石、検流計を使って、電流が発生しているかを調べることができる。	知⑬ 磁石のまわりには磁界ができ、磁界の様子は磁力線で表すことができることを理解する。 知⑭ 電流がつくる磁界について理解する。 知⑮ 電流が磁界から力を受けることや、モーターが回転するしくみを理解する。 知⑯ 電磁誘導や発電機のしくみを理解する。 知⑰ 直流と交流の違いを理解する。	6月 (12)	
		(32)	力だめし(1) 電気の利用と医療器具の進歩						
		予備 (4)							

理科 年間指導計画・評価 第2学年

学期	配当月	単元	章	観点別達成目標（評価規準）			配当月	学期	
				自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能			自然事象についての知識・理解
前期	6月(4)	「生命」 動物の生活と生物の進化	生物とは何だろう 動物とはどのような生物だろう(1) 1章 生物の体と細胞(5)	関① 生物と無生物の違いや、植物と動物の違いに興味をもち、調べようとする。	思① 観察したいろいろな細胞の特徴をもとに、植物と動物それぞれの細胞の基本的なつくりを一般化することができる。	技① 最適な細胞像を顕微鏡の視野に出し、正確にスケッチすることができる。	知① 植物・動物ともに、細胞が生物の基本的な最小単位であることを説明できる。	6月(4)	前期
	7月(8)		2章 生命を維持するはたらき(11)	関② 積極的に、動植物細胞の観察に取り組み、それぞれの細胞の特徴や共通点を見いだそうとする。 関③ 細胞がどのように集まって生物の体がつくられているのかに関心をもち、観察の結果などから考えてみようとする。	思② 生物は、細胞呼吸によって活動のエネルギーを取り出していることを理解し、細胞呼吸に必要な物質や発生する物質について説明することができる。	技② 対照実験を設定して、唾液がデンプンを分解す	知② 植物と動物の細胞のつくりの共通点と相違点を理解し、説明することができる。 知③ 単細胞生物と多細胞生物の体の成り立ちを理解している。また、多細胞生物の体を組織や器官の用語を使って説明できる。 知④ 細胞呼吸を式の形で表してその意義について説明することができる。 知⑤ 動物が必要としている栄養分の種類をあげ、消化の意義を説明できる。 知⑥ おもな消化酵素の種類とはたらきについて説明できる。 知⑦ 栄養分が吸収される道すじを説明できる。 知⑧ ヒトの呼吸器官のつくりと肺泡でのガス交換のしくみを説明できる。 知⑨ 細胞でできた不要な物質のうち、アンモニアが排出されるしくみについて理解している。 知⑩ おもな血液成分と組織液について説明できる。 知⑪ 血液循環について、血管の種類や心臓のつくりとはたらき、流れる血液の特徴を説明できる。 知⑫ 動物の感覚器について、それぞれのどのような刺激を受け取っているか説明できる。 知⑬ ヒトのおもな感覚器官をあげ、そのつくりと受け取った刺激を脳に伝えるしくみを説明できる。 知⑭ ヒトの神経系が中枢神経と、それから枝分かれする末梢神経とからなることを説明できる。 知⑮ 感覚器官が受け取った刺激により、ヒトの体に反応が起こるしくみについて説明できる。 知⑯ 反射のしくみと特徴について説明できる。 知⑰ ヒトの体の運動が、骨格と筋肉の協同によって行われていることを説明できる。	7月(8)	
	8月(3)		3章 感覚と運動のしくみ(6)	関④ 食物中の栄養分が、どのようにして体の中に吸収されていくのかに興味をもち、調べようとする。 関⑤ 唾液のはたらきを調べる実験に興味をもち、積極的に取り組もうとする。 関⑥ 栄養分の消化のしくみや、そのゆくえに関心をもち、調べようとする。	思③ 唾液のはたらきを調べる実験結果から、デンプンの分解について推論することができる。 思④ 小腸の内面に多数の柔毛があることを、栄養分の効率的な吸収と関連づけて考察することができる。 思⑤ 肺が多数の肺胞からできている意義を説明することができる。 思⑥ 肺による呼吸を細胞呼吸と関連づけて考察することができる。 思⑦ ヒトの血液循環の様子を肺循環と体循環を組み合わせた模式図などにまとめ、発表することができる。 思⑧ ヒトの反応時間などを調べる実験結果から、感覚器官が刺激を受け取って反応が起こるまでの経路について考察することができる。 思⑨ 自身の手足の動きを、骨格と筋肉の学習をもとに考察することができる。	技③ ヒトの反応時間を調べる実験を行い、その結果をわかりやすくまとめることができる。 技④ 手羽先のつくりを積極的に調べ、その結果をもとに、骨格と筋肉の関係や手足が動くしくみを見いだすことができる。	8月(3)		
9月(15)	4章 動物のなかま(10)	関⑦ ヒトの目や耳、鼻などの感覚器官に関心をもち、自分の経験をもとに、それらのはたらきを調べようとする。 関⑧ 刺激がどのようにして運動などの反応を起こすのかについて興味をもち、そのしくみを調べようとする。 関⑨ 骨格や筋肉のはたらきに関心をもち、自分の体の動きなどをもとに調べようとする。	思⑩ 脊椎動物の体のつくりやふえ方などがその動物の生活のしかたと深い関係があることを、草食動物と肉食動物の例などから考察できる。 思⑪ 脊椎動物は、生活する環境や育ち方によって、子や卵の数に違いがあることを、例をあげて説明することができる。 思⑫ 脊椎動物の特徴を整理して、5つのなかまに分けることができる。 思⑬ 昆虫の観察結果などをもとに、節足動物に共通する特徴を見いだすことができる。 思⑭ イカやアサリなどの観察結果をもとに、軟体動物の共通の特徴を見いだすことができる。 思⑮ 脊椎動物の5つのなかまの特徴や地球上に出現した年代などから、脊椎動物の進化のしかたを推論することができる。 思⑯ シンゾウの化石などから、生物が長い地球の歴史の中で少しずつ変化してきたことを推論することができる。 思⑰ 水中生活をしてきた生物が陸上生活が可能になるように進化するには、どのような体の変化が必要か推論することができる。	技⑤ 身近な動物について、生活のしかたや体の特徴などについて調べ、レポートなどにまとめることができる。 技⑥ 身近な昆虫を調べ、その結果を適切に記録することができる。 技⑦ イカやアサリなどを解剖し、その特徴を適切に記録することができる。	知⑱ 動物が背骨の有無によって脊椎動物と無脊椎動物に分けられることを、説明することができる。 知⑲ 脊椎動物のなかまのふやし方や体温の特徴を、例をあげ、用語を使って説明できる。 知⑳ 脊椎動物の5つのなかまの特徴を説明し、身近に見られる種類をあげることができる。 知㉑ 節足動物と軟体動物のそれぞれの特徴と共通の特徴について説明し、そのなかまのおもな種類をあげることができる。 知㉒ 節足動物や軟体動物以外にもさまざまな無脊椎動物がいることを、例をあげて説明できる。 知㉓ 相同器官に進化の証拠がみられることを理解し、図を用いて説明できる。 知㉔ 脊椎動物や植物の進化について理解し、証拠を示しながら進化の道筋を説明できる。	9月(15)			
後期	10月(7)	5章 生物の移り変わり進化(5)	化石の標本や写真に興味をもち、過去の生物について調べてみようとする。 関⑱ 地球の長い歴史に関心をもち、その中で生物がどのように変遷してきたか調べようとする。	思⑱ 水中生活をしてきた生物が陸上生活が可能になるように進化するには、どのような体の変化が必要か推論することができる。	技⑧ 脊椎動物の特徴を示す表から、共通する特徴の数を数えて表に記入することができる。	10月(7)	後期		
	11月(1)	予備(5)				11月(1)			

理科 年間指導計画・評価 第2学年

学期	配当月	単元	章	観点別達成目標（評価規準）				配当月	学期
				自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解		
後期	11月 (15)	「物質」	銀をつくる粒子(1)	関① 銀の電子顕微鏡写真に注目し、小さな粒子について自分の考えを発言しようとする。	思① 実験結果から、もとの物質とは異なる性質をもった別の物質に分かれたことを論理的に説明することができる。	技① 生成した物質の性質を調べるための実験器具等を適切に選択し、これらの基本操作を行うことができる。	知① 化学変化や分解について理解する。 知② 電気分解について説明することができる。	11月 (15)	後期
			1章 物質の成り立ち(9)	関② カルメ焼きがふくらむことに興味を示し、炭酸水素ナトリウムの変化について考え、気体の集め方や調べ方を思い出そうとする。					
	2章 物質を表す記号(4)	関③ 身のまわりの化学変化に興味を示し、炭酸水素ナトリウムの分解の実験を行おうとする。 関④ 水素の燃焼によって水が生成することから、水が分解するとどうなるのか考えようとする。 関⑤ モデルを用いて、分子がどのようにできているかを考えようとする。 関⑥ 分子のモデルを用いて、水の電気分解がどのような変化であるかを考えようとする。	思② 実験結果から、分解して生成した物質の成分を推定することができる。 思③ 化学変化を原子・分子のモデルと関連させながら化学反応式で表すことができる。	技② 発生した物質の性質を調べるための実験器具等を適切に選択し、それらの基本操作を行うことができる。 技③ 分子からできている物質について、分子のモデルをつくることができる。	知③ 物質は原子からできていることを知っており、原子の性質を説明することができる。 知④ いくつかの原子が結びついて分子ができていることを理解する。				
12月 (10)	化学変化と原子・分子	3章 さまざまな化学変化(9)	関⑦ 鉄と硫黄を加熱したときの変化を予想しようとする。	思④ 燃焼を原子・分子のモデルと関連させながら化学反応式で表すことができる。	技④ 鉄と硫黄の化合の実験を安全に行い、生成した物質を調べることができる。	知⑤ 原子には、その種類ごとに記号がつけられていることを理解する。 知⑥ さまざまな物質について、モデルと関連させて化学式をつくる方法を身につける。	12月 (10)	後期	
		4章 化学変化と物質の質量(5)	関⑧ 鉄が酸化すると何が出来るかについて考えようとする。 関⑨ 炎の位置により銅板が酸化したり還元することに興味をもち、その理由を考えようとする。 関⑩ 身のまわりの化学変化による熱の利用に興味をもち、調べようとする。	思⑤ 鉄と硫黄の混合物を加熱すると別の物質ができることを、論理的に説明することができる。 思⑥ 酸化を原子・分子のモデルと関連させながら化学反応式で表すことができる。 思⑦ 酸化銅を還元する実験の結果を、原子や分子のモデルを使って考察することができる。	技⑤ 酸化銅を還元する実験を安全に行い、結果を記録することができる。 技⑥ 温度が変化する化学変化の実験を適切に行い、結果を記録することができる。	知⑦ 化学変化を、モデルや化学反応式で表す方法を身につける。 知⑧ 化合と分解について、具体的な例を原子のモデルや化学反応式を使って示す方法を身につける。 知⑨ 化学変化を化学反応式で表すことができ、それをもとに酸化を説明する方法を身につける。 知⑩ 金属酸化物の還元を説明する方法を身につける。			
1月 (8)	(29)	予備(4)	力だめし(1) 原子番号113番、日本発の元素へ	関⑪ うすい塩酸と炭酸水素ナトリウムでの気体発生における質量変化について興味を示し、考えようとする。 関⑫ 金属の質量と化合する酸素の質量の間に、どのような関係があるか考えようとする。 関⑬ 銅またはマグネシウムの質量と化合した酸素の質量を測定する実験を行い、規則性を見いだそうとする。	思⑧ 実験結果から、化学変化における物質の質量の関係をみいだすことができる。 思⑨ 質量保存の法則を原子・分子のモデルおよび化学反応式と関連させて考えることができる。 思⑩ 実験結果を分析し、化学変化における物質の質量の関係をみいだすことができる。	技⑦ 化学変化に関係する物質の質量を注意深く測定することができる。 技⑧ 反応前と反応後の質量を注意深く測定することができる。	知⑪ 化学変化と熱の出入りの関係について説明する方法を身につける。 知⑫ 質量保存の法則について理解する。 知⑬ 化合する物質の質量の比が一定になっていることを理解する。	1月 (8)	後期

理科 年間指導計画・評価 第2学年

学期	配当月	単元	章	観点別達成目標（評価規準）				配当月	学期
				自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解		
後期	1月 (4)	「地球」 地球の大気と天気の変化	ダイナミックな霧「肱川あらし」(1) 1章 空気中の水の変化 (7)	関① 霧や雲ができるしくみや、風や天気変化などの身近な気象に興味をもち、調べようとする。 関② 雲が発達するときの変化を進んで見いだそうとする。 関③ 同じ気温でも霧が発生するときとしないときがある理由を考えようとする。 関④ 地表のさまざまな水を関連づけて、水の移動や循環を見いだそうとする。	思① 霧が発生する条件を見だし、霧のでき方を考えることができる。 思② 雲が発生する条件を見だし、雲のでき方を考えることができる。 <small>マイノート</small> 思③ 露点の測定結果から、空気中の水蒸気量を推定することができる。 <small>マイノート</small> 思④ 空気の温度と露点をもとに湿度を求めることができる。 思⑤ 霧が発生するしくみを気温と水蒸気量の関係をもとに説明することができる。	技① 霧を発生させる実験を見て、結果を記録することができる。 技② 雲を発生させる実験を行い、結果を記録することができる。 技③ 露点を正しく測定することができる。	知① 上昇気流や下降気流の例とその原因を理解し、知識を身につける。 知② 雲が雨などになる過程を理解する。 知③ 水蒸気を含んだ空気から水滴が現れるしくみを理解する。 <small>マイノート</small> 知④ 空気中に水滴が現れるしくみと関連づけて露点を理解する。 知⑤ 湿度の意味を理解し、知識を身につける。 知⑥ 太陽光のエネルギーがかかわりながら、地表付近の水が状態を変えて循環していることを理解する。	1月 (4)	後期
	2月 (15)		2章 天気の変化と大気の動き (9)	関⑤ 日々の気象要素の変化に関心をもち、意欲的に気象観測をしようとする。 関⑥ 前線の通過に伴う天気の変化に関心をもち、進んで調べようとする。 関⑦ 日本付近の大気の動きや地球規模の大気の動きに関心をもち、進んで調べようとする。	思⑥ 天気と気圧の関係を見いだすことができる。 思⑦ 大気の動きを立体的に捉え、天気との関係を考えることができる。 思⑧ 天気と気圧、気温、湿度の関係を見いだすことができる。 思⑨ 気温が急に变化する理由をモデル実験の結果と関連づけて説明することができる。 思⑩ 天気図と観測データを関連づけて、前線の通過に伴う天気の変化を説明できる。 思⑪ 低気圧や高気圧の移動の規則性を見いだすことができる。	技④ 天気図から天気や風向・風力を読み取ったり、雲画像から雲の分布の特徴を読み取ることができる。 <small>マイノート</small> 技⑤ 気象観測の方法を知り、器具を正しく使って観測し、結果を記録することができる。 技⑥ 気象観測で得られたデータを表やグラフなどに整理することができる。 技⑦ 温帯低気圧の構造を読み取ることができる。	知⑦ 等圧線、高気圧や低気圧の意味を理解し、知識を身につける。 知⑧ さまざまな所で行った気象観測のデータが天気の予測に役立てられていることを理解する。 知⑨ 気団のでき方とその性質を理解する。 知⑩ 前線の種類とその付近の大気の動きを理解する。 知⑪ 寒冷前線や温暖前線の通過に伴う天気の変化を理解し、知識を身につける。 知⑫ 偏西風が低気圧や移動性高気圧の移動に影響を及ぼすことを理解する。	2月 (15)	
	3月 (8)		3章 大気の動きと日本の四季 (5) 力だめし(1) 局地的大雨から身を守る 予備(4)	関⑧ 日本の天と大陸や海洋の関係に関心をもち、進んで調べようとする。 関⑨ 日本の四季の天気に関心をもち、進んで調べようとする。 関⑩ わたしたちの生活が気象と深くかかわっていることを認識し、自然とうまくつき合って生活するためにたいせつなことを考えようとする。	思⑫ 地面と海面のあたたまり方の違いをもとに、風がふく向きを説明することができる。 思⑬ 気団からふき出す大気の性質が変化する原因を見いだすことができる。 思⑭ 日本付近の台風の進路の特徴を見いだして、その原因を考えることができる。	技⑧ 複数の天気図から気象要素の連続的な変化を読み取ることができる。 技⑨ 日本の四季と梅雨の天気の特徴を天気図などから読み取ることができる。	知⑬ 日本付近の大気の動きを地球規模の大気の動きの中で捉え、地球規模の大気の動きの原因を理解する。 知⑭ 海陸風や季節風がふくしくみを理解する。 知⑮ 日本周辺にできる気団を理解する。 知⑯ 日本の四季と梅雨の天気の特徴とそれが生じる	3月 (8)	
(140)	年間配当時数 123時間＋予備17時間								
おもな評価方法			行動観察、発言、発表、自己評価、マイノート、レポート、ワークシートなど	発言、発表、マイノート、ワークシート、小テスト・定期テストなど	行動観察、発言、発表、マイノート、レポート、ワークシート、小テスト・定期テストなど	マイノート、ワークシート、小テスト・定期テストなど			

※生徒の実態や授業の流れによって、学習する内容の順番を入れ替える場合があります。

理科 年間指導計画・評価 第3学年

学期	配当月	単元	章	観点別達成目標（評価規準）				配当月	学期
				自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解		
前期	4月 (11)	「エネルギー」 運動とエネルギー	どのようなときに運動がはじまるのだろうか(1) 1章 力のつり合い(7)	関① 力がはたらいたときの物体の運動に興味をもち、運動のしかたなどを調べようとする。 関② 1つの物体にいくつかの力がはたらく場合に興味をもち、どのようになるか調べようとする。	思① 2力がつり合う条件を見だし、つり合っている2力の1つからもう1つの力を考えることができる。 思② 実験2の結果から、角度をもってはたらく2力とその合力の関係を見いだすことができる。	技① ばねばかりなどを使って、力がつり合う条件を調べることができる。 技② ばねばかりなどを使って、合力とものの2力の関係を調べることができる。	知① 2力のつり合いについて理解する。 知② 2力がつり合う条件を理解する。 知③ 力の合成や合力の意味、合力の求め方を理解する。 知④ 力の分解や分力、分力の求め方を理解する。 知⑤ 物体の速さについて理解する。 知⑥ 力がはたらき続けるときの物体の運動について理解する。	4月 (11)	
	2章 物体の運動(8)		関③ 物体の運動の様子に興味をもち、調べようとする。 関④ 物体を移動させるなどしたときのことに興味をもち、仕事について調べようとする。	思③ 斜面上の物体にはたらく重力を、斜面に垂直な方向と平行な方向に分解して考察することができる。 思④ ストロボ写真やデジタルビデオカメラの映像をもとに、物体の運動を分析することができる。	技③ 記録タイマーなどを使って、物体の運動の様子を調べることができる。 技④ 運動の様子を調べた記録テープを処理することができる。	知⑦ 物体に力がはたらかないときの運動について理解する。 知⑧ 作用・反作用の法則について理解する。			
	3章 仕事とエネルギー(9)		関⑤ 道具を使うと仕事の量が小さくできるかどうかに興味をもち、調べようとする。 関⑥ 仕事の量が同じでも、かかる時間が異なることがあることに興味をもち、仕事の能率を調べようとする。	思⑤ 記録から、物体の運動の様子を考察することができる。 思⑥ 記録から、力がはたらき続けたときの台車の運動を考察することができる。 思⑦ 力がはたらかないときの物体の運動を考察することができる。	技⑤ 記録タイマーなどを使って、斜面を下りる台車の運動を調べることができる。 技⑥ 運動の様子を調べた記録テープを処理することができる。	知⑨ 理科でいう仕事について理解する。 知⑩ 仕事の原理について理解する。 知⑪ 仕事率について理解する。 知⑫ エネルギーについて理解する。 知⑬ 位置エネルギーについて理解する。 知⑭ 運動エネルギーについて理解する。 知⑮ 力学的エネルギー保存の法則について理解する。			
5月 (10)	前期	4章 多様なエネルギーとその移り変わり(3)	関⑦ 身のまわりで利用しているエネルギーに興味をもち、どのようなエネルギーがあるか調べようとする。	思⑧ 2つの物体間にはたらく力を考察することができる。 思⑨ 重力や摩擦力に逆らってする仕事について考察することができる。	技⑦ 動滑車や斜面を使う場合と使わない場合について、物体を持ち上げたときの仕事の量を調べることができる。	知⑯ いろいろな種類のエネルギーがあることを理解する。 知⑰ エネルギーは相互に変換することができるが、その総量は一定であることを理解する。	5月 (10)		
5章 エネルギー資源とその利用(4)		関⑧ 生活を支えるエネルギーにはどのようなものがあるか興味をもち、調べようとする。	思⑩ 実験5の結果から、道具を使っても使わなくても、仕事の量は変わらないことを見いだすことができる。 思⑪ ハンマーでくいを打ちこむとき、深く食いこませるにはどのようにすればよいのか考えることができる。 思⑫ 位置エネルギーの大きさと高さや質量の関係を考察することができる。 思⑬ 運動エネルギーの大きさと速さや質量の関係を考察することができる。 思⑭ 力学的エネルギーは一定に保たれることを見いだすことができる。	技⑧ 位置エネルギーの大きさと高さや質量の関係を調べることができる。 技⑨ 運動エネルギーの大きさと速さや質量の関係を調べることができる。	知⑱ 白熱電球とLED電球の比較から、エネルギーの変換効率について理解する。 知⑲ 熱の伝わり方について理解する。 知⑳ いろいろな発電のしくみやそれぞれの特徴を理解する。 知㉑ エネルギーを利用していくことによって生じる問題について認識する。				
6月 (16)		カだめし(1)	関⑨ エネルギー資源の活用や環境問題に関心を持ち、持続可能な社会をつくるために、エネルギー資源の開発や利用における課題を認識する。	思⑮ 実験8の結果から、エネルギーの変換について考えることができる。	技⑩ 手回し発電機などを使って、エネルギー変換について調べることができる。	知㉒ 放射線の種類や性質、生物への影響を理解する。 知㉓ 持続可能な社会をつくるために、エネルギー資源の開発や利用における課題を認識する。			6月 (16)
7-8月 (11)	「生命」 生命の連続性	つながる生命(1)	関① 生命の連続性に興味をもち、調べてみようとする。 関② 細胞分裂のしくみに興味をもち、多くの分裂像を観察しようとする。	思⑯ エネルギーを利用していくときに、どのようなことが問題となるのか考えることができる。	技⑩ 手回し発電機などを使って、エネルギー変換について調べることができる。	知㉔ いろいろな種類のエネルギーがあることを理解する。 知㉕ エネルギーは相互に変換することができるが、その総量は一定であることを理解する。	7-8月 (11)		
9月 (8)		1章 生物の成長とふえ方(7)	関③ 生物のふえ方に関心を持ち、意欲的に調べてみようとする。	思⑰ 写真資料をもとに、根の成長と細胞の変化について考察することができる。	技① プレパラートをつくり、いろいろな分裂像を見つけて出し、正確にスケッチすることができる。	知① 細胞が分裂するときの染色体のふるまいについて理解し、知識を身につけている。 知② 無性生殖について、例をあげてその特徴を説明することができる。			9月 (8)
9月 (8)	前期	2章 遺伝の規則性と遺伝子(5)	関④ 遺伝の現象やしくみに興味をもち、意欲的に調べようとする。 関⑤ 生殖・発生や遺伝の現象に感動し、生命に対する畏敬の念をもつ。	思⑱ さまざまな発電方法の長所・短所を比較し、発表することができる。	技① 手回し発電機などを使って、エネルギー変換について調べることができる。	知⑳ 熱の伝わり方について理解する。 知㉑ いろいろな発電のしくみやそれぞれの特徴を理解する。 知㉒ エネルギーを利用していくことによって生じる問題について認識する。	9月 (8)		
9月 (8)		予備(4)	思⑳ エネルギーを利用していくときに、どのようなことが問題となるのか考えることができる。	思⑳ 有性生殖と無性生殖の違いについて説明することができる。 思㉑ 遺伝子と生殖細胞を用いて、分離の法則を説明することができる。 思㉒ メンデルの実験結果から、子の代で優性の形質を現すものだけが生じ、孫の代で優性の形質と劣性の形質を現すものが3:1の割合で生じることを、遺伝子を使って説明することができる。	技② プレパラートをつくり、いろいろな分裂像を見つけて出し、正確にスケッチすることができる。	知㉓ 優性の法則を理解し、知識を身につけている。 知㉔ メンデルの実験方法とその結果を説明することができる。 知㉕ 遺伝子の本体はDNAであることと、遺伝子是不変でなく変化することを理解し、知識を身につけている。 知㉖ 現在の遺伝子やDNAに関する研究成果の利用を、例をあげて説明することができる。			

理科 年間指導計画・評価 第3学年

学期	配当月	単元	章	観点別達成目標（評価規準）				配当月	学期
				自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解		
前期	9月 (7)	「物質」	水素と酸素から電気をつくる(1)	関① 燃料電池に興味を示し、電池を身近なものとしてとらえ、積極的に電池のしくみを学ぼうとする。 関② どの水溶液が電流を通すか興味を示し、電流を通す水溶液に共通することを進んで調べようとする。 関③ 意欲的に他の班の実験結果の発表を聞くことができる。 関④ 電気分解の実験に興味を示し、電極で見られる変化のしくみを進んで調べようとする。 関⑤ 原子が電気を帯びた粒子になっていることに興味を示し、原子が電気を帯びるしくみを進んで調べようとする。 関⑥ 電池の実験に興味を示し、進んで電池のつくりを調べようとしている。 関⑦ 電池から取り出される電流に影響を与えるものを調べる実験に興味を示し、進んで調べようとしている。 関⑧ いろいろな電池が利用されていることに興味をもち、それぞれの電池の特徴について調べようとする。	思① 電流を通す水溶液に電流を通したときに、電極付近で化学変化が起こることを説明することができる。 思② 実験結果から、塩化銅水溶液中では、銅原子は電気を帯びた粒子になっていることを推論し、説明することができる。 思③ 実験結果から、塩酸中では、塩素原子は-の電気を帯びた粒子になっていることを推論し、説明している。 思④ 実験結果から、電池は化学エネルギーを電気エネルギーに変換していることを見だし、説明している。 思⑤ 電池のしくみをイオンのでき方と関連させて考察し、説明することができる。	技① どのような水溶液が電流を通すか調べる実験を、正しく安全に行うことができる。 技② 塩酸に電流を通し、電極付近で発生する気体が何であるか調べる実験を、正しく安全に行うことができる。 技③ 電池をつくり、電気エネルギーを取り出す実験を、正しく安全に行うことができる。	知① 電解質・非電解質について理解し、それぞれの物質の例をあげることができる。 知② 塩酸や塩化銅水溶液に電流を通したとき、両極に生じる物質が何であるか理解する。 知③ 原子の構造を知り、原子が電氣的に中性である理由を説明する。 知④ 原子がどのようにして陽イオンや陰イオンになるかそのしくみを理解する。 知⑤ イオン式の書き方がわかり、代表的なイオンをイオン式で表す。 知⑥ 電離について理解し、電離のようすを化学式とイオン式を使って表す。 知⑦ 電池のしくみを電極での変化を中心に説明することができる。	9月 (7)	前期
			10月 (16)	2章 酸・アルカリと塩(11)	関⑨ 身のまわりの酸性やアルカリ性の水溶液に興味を示し、進んで調べようとしている。 関⑩ 酸性やアルカリ性の水溶液に共通の性質があることに興味を示し、その性質のもとを調べようとしている。 関⑪ 酸と金属の反応で水素が発生することに興味を示し、進んでその理由を考えようとする。 関⑫ 酸とアルカリの反応に興味を示し、進んでその変化を調べようとする。 関⑬ 酸とアルカリの反応をイオンのモデルで表すことができることに興味を示し、進んで説明しようとする。 関⑭ 中和による水溶液のpHの変化に興味を示し、進んで調べようとする。	思⑥ 実験結果から、酸性やアルカリ性の水溶液の共通な性質を判断し、説明している。 思⑦ 実験結果から、酸性の水溶液の共通した性質のものは水素イオンで、アルカリ性の水溶液の共通した性質のものは水酸化物イオンであることを考察し、説明することができる。 思⑧ 実験結果より、中和によってできた塩の種類を、その形から類推し、説明することができる。 思⑨ 中和の様子を、イオンのモデルを使って考察し、説明している。	技④ 酸性やアルカリ性の水溶液に共通した性質を調べる実験を、正しく安全に行うことができる。 技⑤ 酸性やアルカリ性の水溶液に共通した性質のもとを調べる実験を、正しく安全に行うことができる。 技⑥ こまごめピペットの使い方に慣れ、中和によって塩ができることを調べる実験を、正しく安全に行うことができる。		
後期	11月 (16)	「物質」	予備 力だめし(1)					11月 (16)	後期
			12月 (10)	「地球」	地球はどのような天体なのだろうか(1)	関① 地球以外の天体での生物の存在について関心をもち、天体や宇宙について意欲的に調べようとする。 関② さまざまな惑星の環境について関心をもち、調べてみようとする。 関③ 惑星以外の太陽系の天体に関心を示し、それを調べようとする。 関④ 太陽について関心をもち、太陽表面の観察に積極的に取り組もうとする。 関⑤ 太陽系の外の宇宙について関心をもち、どのような天体があるかを調べようとする。 関⑥ 太陽や星の1日の動きに関心がある。 関⑦ 季節による気温の変化に興味をもち、その原因を調べようとする。	思① 天体としての地球の特徴を理解し、生物の存在との関連を考えることができる。 思② 地球型惑星と木星型惑星の特徴を理解し、その違いを考えることができる。 思③ 黒点の移動から太陽が自転していることを推測できる。 思④ 恒星の明るさと距離の関係を捉えられる。 思⑤ 太陽の1日の動きが、地球の自転による見かけの動きであることを捉えられる。 思⑥ 観測地によって天体の見える方向や動きが異なる理由を、見ている空の方向の違いとして捉えられる。 思⑦ 地球の公転により真夜中に南中する星座が季節ごとに変化することを捉えられる。 思⑧ 同時刻に観測した星座は、地球の公転により西に移動して見えることを捉えられる。 思⑨ 図から季節によって太陽の南中高度や昼間の長さが異なることを捉えられる。 思⑩ 図52をもとに、地軸の傾きによって、季節による太陽高度の変化や昼間の長さの変化が起こることを捉えられる。 思⑪ 地球から見える月の形や位置の変化を、月の公転と関連づけて捉えられる。 思⑫ 金星が星座の星の間を動いて見える原因について、地球と金星の位置関係と関連づけて捉えられる。 思⑬ 金星の見え方の変化を、太陽・金星・地球の位置関係と関連づけて捉えられる。	技① 天体望遠鏡を用いて、安全に太陽表面を観察することができる。 技② 透明半球を用いた太陽の1日の動きの観測を行うことができる。 技③ 星の1日の動きを観測し、それを天球上に表すことができる。 技④ 同じ時刻に見た月の形と位置の変化を調べることができる。	
後期	1月 (6)	「地球」	宇宙の中の地球	関⑧ 月の満ち欠けや、見える日時や方位などについて関心がある。 関⑨ 金星の動きや見え方に関心をもち、その原因を推測しようとする。	思⑪ 地球から見える月の形や位置の変化を、月の公転と関連づけて捉えられる。 思⑫ 金星が星座の星の間を動いて見える原因について、地球と金星の位置関係と関連づけて捉えられる。 思⑬ 金星の見え方の変化を、太陽・金星・地球の位置関係と関連づけて捉えられる。			1月 (6)	後期
			予備 力だめし(1) 宇宙をめぐる物質						

理科 年間指導計画・評価 第3学年

学期	配当月	単元	章	観点別達成目標（評価規準）				配当月	学期	
				自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解			
後期	1月 (6)	「環境」 自然と人間 (24)予備(5)	1章 自然界のつり合い (5)	関① さまざまな環境における生態系について想像しようとする。 関② 食物連鎖など、生物のつながりについて関心をもち、調べようとする。	思① 実験結果から、土の中の微生物のはたらきを考察できる。 思② 自然界の炭素などの物質の移動を、呼吸や光合成、食物連鎖などと関連づけて捉えることができる。	技① 対照実験の意味を理解しながら、実験を行うことができる。	知① 食物連鎖における生物のつながりについて理解し、知識を身につけている。 知② 食物連鎖の数量的な関係やそのつり合いの変化について理解する。 知③ 落ち葉を出発点とした食物網について理解し、知識を身につけている。	1月 (6)	後期	
	2月 (15)		2章 人間と環境 (4)	関③ 人間の生活が自然環境に及ぼす影響について考え、調べようとする。 関④ 人間が地球上のどのような所で生活しているのかを考えようとする。 関⑤ 自然からの恩恵や自然災害、防災・減災の取り組みについて、関心をもち、考えようとする。	思③ 調査で得られた結果を図や表にまとめるとともに、結果に基づいた考察ができる。 思④ 地球規模でのさまざまな環境問題を理解し、自然界のつり合いを保つ必要性を考察することができる。	技② 身近な環境調査について、見通しをもって計画を立てることができる。	知④ 身近な環境の調査結果と関連づけながら、地球規模での環境問題を理解する。	2月 (15)		
	3月 (8)		3章 自然が人間の生活におよぼす影響 (6)	関⑥ 日常生活を豊かにしてきた科学技術に興味をもち、調べようとする。 関⑦ 科学技術の発展によってわたしたちの生活や社会が便利になったことに興味をもち、調べようとする。 関⑧ 環境汚染やエネルギー資源の枯渇などに関心をもち、調べようとする。 関⑨ 身のまわりの環境問題に関心をもち、テーマを決めて調べようとする。	思⑤ 身近な自然からの恩恵や自然災害についての調査の計画を立てることができる。 思⑥ 調査結果から地域の自然からの恩恵や自然災害について、地域の地形の特徴などと関連づけて考察することができる。 思⑦ 地震発生時の適切な対応について考察することができる。 思⑧ 地域の地形の特徴などをもとに、情報を適切に組み合わせることで考えることができる。	技③ 地域の自然についての的確な情報を収集し、結果をわかりやすく整理することができる。	知⑤ 地球内部または太陽光のエネルギーと関連づけて、日本列島における自然の変化の特徴を理解する。 知⑥ 地震や火山が及ぼす人間の生活への影響や防災・減災の取り組みについて理解する。 知⑦ 天気の変化が及ぼす人間の生活への影響や防災・減災の取り組みについて理解する。	3月 (8)		
	(140)		年間配当時数 116時間＋予備24時間							
	おもな評価方法				行動観察、発言、発表、自己評価、マイノート、レポート、ワークシートなど	発言、発表、ワークシート、レポート、小テスト・定期テストなど	行動観察、発言、発表、マイノート、パフォーマンス課題、レポート、ワークシート、小テスト・定期テストなど	小テスト・定期テスト		

指導目標		表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、豊かな情操を養う。									
月	学習の主題 (教材)	時 数	指導目標	観点別評価基準							
				音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力				
4月	○アルトリコーダーで表現しよう。(基本的な音の指使い)(喜びの歌)(かっこう)	5	楽器の特徴を生かし、それぞれの曲にふさわしい音色や奏法で表現する。	楽器の良さを引き出し、曲想を工夫して表現しようとしている。	楽器の本来の持ち味を的確にとらえ、美しい音色で演奏できるように表現を工夫している。	楽器の音の特性を知覚し、適切な音のイメージを持ちながら表現を工夫している。	多様な演奏法を知覚し、音と音や伴奏との関わりを味わおうとしている。				
5月 6月	○詩のイメージを生かして歌おう。(校歌)(エーデルワイス)(We'll Find The Way)	5	表現するための基礎的な技能を身につけ、全体の響きや曲想を感じとって表現する。	曲の雰囲気積極的に感じ、課題を明確に持って、基礎的な歌唱の技能を身につけようとしている。	歌詞や旋律および伴奏の特徴から曲の雰囲気を感じとり、速度や強弱を工夫してその効果を味わっている。	諸記号を読み取り、発声や発音、姿勢などの基礎を身につけ、声量と音域に応じた発声で表現している。	旋律やことばのもつ特性を把握し、深くイメージしてハーモニーや伴奏とのかかわりを味わおうとしている。				
7月 9月	○曲の特徴をとらえて聴こう。(和声と創意の試み第一集「四季」より「春」)(魔王)	5	音楽表現の特徴を感じ、オーケストラの多彩な響きや表現を味わう。	イメージと音楽を関連させて、表現の工夫を感じとりながら意欲的に聴いている。	拍子や速度、調などの違いによる響きの違いを感じとっている。	響きをとらえ、曲の持つ雰囲気や曲想を感じとって、音楽に親しもうとしている。	深くイメージし、楽曲の背景や作曲・編曲者との関わりなどを理解し聴きとっている。				
月	生き生きと表現しよう。(合唱コンクール曲)	6	曲の仕組みや諸記号の効果を生かし、曲の雰囲気をとらえて表情豊かに合唱する。	合唱による表現に関心を持ち、意欲的に練習に取り組んでいる。	曲想や、転調による曲の雰囲気の変化を感じ、その効果を生かした表現を工夫している。	多様な用語や諸記号を理解し、基礎的な表現の技能を身につけている。	曲趣に応じた発声や発音があることを理解し、曲の持つ良さや特徴に気づいている。				
評価方法・評価場面				授業への取り組み	◎	授業への取り組み	◎	授業への取り組み	◎	授業への取り組み	◎
				歌唱実技試験	◎	歌唱実技試験	◎	歌唱実技試験	◎	ワークシート	◎
				定期試験	◎	音楽のハーモニー	◎	音楽のハーモニー	◎	各曲の鑑賞の感想文	◎
				音楽のハーモニー	◎	定期試験	◎	定期試験	◎	音楽のハーモニー	◎
				学習カード	◎					定期試験	◎
前期取り組みにおける評価の集計											
前期の評価											

10月	曲の特徴をとらえて表現しよう。(朝の風に)(飛び出そう未来へ)	4	曲想を感じ取って表現を工夫する。	音楽に対する感動体験を大切にしようとしている。	音楽表現の幅広さに気づき、表現を工夫している。	適切な声のイメージを持っている。	曲にふさわしい多様な音楽表現があることを知る。
11月	くらしの中の音楽① (日本の民謡と芸能)	4	特徴を感じとり、くらしとのかかわりを意識する。	地域の民謡や芸能に興味をもち、意欲的に聴いている。	演奏による表現の多様さを感じとっている。	曲の持つ曲想を感じとり、音楽に親しもうとしている。	文化や歴史とのかかわりを理解し、聴きとっている。
12月	くらしの中の音楽② (アジアの音楽と芸能)	4	生活や文化とのかかわりを意識しながら鑑賞する。	特徴を比較しながら意欲的に聴いている。	音楽の諸要素を適切にとらえている。	曲の持つ雰囲気や曲想を感じとっている。	各地域の音楽と文化のつながりを意識している。
1月	曲の特徴をとらえて表現しよう。(いつか)(Forever)	4	曲想を感じ取って表現を工夫する。	⑩音楽に対する感動体験を大切にしようとしている。	⑩音楽表現の幅広さに気づき、表現を工夫している。	適切な声のイメージを持っている。	曲にふさわしい多様な音楽表現があることを知る。
2月	言葉と旋律とのかかわりをとらえて歌おう。(赤とんぼ)	2	言葉と旋律とのかかわりや意図を考えて、表現を工夫する。	作詞者や作曲者の意図に興味関心を持つ。	拍子、速度、調を感じとり、表現を工夫している。	楽譜から適切に読み取り、表現に生かすことができる。	曲を内面からとらえようとしている。
3月	〇アルトリコーダーで表現しよう。(さんぽ道)(オーラリー)(アニーローリー)	4	それぞれの曲にふさわしい音色や奏法で表現する。	曲想を工夫して表現しようとしている。	美しい音色で演奏できるように表現を工夫している。	適切な音のイメージを持ちながら表現を工夫している。	音と音や伴奏との関わりを味わおうとしている。
	曲の特徴をとらえて 聴こう。(ジョーズのテーマ)	2	演奏形態の特徴と曲想とのかかわりを理解して聴く。	楽曲の持つ雰囲気や曲想を感じとって聴こうとしている。	表現の多様さを知り、響きの変化を感じとっている。	曲の持つ雰囲気や曲想を感じとり、親しもうとしている。	雰囲気や曲想を感じ、それを感想文に表すことができる。
総 時 数		45	評価方法 ・ 評価場面	授業への取り組み ◎ リコーダー実技試験 ◎ 定期試験 ◎ 音楽のハーモニー ◎ 自己評価 ◎	授業への取り組み ◎ リコーダー実技試験 ◎ 定期試験 ◎ 音楽のハーモニー ◎	授業への取り組み ◎ リコーダー実技試験 ◎ 定期試験 ◎ 音楽のハーモニー ◎	授業への取り組み ◎ ワークシート ◎ 各曲の鑑賞の感想文 ◎ 定期試験 ◎ 音楽のハーモニー ◎
前 期 ・ 後 期 取 り 組 み に お け る 評 価 の 集 計							
年 度 末 の 評 価			評価方法 ・ 評価場面	授業への取り組み ◎ 歌唱・リコーダー実技試験 ◎ 定期試験 ◎ 音楽のハーモニー ◎ 学習カード ◎	授業への取り組み ◎ 歌唱・リコーダー実技試験 ◎ 音楽のハーモニー ◎ 定期試験 ◎	授業への取り組み ◎ 歌唱・リコーダー実技試験 ◎ 音楽のハーモニー ◎ 定期試験 ◎	授業への取り組み ◎ ワークシート ◎ 各曲の鑑賞の感想文 ◎ 音楽のハーモニー ◎ 定期試験 ◎

指導目標		表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、豊かな情操を養う。					
月	学習の主題 (教材)	時 数	指導目標	観点別評価基準			
				音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
4月	声部のかかわりや楽器の音色を理解して聴こう。(小フーガト短調)	3	声部のかかわりに関心を持たせ、豊かな響きを味わう。	響きや構造に関心をもって鑑賞している。	主題が繰り返される曲の構成や音色を感じとっている。	構造を知り、音色とのかかわりを理解している。	作曲家、背景となる文化や歴史を理解し聴いている。
5月	音色を工夫してアルトリコーダーで表現しよう。(虹の彼方に)	3	曲にふさわしい音色や奏法を工夫して表現する。	曲想を工夫して表現しようとしている。	美しい音色を工夫し、自分なりの表現をしている。	楽器の音の特性を生かして演奏している。	音と音や伴奏との関わりを味わおうとしている。
6月	詩のイメージを感じ取って歌う。(夏の日の贈り物)(夏の思い出)	3	声部の役割を生かした表現を工夫する。	歌詞の内容に関心を持ち、意欲的に表現している。	声部の役割を生かし、表現を工夫している。	基礎的な歌唱表現の技能を身につけている。	多様な発声のしかたを理解している。
7月	曲の特徴をとらえて表現しよう。(サンタルチア)	3	言葉と旋律のかかわりを感じとり、表現を工夫する。	言葉とのかかわりに関心をもち表現しようとしている。	音の高低を感じとって表現を工夫している。	いろいろな用語や諸記号を理解し、技能を身につけている。	諸記号を理解し、表現とのかかわりを聴きとっている。
8月	日本の伝統芸能を味わおう。(長唄「勸進帳」)(歌舞伎)	3	時代の背景や長唄の特徴、歌舞伎について理解し、我が国の伝統芸能に親しむ。	長唄の声の出し方、使われる楽器について、意欲的に理解しようとしている。	長唄の表現や歌舞伎の特徴をとらえ、多様な音楽の表現方法を感じとっている。	声の出し方や楽器の奏法を知り、自己の歌唱表現につなげようとしている。	楽曲の背景や登場人物の心情を理解しながら聴きとっている。
9月	生き生きと表現しよう。(合唱コンクール曲)	4	曲の仕組みや諸記号の効果を生かし、曲の雰囲気をとらえて表情豊かに合唱する。	合唱による表現に関心を持ち、意欲的に練習に取り組んでいる。	曲想や、転調による曲の雰囲気の変化を感じ、その効果を生かした表現を工夫している。	多様な用語や諸記号を理解し、基礎的な表現の技能を身につけている。	曲想に応じた発声や発音があることを理解し、曲の持つ良さや特徴に気づいている。
評価方法・評価場面				授業への取り組み ◎ リコーダー実技試験 ◎ 定期試験 ◎ 音楽のハーモニー ◎ 学習カード ◎	授業への取り組み ◎ リコーダー実技試験 ◎ 音楽のハーモニー ◎ 定期試験 ◎	授業への取り組み ◎ リコーダー実技試験 ◎ 音楽のハーモニー ◎ 定期試験 ◎	授業への取り組み ◎ ワークシート ◎ 各曲の鑑賞の感想文 ◎ 音楽のハーモニー ◎ 定期試験 ◎
前期取り組みにおける評価の集計							
前期の評価							

10 11	曲の特徴をとらえて聴こう。 (交響曲第5番ハ短調) (「アイーダ」より)	3	曲の特徴や作曲者の意図にふれ、オーケストラやオペラの多彩な響きや表現を味わう。	曲の持つイメージと音楽を関連させながら、オーケストラやオペラによる表現のしかたについて意欲的に聴いている。	拍子や速度、調などの違いによる音楽の特徴や楽器の組み合わせによる響きの違いを感じとっている。	響きをとらえるとともに曲の持つ雰囲気や曲想を聞き取り、音楽に親しもうとしている。	曲全体の構成をオーケストラやオペラの表現も含む音楽的な特徴とともに聞きとっている。
12 1	表情豊かに表現しよう。 (メッセージ)	3	曲の山場や諸記号を生かした表現を工夫する。	曲の特徴やしぐみに関心を持ち、合唱表現に意欲的に取り組んでいる。	歌詞の内容や強弱の設定から曲の山場を感じとり、諸記号の効果を考えて表現を工夫することができる。	楽譜から諸記号を読み取り、和音の構成や強弱を意識して表現することができる。	声部の役割を理解して聴くことができる。
2 月	日本の伝統音楽の魅力味わおう。 (荒城の月) (夏は来ぬ) (ふるさと)	4	日本各地の民謡や芸能の特徴を感じとらせ、祭りやくらしとのかわりを意識しながら鑑賞する。	地域の民謡や芸能に興味を持ち、表現の特徴を意欲的に聴いている。	楽器の組み合わせや演奏による表現の多様さを感じとっている。	曲の持つ雰囲気や曲想を感じとり、音楽に親しもうとしている。	文化や歴史、くらしとのかわりを理解しながら日本の民謡や芸能を聞きとっている。
	世界の諸民族の音楽の魅力味わって聴こう。 (世界の諸民族の音楽)	2	世界の諸民族の音楽の特徴を感じとらせ、生活や文化とのかわりを意識しながら鑑賞する。	表現やその背景となる文化に興味を持ち、特徴を比較しながら意欲的に聴いている。	声の出し方、楽器の響きや奏法、リズムなどの特徴を感じとり、音楽の諸要素を適切にとらえている。	曲の持つ雰囲気や曲想を感じとり、音楽に親しもうとしている。	各地域の音楽と文化のつながりを意識してその特徴を聞きとっている。
3 月	音色を工夫してアルトリコーダーで表現しよう。 (きらきら星)	4	曲にふさわしい音色や奏法を工夫して表現する。	曲想を工夫して表現しようとしている。	美しい音色を工夫し、自分なりの表現をしている。	楽器の音の特性を生かして演奏している。	音と音や伴奏との関わりを味わおうとしている。
総 時 数		35	評価方法 ・ 評価場面	授業への取り組み ◎ 歌唱実技試験 ◎ 定期試験 ◎ 自己評価 ◎ 音楽のハーモニー ◎	授業への取り組み ◎ 歌唱実技試験 ◎ 定期試験 ◎ 音楽のハーモニー ◎	授業への取り組み ◎ 歌唱実技試験 ◎ 定期試験 ◎ 音楽のハーモニー ◎	授業への取り組み ◎ ワークシート ◎ 各曲の鑑賞の感想文 ◎ 定期試験 ◎ 音楽のハーモニー ◎
前 期 ・ 後 期 取 り 組 み に お け る 評 価 の 集 計							
年 度 末 の 評 価			評価方法 ・ 評価場面	授業への取り組み ◎ 歌唱・リコーダー実技試験 ◎ 定期試験 ◎ 音楽のハーモニー ◎ 学習カード ◎	授業への取り組み ◎ 歌唱・リコーダー実技試験 ◎ 音楽のハーモニー ◎ 定期試験 ◎	授業への取り組み ◎ 歌唱・リコーダー実技試験 ◎ 音楽のハーモニー ◎ 定期試験 ◎	授業への取り組み ◎ ワークシート ◎ 各曲の鑑賞の感想文 ◎ 音楽のハーモニー ◎ 定期試験 ◎

指導目標		表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。					
月	学習の主題 (教材)	時数	指導目標	観点別評価基準			
				音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
4月	曲の特徴をとらえて表現しよう。 (風の中の青春) (花) (花の街) (帰れソレントへ)	5	曲想に応じた発声や発音をし、美しい言葉や音色で表現を工夫する。 それぞれの曲の作曲者や、曲にまつわるエピソードを学ぶ。	それぞれの楽曲のもつ豊かさや美しさを感じとり、歌唱を楽しもうとしている。	楽曲の内容を深くイメージし、曲想に応じた表現を工夫している。	発声、発音のしかたを理解し、曲想を工夫して歌唱している	諸記号や曲想から楽曲のもつイメージを引き出し、ハーモニーや伴奏との関わりを感じとる。
5月	音色を工夫して、アルトリコーダーで表現しよう。 (基礎練習) (「威風堂々」)	4	楽器の特徴を生かし、それぞれの曲にふさわしい音色や奏法を工夫して表現する。	楽器の良さを引き出し、曲想を工夫して表現しようとしている。	楽器の本来の持ち味を的確にとらえて音色などの表現を工夫している。	楽器の音の特性を知り、適切な音のイメージを持って表現している。	音と音や伴奏との関わりを味わおうとしている。
6月							
7月	曲の特徴をとらえて聴こう。 (「ブルタバ」から)	4	楽曲の特徴をとらえ、構成や楽器の音色に気をつけて鑑賞する。	楽曲の持つ雰囲気や曲想を感じとり、音楽に親しもうとしている。	音楽の諸要素を感じ取りながら、楽器の組み合わせによる響きの変化を感じ取っている。	個々の楽器の音色や組み合わせによる響きを感じ取っている。	楽曲の持つ雰囲気や曲想を感じ取り、それを感想文等に表すことができる。
	日本の伝統芸能を味わおう (「越天楽」) (能「羽衣」から)	4	楽曲の作られた時代の背景や作曲者の心情、楽曲の構成について理解し、総合芸術の醍醐味を味わう。	いろいろな総合芸術のしくみを理解し、様々な分野の芸術活動について、それぞれの良さを感じとろうとしている。	多様な音楽の表現方法を感じとり、楽曲の内容をより深くイメージしている。	音楽の諸要素の働きを知り、いろいろな音楽に触れることの楽しさを体験しようとしている。	楽曲の背景や登場人物の心情を理解しながら聴きとっている。
(夏季休業中)			(自由課題への取り組みとその内容)				
9月	曲の特徴をとらえて表現しよう。 (学級の合唱曲)	4	曲想を感じとって表現を工夫する。	仲間と協力して合唱を作りあげようと意欲的に活動している。	曲想に合った表現を考え、発声や発音、強弱などを工夫している。	合唱における適切な歌唱表現の技能を持っている。	仲間の歌声や他クラスの合唱を聴いて自己の表現への参考にする。
評価方法・評価場面			授業への取り組み ◎ 歌唱実技試験 ◎ 定期試験 ◎ 音楽のハーモニー ◎ 学習カード ◎	授業への取り組み ◎ 歌唱実技試験 ◎ 音楽のハーモニー ◎ 定期試験 ◎	授業への取り組み ◎ 歌唱実技試験 ◎ 音楽のハーモニー ◎ 定期試験 ◎	授業への取り組み ◎ ワークシート ◎ 各曲の鑑賞の感想文 ◎ 音楽のハーモニー ◎ 定期試験 ◎	
前期取り組みにおける評価の集計				全体まとめの提示			
前期の評価							

10月 11月	音色を工夫して、アルトリコーダーで表現しよう。 （「ふるさと」「木かげの思い出」他）	3	楽器の特徴を生かし、美しい音色や正しい奏法を身につけて表現する。楽器の構え方、発声や発音のしかたを理解する。	楽器の良さを引き出し、自分なりに工夫して表現しようとしている。	楽器本来の持ち味を的確にとらえ、美しい音色を工夫しながら表現している。	楽器の音の特性を知り、適切な音のイメージを持って表現している。	楽器本来の音色や美しい響きを聴きとることができる。
12月	世界の諸民族の音楽の魅力を味わって聴こう。 （「メヘテルハーネ」他）	3	世界の諸民族の音楽の特徴を感じとらせ、生活や文化とのかかわりを意識しながら鑑賞する。	表現やその背景となる文化に興味をもち、特徴を比較しながら意欲的に聴いている。	声の出し方、楽器の響きや奏法、リズムなどの特徴を感じとり、音楽の諸要素を適切にとらえている。	曲の持つ雰囲気や曲想を感じとり、音楽に親しもうとしている。	各地域の音楽と文化のつながりを意識してその特徴を聴きとっている。
1月	曲の特徴をとらえて表現しよう。 （きみとともに） （早春賦）	4	曲想に応じた発声や発音を、美しい言葉や音色で表現を工夫する。 それぞれの曲の作曲者や、曲にまつわるエピソードを学ぶ。	それぞれの楽曲のもつ豊かさや美しさを感じとり、歌唱を楽しもうとしている。	楽曲の内容を深くイメージし、曲想に応じた表現を工夫している。	発声、発音のしかたを理解し、曲想を工夫して歌唱している	諸記号や曲想から楽曲のもつイメージを引き出し、ハーモニーや伴奏との関わりを感じとる。
2・3月	曲の特徴をとらえて表現しよう。 （卒業式 式歌）	4	速度や強弱等の働きによる曲想の変化を理解して合唱表現を工夫する。	歌詞に思いをこめて自分なりに表現しようとしている。	曲想を生かし、思いを発声・発音、強弱などで具体的にどう表現につなげるか考えている。	合唱における適切な歌唱表現の技能をもっている。	仲間の歌声を聴いて自己の表現への参考にする。
総 時 数		35	評価方法 ・ 評価場面	授業への取り組み ◎ リコーダー実技試験 ◎ 定期試験 ◎ 音楽のハーモニー ◎ 自己評価 ◎	授業への取り組み ◎ リコーダー実技試験 ◎ 定期試験 ◎ 音楽のハーモニー ◎	授業への取り組み ◎ リコーダー実技試験 ◎ 定期試験 ◎ 音楽のハーモニー ◎	授業への取り組み ◎ ワークシート ◎ 各曲の鑑賞の感想文 ◎ 定期試験 ◎ 音楽のハーモニー ◎
前 期 ・ 後 期 取 り 組 み に お け る 評 価 の 集 計 全 体 ま と め の 提 示							
年 度 末 の 評 価		評価方法 ・ 評価場面	授業への取り組み ◎ 歌唱・リコーダー実技試験 ◎ 定期試験 ◎ 音楽のハーモニー ◎ 学習カード ◎	授業への取り組み ◎ 歌唱・リコーダー実技試験 ◎ 音楽のハーモニー ◎ 定期試験 ◎	授業への取り組み ◎ 歌唱・リコーダー実技試験 ◎ 音楽のハーモニー ◎ 定期試験 ◎	授業への取り組み ◎ ワークシート ◎ 各曲の鑑賞の感想文 ◎ 音楽のハーモニー ◎ 定期試験 ◎	

令和元年度 第1学年 美術 年間指導計画・評価基準 指導時間45時間

学期	月	時数(45)	指導項目(単元)	指導目標	観点別評価基準				
					関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力	評価材料・方法
前期	4.5,6,7	15	A表現(2) 【文字絵】 ①色の学習 ②レタリングの学習 ③制作 ④鑑賞会	●デザインの用具の使用法について学び、理解を深める。 ●色彩に興味をもたせ、その性質を知ることにより色彩への認識力分析力を高める。 ●色彩に関する感性を高め、表現方法の幅を広げる力を養う。	生活の中にある様々なデザインに関心を持ち、表現意図に合わせて美しく作る技能を身につけるとともに、意欲的に制作することができる。	完成までの見通しをもって制作することができる。 文字のイメージにあった効果や配色を考えることができる。	レタリングの方法を理解し、丁寧に制作することができる。 配色の効果を理解し、美しい配色や表現したいイメージを意図的に作り出すことができる。	作品のよさや美しさを味わい、美術作品への見方を広げることができる。	①授業への取り組み ②自己評価 (制作カードの記入、鑑賞プリントの記入など) ③作品 ④中間期末試験
	8,9	2	A表現(1) 【見て感じて描く】 ①スケッチとデッサン	●身近なものの中にある形の美しさや特徴を生かして表現することができる。 ●スケッチを通して、美術に親しみ、表現を楽しむ心情を育てる。 ●デッサンを通して、ものの形のとらえ方や観察力、表現力など、美術の基礎的な力を高める。	身近なものを観察し、特徴をとらえて描くことに興味を持つことができる。	身近なものを観察し、どのような特徴を表したいかを明確にして、表現の構想を練ることができる。	表現の意図に応じて形や明暗を工夫して表現することができる。	身近なものの特徴を、どのように工夫して表現しているのかを感じ取ることができる。	
	9,10	10	A表現(1) 【身近なものを立体で表そう】 ①アイデアスケッチ ②制作 ③鑑賞会	●粘土や立体作品の性質について学び、理解を深める。 ●身近なものの中にある美しさやよさを感じ取り、意欲的に制作することができる。	表現したい対象がもつ造形的な美しさやよさを感じ取り、意欲的に制作することができる。	完成までの見通しをもって制作することができる。 主題をもとに、全体と部分などの関係を考えて創造的に作品を構成することができる。	意図に応じて材料や用具の生かし方を考え、創意工夫して表現することができる。	作品のよさや美しさを味わい、美術作品への見方を広げることができる。	
後期	11,12	10	A表現(2) 【スクラッチで表そう】 ①線で表す(デッサン) ②アイデアスケッチ ③下書き ④制作 ⑤鑑賞会	●スクラッチ作品の性質や使用道具について学び、理解を深める。 ●デッサンの技法(クロスハッチングなど)を生かして、細かい線で表現する面白さや美しさを味わう。	表現したい対象がもつ造形的な美しさやよさを感じ取り、意欲的に制作することができる。	主題を表すために構成・構図や配色を工夫することができる。 完成までの見通しをもって制作することができる。	光と影のバランスを考えながら、細やかに美しい作品を仕上げることができる。	作品のよさや美しさを味わい、美術作品への見方を広げることができる。	
	1,2,3	8	A表現(1) 【わたしの手】 ①マインドマップ作り ②アイデアスケッチ ③制作 ④鑑賞会	●手から発想を広げ、自身の主題を生み出し、心豊かに表現する能力を育てる。	表現したい対象がもつ造形的な美しさやよさを感じ取り、意欲的に制作することができる。	主題を表すために構成・構図や配色を工夫することができる。 完成までの見通しをもって制作することができる。	意図に応じて材料や用具の生かし方を考え、創意工夫して表現することができる。	作品のよさや美しさを味わい、美術作品への見方を広げることができる。	

令和元年度 第2学年 美術 年間指導計画・評価基準 指導時間35時間

学期	月	時数(35)	指導項目(単元)	指導目標	観点別評価基準				
					関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力	評価材料・方法
前期	4,5,6	8	A表現(2) 【ピクトグラム制作】 ①ピクトグラムの鑑賞 ②アイデアを練る ③制作 ④鑑賞会	●デザインの用具の用法について学び、理解を深める。 ●伝えたい内容を多くの人々に伝えるために、形や色彩などの効果を生かして表現する力を育てる。 ●色彩に関する感性を高め、表現方法の幅を広げる力を養う。	表現意図に合わせて美しく作る技能を身につけるとともに、意欲的に制作することができる。 ピクトグラムなどの伝達のデザインに関心を持つことができる。	完成までの見通しをもって制作することができる。 形や色彩などの効果を生かして、伝えたい内容を多くの人に伝えることを意識して構想することができる。	伝わりやすさを考え、形や色の特徴を生かし効果的な表現方法を工夫することができる。 表現したいイメージや配色を意図的に作り出すことができる。	作品の洗練されたデザインの美しさを味わい、お互いの作品のよさを感じ取ることができる。	①授業への取り組み ②自己評価 (制作カードの記入、鑑賞プリントの記入など) ③作品 ④中間期末試験
	6,7,8,9	10	A表現(1) 【石彫 抽象表現】 ①抽象彫刻の鑑賞 ②アイデアスケッチ ③制作	●立体作品の制作について関心を持ち、理解を深める。 ●石の特性を理解し、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表現することができる力を育てる。	表現したい対象がもつ造形的な美しさやよさを感じ取り、意欲的に制作することができる。	完成までの見通しをもって制作することができる。 自身の考えを具体化し、造形的な美しさを考え、構想を練ることができる。	石の特徴を生かして、イメージを工夫して立体的に表現することができる。	作品のよさや美しさを味わい、美術作品への見方を広げることができる。	
後期	10,11	5	(前期の続き) A表現(1) 【石彫】 ③制作 ④鑑賞会	●立体作品の制作について関心を持ち、理解を深める。 ●石の特性を理解し、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表現することができる力を育てる。	表現したい対象がもつ造形的な美しさやよさを感じ取り、意欲的に制作することができる。	完成までの見通しをもって制作することができる。 自身の考えを具体化し、造形的な美しさを考え、構想を練ることができる。	石の特徴を生かして、イメージを工夫して立体的に表現することができる。	作品のよさや美しさを味わい、美術作品への見方を広げることができる。	
	11,12,1,2	10	A表現(1) 【墨が表す世界】 ①水墨画鑑賞 ②技法を学ぶ ③アイデアスケッチ ④制作 ⑤鑑賞会	●水墨画の作品やその歴史に触れ、関心を深める。 ●水墨画がもつ特性や使用道具について学び、理解を深め、豊かに表現する力を育てる。 ●与えられたテーマをもとに、見通しを持って計画的に制作を進められる力を育てる。	水墨画の造形的な美しさに関心を持ち、自身の制作に生かすことができる。	墨の効果を生かした表現方法から発想を広げ、表したい内容について構想を深めることができる。 完成までの見通しをもって制作することができる。	学んだ水墨画の技法を生かし、水や筆、用紙の特徴を生かした表現を工夫することができる。	作品のよさや美しさを味わい、美術作品への見方を広げることができる。	
	3	2	B鑑賞 【浮世絵とヨーロッパの美術】	●江戸時代の日本の美術が西洋の美術に与えた影響について考え、それぞれのよさを味わい、美術文化の理解を深める。	作品に興味をもち、時代背景や作品がつけられた経緯などへの理解を深めることができる。			日本と諸外国の美術や文化の共通性や相違に気づき、それぞれのよさや美しさを味わうことができる。	

令和元年度 第3学年 美術 年間指導計画・評価基準 指導時間35時間

学期	月	時数(35)	指導項目(単元)	指導目標	観点別評価基準				
					関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力	評価材料・方法
前期	4	2	オリエンテーション B鑑賞 【京都・奈良の文化遺産】	●日本の歴史や文化を美術的な視点で鑑賞し、文化遺産についての理解を深める。	それぞれの時代の文化遺産に込められた当時の人々の願いや祈りの形を感じ取り、美術文化の継承と創造への関心を高めることができる。			日本の文化のよさや美しさを再発見し、美意識を高めて幅広く味わうことができる。	①授業への取り組み ②自己評価 (制作カードの記入、鑑賞プリントの記入など) ③作品 ④中間期末試験
	4,5,6,7,8	12	A表現(2) 【木彫ウェルカムボード制作】 ①伝統工芸品鑑賞 ②木彫の技法について ③制作 ④鑑賞会	●工芸品の制作について関心を持ち、理解を深める。 ●木の特性を理解し、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって表現することができる力を伸ばす。	神奈川の伝統工芸品について学び、工芸品制作に意欲的に取り組むことができる。	完成までの見通しをもって制作することができる。 使用する者の気持ちや機能、造形的な美しさなどを総合的に考え、構想を練ることができる。	木彫の技法を生かし、美しい作品を意図的に作り出すことができる。	伝統工芸品のよさや美しさに気づき、受け継がれている技や歴史を理解することができる。 互いの作品のよさや美しさを感じ取り、相互理解を深めることができる。	
	9	3	A表現(1) 【私との対話】 ①水彩画の技法学習 ②アイデアを練る ③制作	●水彩画の用具や技法について学び、理解を深める。 ●自身を深く見つめなおし、考えたことや感情など心の世界をもとに作品を作り出す能力を伸ばす。	さまざまな表現方法を工夫して、自分を表すことに意欲をもって取り組む。	自分の姿を見つめ考えたことをもとに、表現の構想を練ることができる。 完成までの見通しをもって制作することができる。	水彩画の特長を生かし、心豊かに表現することができる。 表現したい自身のイメージを意図的に作り出すことができる。	作品に託した思いや意図、表現の工夫に気づき、作品のよさや美しさを味わうことができる。	
後期	10,11,12	12	(前期の続き) A表現(1) 【私との対話】 ③制作 ④鑑賞会	●水彩画の用具や技法について学び、理解を深める。 ●自身を深く見つめなおし、考えたことや感情など心の世界をもとに作品を作り出す能力を伸ばす。	さまざまな表現方法を工夫して、自分を表すことに意欲をもって取り組む。	自分の姿を見つめ考えたことをもとに、表現の構想を練ることができる。 完成までの見通しをもって制作することができる。	水彩画の特長を生かし、心豊かに表現することができる。 表現したい自身のイメージを意図的に作り出すことができる。	作品に託した思いや意図、表現の工夫に気づき、作品のよさや美しさを味わうことができる。	
	1,2,3	6	A表現(2) 【カードで気持ちを表そう】 ①アイデアを練る ②制作 ③鑑賞会	●紙の特性を生かして、豊かに表現する力を伸ばす。 ●身近な人にメッセージを伝えるデザインに関心を持ち、相手の気持ちを考へて制作する心の豊かさを育てる。	紙の造形的な美しさやよさを感じ取り、自身の制作に生かすことができる。	完成までの見通しをもって制作することができる。 カードを贈る相手の気持ちや造形的な美しさなどを総合的に考え、構想を練ることができる。	紙や用具の特性を生かし、気持ちを伝えるための方法や仕組みを工夫することができる。	互いの作品の造形的なよさや美しさを味わい、作り手の思いや意図を感じ取ることができる。	

令和元年度 年間学習計画と評価 保健体育科 第 1 学年 (男子) (B . . . B 基準)

指導目標		運動や健康・安全についての理解と運動実践を通して積極的に運動に親しむ学びを大切にします。お互いを認め、高め合う活動を大切にし、明るく豊かな生活を営む態度を育てます。					
月	単元	時数	指導目標	観点別評価基準			
				関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識・理解
4	体づくり運動 体力を高める運動	7	身体を動かす楽しさや心地よさを味わい、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができるようにする。	B 各運動の特性に関心を持ち、楽しさが味わえるようにする。	B 自分の体力の状況を知り、向上のための解決方法を見つけようとする。	B 体ほぐしや体力を高めるための基本技能(動き)ができる。	B 体力を向上させるための運動の方法や体力の特徴を理解している。
	5 ハンドボール	9	パス、シュート等の基本動作を身につけ、やさしいルールでゲームができるようにする。	B ハンドボールの特性に関心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分の能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B パス、シュート等の基本技能ができる。	B ハンドボールの歴史、特性、運動の方法や練習の仕方を理解している。
6	バレーボール	9	パス、サーブ等の基本動作を身につけ、やさしいルールでゲームができるようにする。	B バレーボールの特性に関心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分の能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B パス、サーブ等の基本技能ができる。	B バレーボールの歴史、特性、運動の方法や練習の仕方を理解している。
7 8 9	水泳	9	クロール、平泳ぎの基本技能を身につけ、健康・安全に留意して活動することができるようにする。	B 水泳の特性に関心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分の能力に敵した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B クロール、平泳ぎ、背泳ぎの中から2種目、一連の動作で泳ぐことができる。	B 水泳の特性、運動の方法、練習の仕方や安全について理解している。
	保健・体育理論	6 ・ 2	(保健) 個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯に通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。 (体育理論) 運動やスポーツが多様であることについて理解できるようにする。	B (保健) 生涯にわたって自らの健康を管理しようとする。 (体育理論) 運動やスポーツの必要性や学び方、かわり方について言語活動を通して取り組もうとしている。	B (保健) 現在および将来の生活において健康・安全の課題に直面した場合に的確な判断をしようとする。 (体育理論) 運動やスポーツの必要性や学び方、かわり方について意見や情報を分析したり、整理しようとする。		B (保健) 健康・安全の課題に直面した場合に的確な思考・判断を行うことができるような知識を身につけようとする。 (体育理論) 運動やスポーツの多様性について理解している。
前期取り組みにおける評価の集計 まとめの掲示							

	<p>評価方法・評価場面</p>	<p>◎授業への取り組み ○学習カード ○単元のまとめ ○夏休みの必修課題（自由課題） ・授業に参加し、説明をしっかりと聞いて進んで運動に取り組んでいる。 ・授業の約束を守り、安全に協力して活動できる。 ・提出物を出している。</p>	<p>◎授業への取り組み ○学習カード ○単元のまとめ ○定期テスト ○夏休みの必修課題（自由課題） ・自分のチームにあった適切な課題を設定することができる。 ・課題を解決するために練習を工夫している。</p>	<p>◎授業への取り組み ◎技能テスト ○夏休みの必修課題 ・日ごろの活動や技能テストで技能の基本を正確に行うことができる。</p>	<p>○授業への取り組み ◎学習カード ○単元のまとめ ◎定期テスト ・運動の特性や運動の方法、ルール等を理解している。 ・学習カードや資料を活用できる。 ・基本的な知識を使って正しく説明できる。</p>
<p>前期の評価</p>					

9	陸上	9	短距離走、ハート'ル、高跳び、幅跳びの基本技能を身につけ、健康・安全に留意して練習できるようにする。	B 陸上競技の特性に関心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分の能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B 短距離、ハードル、幅跳び、高跳びの基本技能を身につけ、運動することができる。	B 陸上競技の歴史、特性、運動の方法や練習の仕方を理解している。
10	器械運動	9	マット・跳び箱運動の基本技能を身につけ、安全に活動することができるようにする。	B 器械運動の特性に関心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分の能力に適した課題を発見し、設定することができる、解決方法を見つけようとする。	B マット:回転系の基本技能ができる。跳び箱:開脚、抱え込み跳びの基本技能ができる。	B 器械運動の歴史、特性、運動の方法や練習の仕方を理解している。
11	柔道	9	礼法、姿勢、組み方、体さばき、くずし、受け身等 基本動作を身につけることができるようにする。	B 柔道の特性に関心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分の能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B 礼法、姿勢、組み方、体さばき、くずし、受け身等の基本技能ができ、固め技・投げ技の基本を身につけることができる。	B 柔道の歴史、特性、運動の方法や練習の仕方を理解している。
12	ソフトボール (持久走)	6	投げる、捕る、打つ等の基本を身につけ、やさしいルールでゲームができるようにする。	B ソフトボールの特性に関心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分のチームの能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B スローイング、キャッチング、バッティング等の基本技能ができる。	B ソフトボール(野球)の歴史、特性、運動の方法、やさしいルールを理解している。
1	サッカー	9	キック、ドリブル、トラップ、シュート等の基本技能を身につけ、やさしいルールでゲームができるようにする。	B サッカーの特性に関心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分の能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B キック、ドリブル、トラップ、シュート等の基本技能ができる。	B サッカーの歴史、特性、運動の方法、やさしいルールを理解している。
2	バスケットボール	9	パス、ドリブル、シュート、ターン等の基本技能を身につけ、やさしいルールでゲームができるようにする。	B バスケットボールの特性に関心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分のチームの能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B パス、トリプル、シュート、ターン等の基本技能ができる。	B バスケットボールの歴史、特性、運動の方法、やさしいルールを理解している。
	ダンス	5	リズムにのり、感じをこめて踊ったり、みんなで楽しく踊ったりできるようにする。	B ダンスの特性に関心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分の能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B リズムをとらえ、動き作りができる。	B ダンスの歴史、特性、運動の方法や練習の仕方を理解している。

保健 ・ 体育理論	6 ・1	<p>(保健) 個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯に通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。</p> <p>(体育理論) 運動やスポーツが多様であることについて理解できるようにする。</p>	<p>B</p> <p>(保健) 生涯にわたって自らの健康を管理しようと取り組もうとする。</p> <p>(体育理論) 運動やスポーツの必要性や学び方、かかわり方について言語活動を通して取り組もうとしている。</p>	<p>B</p> <p>(保健) 現在および将来の生活において健康・安全の課題に直面した場合に的確な判断をしようとする。</p> <p>(体育理論) 運動やスポーツの必要性や学び方、かかわり方について意見や情報を分析したり、整理しようとする。</p>		<p>B</p> <p>(保健) 健康・安全の課題に直面した場合に的確な思考・判断を行うことができるような知識を身につけようとする。</p> <p>(体育理論) 運動やスポーツの多様性について理解している。</p>
後期取り組みにおける評価の集計 まとめの掲示						
評価方法・評価場面		<p>◎授業への取り組み</p> <p>○学習カード</p> <p>○単元のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に参加し、説明をしっかりと聞いて進んで運動に取り組んでいる。 ・授業の約束を守り、安全に協力して活動できる。 ・提出物を確実に出している。 	<p>◎授業への取り組み</p> <p>○学習カード</p> <p>○単元のまとめ</p> <p>○定期テスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のチームにあった適切な課題を設定することができる。 ・課題を解決するために練習を工夫している。 	<p>◎授業への取り組み</p> <p>◎技能テスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日ごろの活動や技能テストで技能の基本を正確に行うことができる。 	<p>◎授業への取り組み</p> <p>○学習カード</p> <p>○単元のまとめ</p> <p>◎定期テスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の特性や運動の方法、ルール等を理解している。 ・学習カードや資料を活用できる。 ・基本的な知識を使って正しく説明できる。 	
年度末の評価						

令和元年度 年間学習計画と評価 保健体育科 第1学年(女子) (B・・・B基準)

指導目標		運動や健康・安全についての理解と運動実践を通して積極的に運動に親しむ学びを大切にします。お互いを認め、高め合う活動を大切に、明るく豊かな生活を営む態度を育てます。					
月	単元	時	指導目標	観点別評価基準			
				関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識・理解
4	体づくり運動 体力を高める運動	7	身体を動かす楽しさや心地よさを味わい、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができるようにする。	B 各運動の特性に関心を持ち、楽しさが味わえるようにする。	B 自分の体力の状況を知り、向上のための解決方法を見つけようとする。	B 体ほぐしや体力を高めるための基本技能(動き)ができる。	B 体力を向上させるための運動の方法や体力の特徴を理解している。
5	バレーボール	9	パス、サーブ等の基本動作を身につけ、やさしいルールでゲームができるようにする。	B バレーボールの特性に関心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分の能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B パス、サーブ等の基本技能ができる。	B バレーボールの歴史、特性、運動の方法や練習の仕方を理解している。
6	ハンドボール	9	パス、シュート等の基本動作を身につけ、やさしいルールでゲームができるようにする。	B ハンドボールの特性に関心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分の能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B パス、シュート等の基本技能ができる。	B ハンドボールの歴史、特性、運動の方法や練習の仕方を理解している。
7 8 9	水泳	9	クロール、平泳ぎの基本技能を身につけ、健康・安全に留意して活動することができるようにする。	B 水泳の特性に関心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分の能力に敵した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B クロール、平泳ぎ、背泳ぎの中から2種目、一連の動作で泳ぐことができる。	B 水泳の特性、運動の方法、練習の仕方や安全について理解している。
	保健 ・ 体育理論	6 ・ 2	(保健) 個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。 (体育理論) 運動やスポーツが多様であることについて理解できるようにする。	B (保健) 生涯にわたって自らの健康を管理しようとする。 (体育理論) 運動やスポーツの必要性や学び方、かかわり方について言語活動を通して取り組もうとしている。	B (保健) 現在および将来の生活において健康・安全の課題に直面した場合に的確な判断をしようとする。 (体育理論) 運動やスポーツの必要性や学び方、かかわり方について意見や情報を分析したり、整理しようとする。		B (保健) 健康・安全の課題に直面した場合に的確な思考・判断を行うことができるような知識を身につけようとする。 (体育理論) 運動やスポーツの多様性について理解している。

	前期取り組みにおける評価の集計 まとめの掲示			
評価方法・評価場面	<p>◎授業への取り組み ○学習カード ○単元のまとめ ○夏休みの必修課題 (自由課題) ・授業に参加し、説明をしっかりと聞いて進んで運動に取り組んでいる。 ・授業の約束を守り、安全に協力して活動できる。 ・提出物を確実にしている。</p>	<p>◎授業への取り組み ○学習カード ○単元のまとめ ○定期テスト ○夏休みの必修課題 (自由課題) ・自分のチームにあった適切な課題を設定することができる。 ・課題を解決するために練習を工夫している。</p>	<p>◎授業への取り組み ◎技能テスト ○夏休みの必修課題 ・日ごろの活動や技能テストで技能の基本を正確に行うことができる。</p>	<p>○授業への取り組み ◎学習カード ○単元のまとめ ◎定期テスト ・運動の特性や運動の方法、ルール等を理解している。 ・学習カードや資料を活用できる。 ・基本的な知識を使って正しく説明できる。</p>
前期の評価				

9	器械運動	9	マット・跳び箱運動の基本技能を身につけ、安全に活動することができるようにする。	B 器械運動の特性に関心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分の能力に適した課題を発見し、設定することができる、解決方法を見つけようとする。	B マット:回転系の基本技能ができる。跳び箱:開脚、抱え込み跳びの基本技能ができる。	B 器械運動の歴史、特性、運動の方法や練習の仕方を理解している。
	陸上	9	短距離走、ハードル、高跳び、幅跳びの基本技能を身につけ、健康・安全に留意して練習できるようにする。	B 陸上競技の特性に関心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分の能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B 短距離、ハードル、幅跳び、高跳びの基本技能を身につけ、運動することができる。	B 陸上競技の歴史、特性、運動の方法や練習の仕方を理解している。
10							
11	サッカー(持久走)	9	キック、ドリブル、トラップ、シュート等の基本技能を身につけ、やさしいルールでゲームができるようにする。	B サッカーの特性に関心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分の能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B キック、ドリブル、トラップ、シュート等の基本技能ができる。	B サッカーの歴史、特性、運動の方法、やさしいルールを理解している。
12	柔道	9	礼法、姿勢、組み方、体さばき、くずし、受け身等 基本動作を身につけることができるようにする。	B 柔道の特性に関心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分の能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B 礼法、姿勢、組み方、体さばき、くずし、受け身等の基本技能ができ、固め技・投げ技の基本を身につけることができる。	B 柔道の歴史、特性、運動の方法や練習の仕方を理解している。
1							
2	バスケットボール	9	パス、ドリブル、シュート、ターン等の基本技能を身につけ、やさしいルールでゲームができるようにする。	B バスケットボールの特性に関心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分のチームの能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B パス、ドリブル、シュート、ターン等の基本技能ができる。	B バスケットボールの歴史、特性、運動の方法、やさしいルールを理解している。
3							
	ソフトボール(Tボール)	6	投げる、捕る、打つ等の基本を身につけ、やさしいルールでゲームができるようにする。	B ソフトボールの特性に関心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分のチームの能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B スローイング、キャッチング、バッティング等の基本技能ができる。	B ソフトボール(野球)の歴史、特性、運動の方法、やさしいルールを理解している。
	ダンス	5	リズムにのり、感じをこめて踊ったり、みんなで楽しく踊ったりできるようにする。	B ダンスの特性に関心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分の能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B リズムをとらえ、動き作りができる。	B ダンスの歴史、特性、運動の方法や練習の仕方を理解している。

	保健 ・ 体育理論	6 ・ 1	<p>(保健) 個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯に通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。</p> <p>(体育理論) 運動やスポーツが多様であることについて理解できるようにする。</p>	<p>B (保健) 生涯にわたって自らの健康を管理しようとする。</p> <p>(体育理論) 運動やスポーツの必要性や学び方、かかわり方について言語活動を通して取り組もうとしている。</p>	<p>B (保健) 現在および将来の生活において健康・安全の課題に直面した場合に的確な判断をしようとする。</p> <p>(体育理論) 運動やスポーツの必要性や学び方、かかわり方について意見や情報を分析したり、整理しようとする。</p>		<p>B (保健) 健康・安全の課題に直面した場合に的確な思考・判断を行うことができるような知識を身につけようとする。</p> <p>(体育理論) 運動やスポーツの多様性について理解している。</p>
後期取り組みにおける評価の集計							
	評価方法・評価場面	<p>◎授業への取り組み ○学習カード ○単元のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に参加し、説明をしっかりと聞いて進んで運動に取り組んでいる。 ・授業の約束を守り、安全に協力して活動できる。 ・提出物を確実に出している。 	<p>◎授業への取り組み ○学習カード ○単元のまとめ ○定期テスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のチームにあった適切な課題を設定することができる。 ・課題を解決するために練習を工夫している。 	<p>◎授業への取り組み ◎技能テスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日ごろの活動や技能テストで技能の基本を正確に行うことができる。 	<p>◎授業への取り組み ◎学習カード ○単元のまとめ ◎定期テスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の特性や運動の方法、ルール等を理解している。 ・学習カードや資料を活用できる。 ・基本的な知識を使って正しく説明できる。 		
年度末の評価							

令和元年度 年間学習計画と評価 保健体育科 第 2 学年 (男子) (B・・・B基準)

指導目標		運動や健康・安全についての理解と運動実践を通して積極的に運動に親しむ学びを大切にします。お互いを認め、高め合う活動を大切にし、明るく豊かな生活を営む態度を育てます。					
月	単元	時数	指導目標	観点別評価基準			
				関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識・理解
4 5	体づくり運動 体力を高める運動	7	身体を動かす楽しさや心地よさを味わい、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができるようにする。	B 各運動の特性や関心を持ち、楽しさが味わえるようにする。	B 自分の体力の状況を知り、向上のための解決方法を見つけようとする。	B 体ほぐしや体力を高めるための基本技能(動き)ができる。	B 体力を向上させるための運動の方法や体力の特徴を理解している。
	ハンドボール	8	集団での攻撃や防御の技能を身につけ、協力してゲームを楽しむことができるようにする。	B ハンドボールの特性に感心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分の能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B 基本技能がゲームの中ででき、チームとしての連携をはかったプレーができる。	B ハンドボールの歴史、特性、運動の方法、ルールを理解している。
6 7	バレーボール	8	集団での攻撃や防御の技能を身につけ、協力してゲームを楽しむことができるようにする。	B バレーボールの特性に感心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分の能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B 基本技能がゲームの中ででき、チームとしての連携をはかったプレーができる。	B バレーボールの歴史、特性、運動の方法、ルールを理解している。
	水泳	8	クロール、平泳ぎの基本技能を身につけ、健康・安全に留意して活動することができるようにする。	B 水泳の特性に感心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分の能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B クロール、平泳ぎ、背泳ぎを一連の動作で泳ぐことができる。	B 水泳の特性、運動の方法、練習の仕方や安全について理解している。
8 9	保健 ・ 体育理論	8 ・ 1	(保健) 個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯に通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。 (体育理論) 運動やスポーツの意義や効果などについて理解できるようにする。	B (保健) 生涯にわたって自らの健康を管理しようとする意欲がもてるようにする。 (体育理論) 運動やスポーツが心身の発達に与える効果や、それらを安全に行う方法について自主的に取り組もうとする。	B (保健) 現在および将来の生活において健康・安全の課題に直面した場合に的確な判断をしようとする。 (体育理論) 運動やスポーツが心身の発達に与える効果や、それらを安全に行う方法について意見や情報を分析したり、整理しようとする。	B (保健) 健康・安全の課題に直面した場合に的確な思考・判断を行うことができるような知識を身につけようとする。 (体育理論) 運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全について理解している。	
前期取り組みにおける評価の集計 まとめの掲示							

	<p>評価方法・評価場面</p>	<p>◎授業への取り組み ○学習カード ○夏休みの必修課題(自由課題) ・授業に参加し、説明をしっかりと聞いて進んで運動に取り組んでいる。 ・授業の約束を守り、安全に協力して活動できる。 ・提出物を確実に出している。</p>	<p>◎授業への取り組み ○学習カード ○単元のまとめ ○定期テスト ○夏休みの必修課題(自由課題) ・自分のチームにあった適切な課題を設定することができる。 ・課題を解決するために練習を工夫している。</p>	<p>◎授業への取り組み ◎技能テスト ○夏休みの必修課題 ・日頃の活動やテストで技能の基本を正確に行うことができる。</p>	<p>○授業への取り組み ◎学習カード ○単元のまとめ ◎定期テスト ・運動の特性や運度の方法、ルール等を理解している。 ・学習カードや資料を活用できる。 ・基本的な知識を使って正しく説明できる。</p>
<p>前期の評価</p>					

9	陸上	9	短距離走、ハードル、高跳び、幅跳びの基本技能を身につけ、健康・安全に留意して練習ができるようにする。	B 陸上競技の特性に感心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分の能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B 短距離、ハードル、幅跳び、高跳びの基本技能を身につけ、運動することができる。	B 陸上競技の特性、運動の方法や練習の仕方を理解している。
10	器械運動	9	マット・跳び箱運動の基本技能を身につけ、安全に活動することができるようにする。	B 器械運動の特性に感心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分の能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B マット：回転系の基本技能ができ新しい技に挑戦できる。跳び箱：開脚、抱え込み跳びの基本技能ができ、回転系の技に挑戦できる。	B 器械運動の特性、新しい技の方法や練習の仕方を理解している。
11	柔道	9	柔道の基本動作を身につけ、固めの攻撃と防御ができるようにする。	B 柔道の特性に感心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分の能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B 投げ技の基本技能を身につけ、多くのに取り組むことができる。	B 柔道歴史、特性、運動の方法を理解している。
12	ソフトボール (持久走)	6	投げる・捕る、打つ等の基本を身につけ、ゲームができるようにする。	B ソフトボールの特性に感心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分のチームの能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B スローイング、キャッチング、バッティング等の基本技能ができる。	B ソフトボールの(野球)歴史、特性、運動の方法、やさしいルールを理解している。
1	サッカー	8	集団での攻撃や防御の技能を身につけ、協力してゲームを楽しむことができるようにする。	B サッカーの特性に感心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分のチームの能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B 基本技能ができ、集団での攻撃、防御の方法を身につける。	B サッカーの歴史、特性、運動の方法、ルールを理解している。
2	バスケットボール	8	集団での攻撃や防御の技能を身につけ、協力してゲームを楽しむことができるようにする。	B バスケットボールの特性に感心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分のチームの能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B 基本技能がゲームの中ででき、チームとしての連携をはかったプレーができる。	B バスケットボールの歴史、特性、運動の方法、ルールを理解している。
3	ダンス	5	リズムにのり、感じをこめて踊ったり、皆で楽しく踊ったりできるようにする。	B ダンスの特性に感心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分の能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B リズムをとらえ、動き作りができる。	B ダンスの歴史、特性、運動の方法や練習の仕方を理解している。

保健 ・ 体育理論	8 ・ 2	(保健) 個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯に通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。 (体育理論) 運動やスポーツの意義や効果などについて理解できるようにする。	B (保健) 生涯にわたって自らの健康を管理しようとする意欲がもてるようにする。 (体育理論) 運動やスポーツが心身の発達に与える効果や、それらを安全に行う方法について自主的に取組もうとする。	B (保健) 現在および将来の生活において健康・安全の課題に直面した場合に的確な判断をしようとする。 (体育理論) 運動やスポーツが心身の発達に与える効果や、それらを安全に行う方法について意見や情報を分析したり、整理しようとする。		B (保健) 健康・安全の課題に直面した場合に的確な思考・判断を行うことができるような知識を身につけようとする。 (体育理論) 運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全について理解している。
後期取り組みにおける評価の集計						
評価方法・評価場面	◎授業への取り組み ○学習カード ・授業に参加し、説明をしっかりと聞いて進んで運動に取り組んでいる。 ・授業の約束を守り、安全に協力して活動できる。 ・提出物を確実に出している。	◎授業への取り組み ○学習カード ○単元のまとめ ○定期テスト ・自分のチームにあった適切な課題を設定することができる。 ・課題を解決するために練習を工夫している。	◎授業への取り組み ◎技能テスト ・日頃の活動やテストで技能の基本を正確に行うことができる。	◎授業への取り組み ◎学習カード ○単元のまとめ ◎定期テスト ・運動の特性や運度の方法、ルール等を理解している。 ・学習カードや資料を活用できる。 ・基本的な知識を使って正しく説明できる。		
年度末の評価						

指導目標		運動や健康・安全についての理解と運動実践を通して積極的に運動に親しむ学びを大切にします。お互いを認め、高め合う活動を大切にし、明るく豊かな生活を営む態度を育てます。					
月	単元	時数	指導目標	観点別評価基準			
				関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識・理解
4	体づくり運動 体力を高める運動	7	身体を動かす楽しさや心地よさを味わい、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができるようにする。	B 各運動の特性や関心を持ち、楽しさが味わえるようにする。	B 自分の体力の状況を知り、向上のための解決方法を見つけようとする。	B 体ほぐしや体力を高めるための基本技能(動き)ができる。	B 体力を向上させるための運動の方法や体力の特徴を理解している。
5	バレーボール	8	集団での攻撃や防御の技能を身につけ、協力してゲームを楽しむことができるようにする。	B バレーボールの特性に感心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分の能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B 基本技能がゲームの中ででき、チームとしての連携をはかったプレーができる。	B バレーボールの歴史、特性、運動の方法、ルールを理解している。
6	ハンドボール	8	集団での攻撃や防御の技能を身につけ、協力してゲームを楽しむことができるようにする。	B ハンドボールの特性に感心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分のチームの能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B 基本技能ができ、集団での攻撃、防御の方法を身につける。	B ハンドボールの歴史、特性、運動の方法、ルールを理解している。
7							
8	水泳	8	クロール、平泳ぎの基本技能を身につけ、健康・安全に留意して活動することができるようにする。	B 水泳の特性に感心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分の能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B クロール、平泳ぎ、背泳ぎを一連の動作で泳ぐことができる。	B 水泳の特性、運動の方法、練習の仕方や安全について理解している。
9							
	保健・ 体育理論	8 ・2	(保健) 個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯に通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。 (体育理論) 運動やスポーツの意義や効果などについて理解できるようにする。	B (保健) 生涯にわたって自らの健康を管理しようとする意欲がもてるようにする。 (体育理論) 運動やスポーツが心身の発達に与える効果や、それらを安全に行う方法について自主的に取り組もうとする。	B (保健) 現在および将来の生活において健康・安全の課題に直面した場合に的確な判断をしようとする。 (体育理論) 運動やスポーツが心身の発達に与える効果や、それらを安全に行う方法について意見や情報を分析したり、整理しようとする。		B (保健) 健康・安全の課題に直面した場合に的確な思考・判断を行うことができるような知識を身につけようとする。 (体育理論) 運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全について理解している。

前期取り組みにおける評価の集計 まとめの掲示					
	評価方法・評価場面	<p>◎授業への取り組み</p> <p>○学習カード</p> <p>○夏休みの必修課題(自由課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に参加し、説明をしっかりと聞いて進んで運動に取り組んでいる。 ・授業の約束を守り、安全に協力して活動できる。 ・提出物を確実に出している。 	<p>◎授業への取り組み</p> <p>○学習カード</p> <p>○単元のまとめ</p> <p>○定期テスト</p> <p>○夏休みの必修課題(自由課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のチームにあった適切な課題を設定することができる。 ・課題を解決するために練習を工夫している。 	<p>◎授業への取り組み</p> <p>◎技能テスト</p> <p>○夏休みの必修課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日頃の活動やテストで技能の基本を正確に行うことができる。 	<p>○授業への取り組み</p> <p>◎学習カード</p> <p>○単元のまとめ</p> <p>◎定期テスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の特性や運度の方法、ルール等を理解している。 ・学習カードや資料を活用できる。 ・基本的な知識を使って正しく説明できる。
前期の評価					

9	器械運動	9	マット・跳び箱運動の基本技能を身につけ、新しい技に取り組み安全に活動することができるようにする。	B 器械運動の特性に感心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分の能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B マット：回転系の基本技能ができ新しい技に挑戦できる。 跳び箱：開脚、抱え込み跳びの基本技能ができ、回転系の技に挑戦できる。	B 器械運動の特性、新しい技の方法や練習の仕方を理解している。
			10	陸上	9	短距離走、ハードル、高跳び、幅跳びの基本技能を身につけ、健康・安全に留意して練習ができるようにする。	B 陸上競技の特性に感心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。
11	サッカー (持久走)	8	集団での攻撃や防御の技能を身につけ、協力してゲームを楽しむことができるようにする。	B サッカーの特性に感心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分のチームの能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B 基本技能ができ、集団での攻撃、防御の方法を身につける。	B サッカーの歴史、特性、運動の方法、ルールを理解している。
			12	柔道	9	礼法、姿勢、組み方、体さばき、くずし、受け身等基本動作を身につけることができるようにする。	B 柔道の特性に感心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。
1	バスケットボール	8	集団での攻撃や防御の技能を身につけ、協力してゲームを楽しむことができるようにする。	B バスケットボールの特性に感心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分のチームの能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B 基本技能がゲームの中ででき、チームとしての連携をはかったプレーができる。	B バスケットボールの歴史、特性、運動の方法、ルールを理解している。
			2	ソフトボール (Tボール)	6	投げる・捕る、打つ等の基本を身につけ、ゲームができるようにする。	B ソフトボールの特性に感心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。
3							

	ダンス	6	リズムにのり、感じをこめて踊ったり、皆で楽しく踊ったりできるようにする。	B ダンスの特性に感心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分の能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B リズムをとらえ、動き作りができる。	B ダンスの歴史、特性、運動の方法や練習の仕方を理解している。
	保健・体育理論	8・1	(保健) 個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯に通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。 (体育理論) 運動やスポーツの意義や効果などについて理解できるようにする。	B (保健) 生涯にわたって自らの健康を管理しようとする意欲がもてるようにする。 (体育理論) 運動やスポーツが心身の発達に与える効果や、それらを安全に行う方法について自主的に取り組もうとする。	B (保健) 現在および将来の生活において健康・安全の課題に直面した場合に的確な判断をしようとする。 (体育理論) 運動やスポーツが心身の発達に与える効果や、それらを安全に行う方法について意見や情報を分析したり、整理しようとする。		B (保健) 健康・安全の課題に直面した場合に的確な思考・判断を行うことができるような知識を身につけようとする。 (体育理論) 運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全について理解している。
後期取り組みにおける評価の集計							
	評価方法・評価場面			◎授業への取り組み ○学習カード ・授業に参加し、説明をしっかりと聞いて進んで運動に取り組んでいる。 ・授業の約束を守り、安全に協力して活動できる。 ・提出物を確実に出している。	◎授業への取り組み ○学習カード ○単元のまとめ ○定期テスト ・自分のチームにあった適切な課題を設定することができる。 ・課題を解決するために練習を工夫している。	◎授業への取り組み ◎技能テスト ・日頃の活動やテストで技能の基本を正確に行うことができる。	◎授業への取り組み ◎学習カード ○単元のまとめ ◎定期テスト ・運動の特性や運度の方法、ルール等を理解している。 ・学習カードや資料を活用できる。 ・基本的な知識を使って正しく説明できる。
年度末の評価							

指導目標		運動や健康・安全についての理解と運動実践を通して積極的に運動に親しみ、学びを大切にします。お互いを認め、高め合う活動を大切にし、明るく豊かな生活を営む態度を育てます。					
月	単元	時数	指導目標	観点別評価基準			
				関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識・理解
4	体づくり運動 体力を高める運動	7	身体を動かす楽しさや心地よさを味わい、目的に適した運動の計画を立て、取り組むことができるようにする。	B 各運動の特性に関心を持ち、楽しさが味わえるようにする。	B 自分の体力の状況を知り、向上のための解決方法を見つけようとする。	B 体ほぐしや体力を高めるための基本技能（動き）ができる。	B 体力を向上させるための運動方法や体力の特徴を理解している。
5	選択制	16	相手の攻撃や防御に応じた作戦をたて、自分の役割を考えながらゲームを楽しむことができるようにする。	B サッカーの特性に関心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分の能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B 基本技能を生かして、チームとしての作戦をたててゲームができる。試合の運営ができる。	B サッカーの歴史、特性、運動の方法、ルールを理解している。
			相手の攻撃や防御に応じた作戦をたて、自分の役割を考えながらゲームを楽しむことができるようにする。	B バasketボールの特性に関心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分の能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B 相手の攻撃や防御に応じたプレイがゲームの中でできる。試合の運営ができる。	B バasketボールの歴史、特性、運動の方法、ルールを理解している。
6	選択制	16	相手の攻撃や防御に応じた作戦をたて、自分の役割を考えながらゲームを楽しむことができるようにする。	B ハンドボールの特性に関心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分の能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B 相手の攻撃や防御に応じたプレイがゲームの中でできる。試合の運営ができる。	B ハンドボールの歴史、特性、運動の方法、ルールを理解している。
			相手の攻撃や防御に応じた作戦をたて、自分の役割を考えながらゲームを楽しむことができるようにする。	B バレーボールの特性に関心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分の能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B パス等の基本技能が安定し、三段攻撃につなげることができる。試合の運営ができる。	B バレーボールの歴史、特性、運動の方法、ルールを理解している。
7 8 9							

選択制	水泳	16	周囲の安全に気を付けながら、いろいろな泳ぎ方で速く泳いだり、続けて長く泳いだりできるようにする。	B 水泳の特性に関心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分の能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B クロール・平泳ぎ・背泳ぎを滑らかな動作で、長い距離を泳ぐことができ、目標記録に挑める。	B 水泳の特性、運動の方法、練習の仕方や安全について理解している。
	陸上		短距離走、ハードル、走り幅跳びの基本技能を生かして記録に挑み、健康・安全に留意して練習ができるようにする。	B 陸上競技の特性に関心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分の能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B 短距離走、ハードル、走り幅跳びの基本技能を生かして、運動することができる。	B 陸上競技の特性、運動の方法、練習の仕方や安全について理解している。
	器械運動		マット・とび箱運動の技の完成度を高め、組み合わせを考えて発表し、安全に活動することができるようにする。	B 器械運動の特性に関心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分の能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B マット：回転系の基本技能ができ、できる技を組み合わせて発表できる。 とび箱：回転系の基本技能ができ、できる技に挑戦することができる。	B 器械運動の特性、運動の方法、練習の仕方や安全について理解している。
保健・ 体育理論	保健・ 体育理論	10・2	（保健）個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯に通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。 （体育理論）文化としてのスポーツの意義について理解できるようにする。	B （保健）健康な生活と疾病の予防について学習することにより、生涯にわたって自らの健康を管理しようとする意欲を持てるようにする。 （体育理論）文化としてのスポーツの意義について関心を持ち、学習に主体的に取り組もうとする。	B （保健）課題学習を取り入れることにより、現在及び将来の生活において健康・安全の課題に直面した場合に的確な思考・判断を行うことができるようにする。 （体育理論）文化としてのスポーツの意義について意見や情報を分析したり、整理しようとする。	B （保健）健康・安全の課題に直面した場合に的確な思考・判断を行うことができるような知識を身につける。 （体育理論）文化としてのスポーツの意義について理解している。	
前期取り組みにおける評価の集計 まとめの掲示							

	<p>評価方法・評価場面</p>	<p>◎授業への取り組み ○学習カード ○単元のまとめ ○夏休みの必修課題 (自由課題) ・授業に参加し、説明を しっかり聞いて進んで運 動に取り組んでいる。 ・授業の約束を守り、安 全に協力して活動でき る。 ・提出物を確実に出して いる。</p>	<p>◎授業への取り組み ○学習カード ○単元のまとめ ○定期テスト ○夏休みの必修課題 (自由課題) ・自分のチームにあった 適切な課題を設定するこ とができる。 ・課題を解決するために 練習を工夫している。</p>	<p>◎授業への取り組み ◎技能テスト ・日頃の活動や技能テス トで技能を正確に行うこ とができる。</p>	<p>◎授業への取り組み ◎学習カード ○単元のまとめ ◎定期テスト ・運動の特性や運動の方 法、ルール等を理解して いる。 ・学習カードや資料を活 用できる。 ・基本的な知識を使って 正しく説明できる。</p>
<p>前期の評価</p>					

1 0 . 1 1	選 択制	柔道	15	投げ技、足技、固め技の攻防の基本を身につけ、相手に応じた技をかけることができる。	B 柔道の特性に関心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分の能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B 相手に応じた技を使って試合（乱取り）ができる。	B 柔道の特性、運動の方法、練習の仕方や安全について理解している。
		ダンス		リズムにのり、感じを込めて踊ったり、みんなで楽しく踊ったりできるようにする。	B ダンスの特性に関心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分の能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B リズムをとらえ、動き作りができる。	B ダンスの特性、運動の方法、練習の仕方や安全について理解している。
1 2 . 1 .	入 れ替わり	ソフトボール	6	投げる・捕る・打つ等の基本技能を高め、チームとして攻撃や防御を工夫してゲームができるようにする。	B ソフトボールの特性に関心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分の能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B スローイング、キャッチング、バッティング等の基本技能を高めてゲームで生かすことができる。	B ソフトボールの特性、運動の方法、練習の仕方や安全について理解している。
		バドミントン ・卓球		6	相手の攻撃や防御に応じた作戦をたて、自分の役割を考えながらゲームを楽しむことができるようにする。	B バドミントンや卓球の特性に関心を持ち、楽しさが味わえるように取り組もうとする。	B 自分の能力に適した課題を発見し、設定することができる。解決方法を見つけようとする。	B レシーブ等の基本技能が安定し、スマッシュにつなげることができる。試合の運営ができる。
	保健 ・ 体育理論	保健 ・ 体育理論	1 0 ・ 1	（保健）個人生活における健康・安全に関する理解を通して、生涯に通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。 （体育理論）文化としてのスポーツの意義について理解できるようにする。	B （保健）健康な生活と疾病の予防について学習することにより、生涯にわたって自らの健康を管理しようとする意欲を持てるようにする。 （体育理論）文化としてのスポーツの意義について関心を持ち、学習に自主的に取り組もうとする。	B （保健）課題学習を取り入れることにより、現在及び将来の生活において健康・安全の課題に直面した場合に的確な思考・判断を行うことができるようにする。 （体育理論）文化としてのスポーツの意義について意見や情報を分析したり、整理しようとする。		B （保健）健康・安全の課題に直面した場合に的確な思考・判断を行うことができるような知識を身につける。 （体育理論）文化としてのスポーツの意義について理解している。
後期取り組みにおける評価の集計 まとめの掲示								

		<p>評価方法・評価場面</p>	<p>◎授業への取り組み ○学習カード ○単元のまとめ ・授業に参加し、説明をしっかりと聞いて進んで運動に取り組んでいる。 ・授業の約束を守り、安全に協力して活動できる。 ・提出物を確実に出している。</p>	<p>◎授業への取り組み ○学習カード ○単元のまとめ ○定期テスト ・自分のチームにあった適切な課題を設定することができる。 ・課題を解決するために練習を工夫している。</p>	<p>◎授業への取り組み ◎技能テスト ・日頃の活動や技能テストで技能を正確に行うことができる。</p>	<p>○授業への取り組み ◎学習カード ○単元のまとめ ◎定期テスト ・運動の特性や運動の方法、ルール等を理解している。 ・学習カードや資料を活用できる。 ・基本的な知識を使って正しく説明できる。</p>
		<p>年度末の評価</p>				

2019年度 年間指導計画と評価

技術・家庭科(技術分野)

第1学年

月	学習内容	時数	指導目標	観点別評価基準			
				生活や技術への関心・意欲・態度	生活を創意工夫する能力	生活の技能	生活や技術への知識・理解
	指導目標 ○生活に必要な基礎的な知識と技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについての理解を深め、進んで生活を工夫し、創造する能力と実践的な態度を育てる。 ○実践的・体験的な学習活動を通して、ものづくりやエネルギー利用及びコンピュータ活用等に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、技術が果たす役割について理解を深め、それらを適切に活用する能力と態度を育てる。						
4	◆技術分野のガイダンス	2	技術に対する興味・関心を持ち、見通しを持って学習に取り組む姿勢をつくる。	技術の変遷や、持続可能な社会のための技術に関心を示している。			
5	◆材料と加工に関する技術 ・材料と加工法 ・製作品の設計・製作	26	材料の特徴や工具の使用方法を 知り、活用できる力を養う 使用目的と使用条件にあった作品 の製作を通して、設計や技能を理 解させ、正確かつ安全に製作する 力を養う。	身の回りの製品に使われている材 料について、その特徴を調べようと している。 生活の中の問題点を見つけ、改善 するための製作品を考えようとして いる。	生活を改善するために、製作品の 使用目的や条件を考え、構想をま とめられる。 構想をもとに、手順を考え、工具や 機器を安全に使用しながら製作し ている。	製作品の構想を描き表すことがで きる。 製作に必要な工具を正しく使って、 ていねいに作品を製作できる。	材料の特徴を活かした利用方法に ついての知識を身につけている。 材料と加工に応じた工具について の知識を身につけ、適切に選択で きる。
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12	・材料と加工に関する技術の評価・活用		材料と加工に関する技術につい て、さまざまな側面から評価でき る力を養う。	材料と加工に関する技術が社会 や環境に与える影響と役割につ いて調べ、活用しようとしている。	材料と加工に関する技術を環境的 側面から比較・検討し、解決策を 示せる。		
1							
2	◆情報に関する技術	7	コンピュータの機能や処理方法を 理解し、情報通信ネットワークを適 切に利用できる能力を養う。	情報通信ネットワークの利用で発 生する可能性のある問題につ いて、調べようとしている。	コンピュータを利用して生活を豊か にすることを考えることができる。	コンピュータの基本的な操作がで きる。 ソフトウェアを利用して、基本的な 情報処理ができる。	情報通信ネットワークのしくみや危 険性についての知識を身につけて いる。
3	・コンピュータと情報通信ネットワーク						
評価方法・評価場面				◎活動状況の観察 ◎ノートやワークシートの状況 ◎実習に取り組む姿勢 ○定期テスト ・学習内容に関心を持ち、集中して 授業に取り組んでいる。 ・ノートやワークシートをしっかりと 記入している。 ・実習の注意事項を遵守し、安全 に配慮した行動をしている。	◎作品・実習の状況 ◎ノートやワークシートの状況 ○活動状況の観察 ・作品や実習において創意工夫を している。 ・ノートやワークシートを工夫してま とめている。	◎作品の評価 ◎実技技能の評価 ○活動状況の観察 ・作品を正しく完成させることが できる。 ・作業を効率よく進められる。 ・技能に優れている。	◎定期テスト ○活動状況の観察 ・授業で学習した内容を理解して いる。 ・発問に対する応答が適切であ る。 ・知識を活用して活動に臨んで いる。

2019年度 年間指導計画と評価

技術・家庭科(技術分野)

第2学年

月	学習内容	時数	指導目標	観点別評価基準								
				生活や技術への関心・意欲・態度	生活を創意工夫する能力	生活の技能	生活や技術への知識・理解					
<p>教科目標</p> <p>○生活に必要な基礎的な知識と技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについての理解を深め、進んで生活を工夫し、創造する能力と実践的な態度を育てる。</p> <p>○実践的・体験的な学習活動を通して、ものづくりやエネルギー利用及びコンピュータ活用等に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、技術が果たす役割について理解を深め、それらを適切に活用する能力と態度を育てる。</p>												
4	◆エネルギー変換に関する技術 ・エネルギーの変換と利用 ・製作品の設計・製作	24	エネルギーを他のエネルギーに変換することで、目的の仕事を得ていることを理解させる。 エネルギー変換を利用した製品の製作を通して、設計や技能を理解させ、正確かつ安全に製作・点検する力を養う。	電気を使用した製品に興味を持ち、電源の種類や特徴について調べようとしている。 電気の事故防止に興味を持ち、進んで電気事故の防止について考えようとしている。 省エネルギーや安全などに配慮して設計・製作しようとしている。	生活を改善するために、製作品の使用目的や条件を考え、構想をまとめられる。 構想をもとに、手順を考え、工具や機器を安全に使用しながら製作している。 設計要素を検討し、エネルギー変換に関する技術を利用した製作品を製作している。	定格表示の意味や危険な使用方法を知り、安全に配慮することができる。 製作に必要な工具を正しく使って、いねいに作品を製作できる。 目的の動作ができるように、材料や回路図を選択して製作できる。	生活の中で利用されているエネルギー変換についての知識を身につけている。 発電方式や、電源の種類などの特徴についての知識を身につけている。 電気エネルギーを他のエネルギーに変換利用する機器についての知識を身につけている。 電気事故の防止方法についての知識を身につけている。 運動伝達の仕組みや共通部品についての知識を身につけている。					
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11								エネルギー変換に関する技術の評価・活用	エネルギー変換に関する技術について、さまざまな側面から評価できる力を養う。	エネルギー変換に関する技術が社会や環境に与える影響と役割について調べ、活用しようとしている。	エネルギー変換に関する技術を環境的側面から比較・検討し、解決策を示せる。	
12												
1								◆情報に関する技術 ・コンピュータと情報通信ネットワーク ・デジタル作品の設計・製作	11	コンピュータの機能や処理方法を理解し、情報通信ネットワークを適切に利用できる能力を養う。 デジタル作品の制作手順を設計し、制作する力を養う。	情報通信ネットワークの利用で発生する可能性のある問題について、調べようとしている。 デジタル作品に興味を持ち、構成や技術について調べようとしている。	コンピュータを利用して生活を豊かにすることを考えることができる。 情報の受け手を意識し、使用目的や条件を明確にして製作を構想・立案している。
2												
3												
評価方法・評価場面				◎活動状況の観察 ◎ノートやワークシートの状況 ◎実習に取り組む姿勢 ○定期テスト ・学習内容に関心を持ち、集中して授業に取り組んでいる。 ・ノートやワークシートをしっかりと記入している。 ・実習の注意事項を遵守し、安全に配慮した行動をしている。	◎作品・実習の状況 ◎ノートやワークシートの状況 ○活動状況の観察 ・作品や実習において創意工夫をしている。 ・ノートやワークシートを工夫してまとめている。	◎作品の評価 ◎実技技能の評価 ○活動状況の観察 ・作品を正しく完成させることができる。 ・作業を効率よく進められる。 ・技能に優れている。	◎定期テスト ○活動状況の観察 ・授業で学習した内容を理解している。 ・発問に対する応答が適切である。 ・知識を活用して活動に臨んでいる。					

2019年度 年間指導計画と評価

技術・家庭科(技術分野)

第3学年

月	学習内容	時数	指導目標	観点別評価基準			
				生活や技術への関心・意欲・態度	生活を創意工夫する能力	生活の技能	生活や技術への知識・理解
<p>教科目標</p> <p>○生活に必要な基礎的な知識と技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについての理解を深め、進んで生活を工夫し、創造する能力と実践的な態度を育てる。</p> <p>○実践的・体験的な学習活動を通して、ものづくりやエネルギー利用及びコンピュータ活用等に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、技術が果たす役割について理解を深め、それらを適切に活用する能力と態度を育てる。</p>							
4	<p>◆生物育成に関する技術</p> <p>・生物を育てる技術の特徴</p> <p>・生物を育てる技術の計画と管理</p> <p>・生物育成に関する技術の評価・活用</p> <p>◆情報に関する技術</p> <p>・コンピュータと情報通信ネットワーク</p> <p>・プログラムによる計測・制御</p>	14.5	<p>生物を健康に育てるために、成長に合わせた育成計画を立てられる能力を養う。</p> <p>生物の成長に合わせた管理作業を行うことができる。</p> <p>コンピュータの機能や処理方法を理解し、情報通信ネットワークを適切に利用できる能力を養う。</p> <p>計測・制御システムの基本的な構成とプログラムを作るための手順を知り、作成できる力を養う。</p>	<p>積極的に生物を育てる技術について考えようとしている。</p> <p>生物育成に関する技術の役割や影響を調べ、さまざまな側面から比較・検討しようとしている。</p> <p>情報通信ネットワークの利用で発生する可能性のある問題について、調べようとしている。</p> <p>身の回りの計測・制御システムについて調べようとしている。</p>	<p>生物の特徴や環境などに応じた育成計画を立てられる。</p> <p>生物育成に関する技術を環境的側面から比較・検討し、適切な解決策を示している。</p> <p>コンピュータを利用して生活を豊かにすることを考えることができる。</p> <p>計測・制御の目的や条件に基づいてプログラムを作成しようとしている。</p>	<p>育成計画と生物の成長の状況を見ながら、適切な資材や用具を用いて、合理的な管理作業ができる。</p> <p>コンピュータの基本的な操作ができる。</p> <p>ソフトウェアを利用して、基本的な情報処理ができる。</p> <p>設計に基づき、複数の表現手段を統合して制作できる。</p>	<p>生物を観察する視点についての知識を身につけている。</p> <p>生物の管理作業についての知識を身につけている。</p> <p>情報通信ネットワークのしくみや危険性についての知識を身につけている。</p> <p>情報処理の手順についての知識を身につけている。</p>
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
1							
2	<p>・情報に関する技術の評価・活用</p>	3	<p>情報に関する技術について、さまざまな側面から評価できる力を養う。</p>	<p>情報に関する技術が社会や環境に与える影響と役割について調べ、活用しようとしている。</p>	<p>情報に関する技術を環境的側面から比較・検討し、解決策を示せる。</p>		
3							
<p>評価方法・評価場面</p>				<p>◎活動状況の観察</p> <p>◎ノートやワークシートの状況</p> <p>◎実習に取り組む姿勢</p> <p>○定期テスト</p> <p>・学習内容に関心を持ち、集中して授業に取り組んでいる。</p> <p>・ノートやワークシートをしっかりと記入している。</p> <p>・実習の注意事項を遵守し、安全に配慮した行動をしている。</p>	<p>◎作品・実習の状況</p> <p>◎ノートやワークシートの状況</p> <p>○活動状況の観察</p> <p>・作品や実習において創意工夫をしている。</p> <p>・ノートやワークシートを工夫してまとめている。</p>	<p>◎作品の評価</p> <p>◎実技技能の評価</p> <p>○活動状況の観察</p> <p>・作品を正しく完成させることができる。</p> <p>・作業を効率よく進められる。</p> <p>・技能に優れている。</p>	<p>◎定期テスト</p> <p>○活動状況の観察</p> <p>・授業で学習した内容を理解している。</p> <p>・発問に対する応答が適切である。</p> <p>・知識を活用して活動に臨んでいる。</p>

平成31年度 年間学習計画と評価 技術・家庭科（家庭分野）第1学年

（・はB基準）

指導目標		教科目標：生活に必要な基礎的な知識と技術の習得を通し、生活と技術との関わりについての理解を深め、進んで生活を工夫し、創造する能力と実践的な態度を育てる。 家庭分野：実践的・体験的な活動を通して、生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、課題を持って生活をより良くしようとする能力と態度を育てる。					
月	指導内容	時数	指導目標	観点別評価基準			
				関心・意欲・態度	創意工夫	技能	知識・理解
4	ガイダンス	3	年間計画 教科のねらい 学習内容 評価	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次の学習内容について関心を持って話を聞くと同時に、自分の成長を振り返ることができる。 			
5 6	食生活と栄養 ・食事の役割 ・健康によい食習慣 ・栄養素の種類と働き ・中学生に必要な栄養の特徴	5	<p>食生活に関心を持ち、食事の果たす役割を理解し、食習慣を考える。</p> <p>栄養素の種類と働きを知り、中学生に必要な栄養の特徴について考える。</p> <p>食品の栄養的特質や中学生の1日に必要な食品の種類と概量について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の食生活に関心を持ち、課題を見つけようとしている。 ・食事の役割について考えようとしている。 ・自分の食生活を振り返り、健康によい食習慣について考えようとしている。 ・栄養素の種類と働きについて関心を持ち、考えようとしている。 ・中学生に必要な栄養素について関心を持ち、考えようとしている。 ・身近な食品の栄養的な特徴を調べようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の食生活において、これからも続けたい食習慣と改善したい食習慣について考え、工夫している。 ・用途に応じた食品の選択について、収集・整理した情報を活用して考え、工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な食品を選択するために必要な情報を収集・整理することができる。 ・商品の表示から必要な情報を収集・整理することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の役割について理解している。 ・健康を支える3本の柱について理解している。 ・栄養素の種類と働きについて、理解している。 ・中学生の時期に必要な栄養の特徴について理解している。 ・身近な食品を6つの食品群に分類する方法について理解している。 ・食品群別摂取量のめやすと1日に必要な食品の種類と概量について理解している。
7 8 9	献立作りと食品の選択 ・食品に含まれる栄養素 ・6つの食品群 ・食品群別摂取量のめやす ・1日分の献立 ・食品の選択 ・食品の保存 ・食品と安全性	7	<p>中学生の1日分の献立を考える。</p> <p>食品の品質を見分け、用途に応じて選択できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1日に必要な食品の種類と概量について関心を持ち、意欲的に調べようとしている。 ・中学生に必要な栄養を満たす1日分の献立を考えようとしている。 ・栄養的にバランスのよい1日分の献立を考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の1日分の献立について課題を見つけ、必要な栄養を満たすために、料理や食品の組み合わせ方について、工夫している。 ・不足している食品群を補うような献立を考え、工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生の1日分の献立について課題を見つけ、必要な栄養を満たすために、料理や食品の組み合わせ方を考えた献立作成ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生に必要な栄養を満たす1日分の献立のたてかたを理解している。 ・栄養的なバランスを考えた1日分の献立の立て方について理解している。 ・生鮮食品と加工食品の特徴と品質の見分け方を理解している。 ・食品を選択するための観点について理解している ・食品の表示の意味について理解している

10	基礎的な野菜の調理技術	4	安全と衛生に気をつけて、日常食を調理することができる。食品の調理上の性質を知り、適切に調理することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な調理技術に関心を持ち、技術を意欲的に身につけようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な調理技術についての手順について考え、安線・衛生を意識し、工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な調理を適切に、安全・衛生的に実践することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理解している。 ・食品の保存方法を理解している。
11	住生活と自立	6	家族の住空間について考え、住居の基本的な機能について知る。家族の安全について考えて室内環境の整え方を知り、快適な住まい方を工夫できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいや住まいの中の生活や役割について関心を持って考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭内事故の防ぎ方や災害時の対策方法について考え、工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの役割について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本各地の住まいとその特徴について理解している。
12	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの役割 ・日本の住まいと住まい方 ・安全で安心な住まい ・よりよい住生活を目指して 			<ul style="list-style-type: none"> ・日本の気候風土や地域の特性に合わせた住まいや住まい方の工夫について、意欲的に考えようとしている。 			
1	生活を豊かにするために	10	基礎縫いコンパクトバッグ製作	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭内の事故や自然災害時の対策を考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で効率よく進める方法を考え、工夫している。 ・自分らしさを表現したり、使いやすさを追求するために色やデザインなどを考え、工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・製作に必要なものを準備し、用具を安全に取り扱うことができ、丁寧に製作することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・製作の手順や縫い方、材料や用具の選択、安全な使い方を理解している。
2				<ul style="list-style-type: none"> ・製作に意欲的に取り組んでいる。 			
3							
評価方法・評価場面				<ul style="list-style-type: none"> ○授業中の発言・態度 ○提出物 ○学習ノート ○ワークシート・レポート ○実習 ・実習内容に関心を持ち、進んで取り組んでいる。 ・集中して授業に取り組んでいる。 ・提出物に意欲的に取り組む ○製作記録カード ○課題 ○夏休みの課題 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習ノート ○ワークシート・レポート ○実習 ○作品 ・作品に自分なりに創意工夫している。 ○製作記録カード ○定期テスト ○夏休みの課題 	<ul style="list-style-type: none"> ○実習 ○学習ノート ○ワークシート・レポート ○作品 ・作業を能率良く進められる。 ・丁寧に作業に取り組む。 ・時間配分を考え、完成させることができる。 ○定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習ノート ◎定期テスト ・授業で学習した内容を理解している。

平成31年度 年間学習計画と評価 技術・家庭科（家庭分野）第2学年

（・はB基準）

指導目標		教科目標：生活に必要な基礎的な知識と技術の習得を通し、生活と技術との関わりについての理解を深め、進んで生活を工夫し、創造する能力と実践的な態度を育てる。 家庭分野：実践的・体験的な活動を通して、生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、課題を持って生活をより良くしようとする能力と態度を育てる。							
月	指導内容	時数	指導目標	観点別評価基準					
				関心・意欲・態度	創意工夫	技能	知識・理解		
4	ガイダンス	1		・2年次の学習内容について関心を持って話を聞くと同時に、自分の成長を振り返ることができる。					
5	住生活と自立 ・住まいの役割 ・日本の住まいと住まい方 ・家庭内事故 ・災害に備えた住まい方	7	住居の基本的な機能について知る。 家族の安全について考えて室内環境の整え方を知り、快適な住まい方を工夫できる。	・住まいや住まいの中の生活や役割について関心を持って考えようとしている。	・家庭内事故の防ぎ方や対策方法について考え、工夫している。		・住まいの役割について理解している。 ・日本各地の住まいとその特徴について理解している。		
・日本の気候風土や地域の特性に合わせた住まいや住まい方の工夫について、意欲的に考えようとしている。				・非常用持ち出し品について考えることができる。				・住まいの災害対策についてまとめることができる。	・家庭内事故の防ぎ方や対策について理解している。
・家族が安全で快適に住むための住まいの工夫について考えようとしている。									
6	生活を豊かにするために	8	エプロン製作	・非常用持ち出し品について考えることができる。	・非常用持ち出し品を、どこに何を入れるとよいか工夫することができる。	・住まいの災害対策についてまとめることができる。	・製作の手順や縫い方、材料や用具の選択、安全な使い方を理解している。		
7				・製作に意欲的に取り組んでいる。	・安全で効率よく進める方法を考え、工夫している。	・製作に必要なものを準備し、用具を安全に取り扱うことができ、丁寧に製作することができる。			
8	日常食を調理する	10	・食品や調理用具を安全で衛生的に取り扱い、基礎的な調理技術を身につける。	・基礎的な調理技術に関心を持ち、技術を意欲的に身につけようとしている。	・基礎的な調理技術についての手順について考え、安全・衛生を意識し、工夫して調理ができる。	・基礎的な調理を適切に、安全・衛生的に実践することができる。	・食品の調理上の性質を理解している。		
9									
10	私たちの消費生活 ・消費者としての自覚	4	消費生活に関心を持ち、消費者の契約や権	・自分や家族の消費生活を振り返り、積極的に学習に取り	・収集、整理した情報を活用して物資、サービスの選択、	・物資、サービスの選択、購入及び活用について必要な	・契約について理解している。		
12									

1	<ul style="list-style-type: none"> ・契約 ・商品の選択と購入 ・消費者の権利と責任 ・消費者トラブル ・よりよい消費生活 ・自分にできること 		<p>利と責任について理解する。</p> <p>販売方法の特徴を知り、生活に必要な物資やサービスも適切は選択、購入及び活用ができる。</p>	<p>組もうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な販売方法と支払いの方法について関心を持ち、その利点と問題点について考えようとしている。 ・商品を選ぶときに重視するポイントについて関心を持ち、考えようとしている。 ・消費者の権利と責任について関心を持ち、消費のあり方を改善しようとしている。 ・消費生活に関わるトラブルなどを解決する方法を考え、消費のあり方を改善しようとしている。 	<p>購入及び活用について考え、工夫している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者トラブルに対応するための方法について考え、工夫している。 	<p>情報を収集、整理することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・販売方法と支払い方法の種類と特徴について理解している。 ・物資やサービスの選択、購入及び活用に関する知識を身につけている。 ・消費者の権利と責任、消費者基本法の趣旨について理解している。 ・消費者トラブルに関する知識を身につけている。
2 3	<p>環境に配慮した消費生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会 ・環境に関するマーク 	5	<p>消費生活が環境に与える影響を考える。</p> <p>フードマイレージ フェアトレード マイクロプラスチック</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した消費生活を実践しようとしている。 ・環境と消費生活について調べようとしている。 ・持続可能な社会を考えようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した消費生活について考え、実践を通して自分なりに工夫している。 ・持続可能な社会について自分なりに考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー消費を減らす方法を考え、情報を収集し、整理することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活と環境の関わりについて理解している。
評価方法・評価場面			<ul style="list-style-type: none"> ○授業中の発言・態度 ○提出物 ○学習ノート ○ワークシート・レポート ○実習の評価 <ul style="list-style-type: none"> ・実習内容に関心を持ち、進んで取り組んでいる。 ・集中して授業に取り組んでいる。 ・提出物に意欲的に取り組む ○製作記録カード ○課題 ○夏休みの課題 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習ノート ○ワークシート・レポート ○実習 ○作品 <ul style="list-style-type: none"> ・作品に自分なりに創意工夫している。 ○製作記録カード ○定期テスト ○夏休みの課題 	<ul style="list-style-type: none"> ○実習 ○学習ノート ○ワークシート・レポート ○作品 <ul style="list-style-type: none"> ・作業を能率良く進められる。 ・安全に作業が進められる。 ・丁寧に製作に取り組む。 ・時間配分を考え、完成することができる。 ○定期テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習ノート ◎定期テスト <ul style="list-style-type: none"> ・授業で学習した内容を理解している。 	

平成31年度 年間学習計画と評価 技術・家庭科（家庭分野）第3学年

(・はB基準)

指導目標		教科目標：生活に必要な基礎的な知識と技術の習得を通し、生活と技術との関わりについての理解を深め、進んで生活を工夫し、創造する能力と実践的な態度を育てる。 家庭分野：実践的・体験的な活動を通して、生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、課題を持って生活をより良くしようとする能力と態度を育てる。					
月	指導内容	時数	指導目標	観点別評価基準			
				関心・意欲・態度	創意工夫	技能	知識・理解
4	ガイダンス	1	年間計画 学習のねらい	・3年次の学習内容について関心を持って話を聞くと同時に、自分の成長を振り返ることができる。			
5	私たちの消費生活 ・消費者としての自覚 ・契約 ・商品の選択と購入 ・消費者の権利と責任 ・消費者トラブル ・よりよい消費生活	4	消費生活に関心を持ち、消費者の契約や権利と責任について理解する。 販売方法の特徴を知り、生活に必要な物資やサービスも適切は選択、購入及び活用ができる。	・自分や家族の消費生活を振り返り、積極的に学習に取り組もうとしている。 ・身近な販売方法と支払いの方法について関心を持ち、その利点と問題点について考えようとしている。 ・消費者の権利と責任について関心を持ち、消費のあり方を改善しようとしている。	・収集、整理した情報を活用して物資、サービスの選択、購入及び活用について考え、工夫している。 ・環境に配慮した消費生活について考え、自分なりに工夫している。	・物資、サービスの選択、購入及び活用について必要な情報を収集、整理することができる。	・契約について理解している。 ・販売方法と支払い方法の種類と特徴について理解している。 ・物資やサービスの選択、購入及び活用に関する知識を身につけている。 ・消費者の権利と責任、消費者基本法の趣旨について理解している。 ・消費者トラブルに関する知識を身につけている。
6	環境に配慮した消費生活 ・循環型社会 ・環境に関するマーク ・生活と環境の関わり ・持続可能な社会 SDGs ・自分にできること	5	消費生活が環境に与える影響について、環境に配慮した消費生活を工夫し実践できる。	・環境に配慮した消費生活を実践しようとしている。 ・環境と消費生活について調べようとしている。 ・持続可能な社会を考えようとしている。	・環境に配慮した消費生活について考え、実践を通して自分なりに工夫している。 ・どうすれば社会を持続可能にできるか自分なりに考えることができる。 ・製作の計画を立てるに当た	・エネルギー消費を減らす方法を考え、情報を収集し、整理することができる。	・消費生活と環境の関わりについて理解している。

7 8 9 10 11 12	生活を豊かにするために ・布を用いた物の製作 (エコバッグ製作) ・ステキにリサイクル エコクッキングに挑戦	10 5 4	布を用いた製作を通して、生活を豊かにするための工夫ができる。 課題を持って衣生活について工夫し、計画を立てて実践できる。 エコクッキング	・布を用いた製作において、計画を立てようとしている。 ・製作に意欲的に取り組んでいる。 ・無駄のない調理実習をしようとする意欲的に取り組んでいる。	り、安全で効率よく進める方法を考え、工夫している。 ・しるしにそって、正しく安全に基本的なミシン縫いができる。 ・自分らしさを表現したり、デザインなどを考え、工夫している ・食品やエネルギーを無駄なく使うように工夫している。	・製作に必要な物を準備し、用具を安全に取り扱うことができ、丁寧に縫う（製作する）ことができる。 ・無駄のない食品の切り方ができる。 ・無駄のないエネルギーの使い方ができる。	・製作の手順や縫い方、材料や用具の選択、安全な使い方などを理解している。 ・無駄のない調理方法について理解している。
1 2 3	成長と家族 働くということ	6	家族との関わりや、これからの自分の家庭生活に考える。 社会に出て、働くという責任を考える。	家族関係をよりよくする方法を考えようとしている。 社会にでて働くということに関心を持っている。	家族関係をよりよくする方法を考え、工夫している。		
評価方法・評価場面			<input type="checkbox"/> 授業中の発言・態度 <input type="checkbox"/> 提出物 <input type="checkbox"/> 学習ノート <input type="checkbox"/> ワークシート・レポート <input type="checkbox"/> 実習の評価 <ul style="list-style-type: none"> ・実習内容に関心を持ち、進んで取り組んでいる。 ・集中して授業に取り組んでいる。 ・提出物に意欲的に取り組む <input type="checkbox"/> 製作記録カード <input type="checkbox"/> 定期テスト <input type="checkbox"/> 課題	<input type="checkbox"/> 学習ノート <input type="checkbox"/> ワークシート・レポート <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 作品 <ul style="list-style-type: none"> ・自分なりに創意工夫している。 <input type="checkbox"/> 製作記録カード <input type="checkbox"/> 定期テスト <input type="checkbox"/> 課題	<input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 学習ノート <input type="checkbox"/> ワークシート・レポート <input type="checkbox"/> 作品 <ul style="list-style-type: none"> ・作業を能率良く進められる。 ・技能に優れている。 ・時間配分を考え、完成することができる。 <input type="checkbox"/> 定期テスト <input type="checkbox"/> 課題	<input type="checkbox"/> 学習ノート <input checked="" type="checkbox"/> 定期テスト <ul style="list-style-type: none"> ・授業で学習した内容を理解している。 	

指導目標		言語感覚を豊かにすることによって、思考力・判断力を高めるようにし、伝え合うことを通して正確に理解し、表現・伝達する力を大切にします。					
月	章	時数	指導目標	観点別評価基準			
				関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語・文化に関する知識・理解
5	4	10	<ul style="list-style-type: none"> 英語で簡単な挨拶をすることができる。 アルファベットの音と文字の関係を理解することができる。 1～20の数の言い方を理解し、使うことができる。 家の中にあるものの名前を英語で言ったり、その単語を読んだりすることができる。 公園で見かけるものの名前を英語で読み書きしたり、絵の中に何がいくつあるか、答えることができる。 英語でかんたんな指示を聞いたり質問したりできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 発音と文字の関係を確かめるために、英語の発音を正確に聞き取ろうとしている。 単語のつづりを読んで、それがどんな発音で、どんな意味が積極的に考えている。 自分の知識を生かして、絵の中にあるものを積極的に英語で言おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語で簡単な挨拶をすることができる。 自分の名前をアルファベットで書くことができる。 正しい数の言い方で自分の電話番号などを言うことができる。 絵の中にあるものを英語で言うことができる。 絵の中にいくつかあるものについて three apples などのように言うことができる。 英語でかんたんな質問をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 単語を聞いて、その単語が表すものを絵の中から探すことができる。 単語を聞いて最初の文字をキーボードで探したり、単語のつづりを聞いて、その文字をキーボードで探したりすることができる。 1～20の数を表す単語のつづりとして正しいものを選ぶことができる。 絵の中のものを表す単語のつづりとして正しいものを選ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> アルファベットの読み方や字形を理解している。 英語の発音と文字との関係を理解している。 1～20の数を表す単語の意味を理解している。 身近なものを表す単語の意味を理解している。 名詞の複数形に-(e)sがつくことを理解している。 外来語として身の回りにたくさんの英語があることや、本来の英語との間に発音の違いがあることを理解している。
	Unit 1 Hi!	4	<ul style="list-style-type: none"> I'm... の形を理解し、英語で自分の紹介ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文で学習した表現を使って、積極的に自己紹介しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 正しい強勢やイントネーションで音読することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の自己紹介を読んだり、いろいろな人の自己紹介を聞いたり、日付の会話内容を正しくとらえることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 初対面の挨拶のしかたを理解している。 英語での月、日付(序数)の言い方を理解している。 英語のイントネーションを理解している。 アルファベットの順序を理解している。 英和辞典と和英辞典の使い方の違いを理解している。 1つの単語がさまざまな意味をもっていることを理解している。
	日付 辞書の使い方		<ul style="list-style-type: none"> 月の名前、日付を理解し、使うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日付の言い方のルールを積極的に見つけようとしている。 伝統的な日本の季節の言い方に興味をもち、積極的に調べている。 	<ul style="list-style-type: none"> 正しい言い方で日付や曜日をたずねたり答えたりすることができる。 		
	Unit 2 At School	8	<ul style="list-style-type: none"> Are you...? を使って、人に名前などをたずねることができる。 初対面の挨拶を理解し、使うことができる。 This is... や That's... を使って、人や物を紹介することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ジェスチャーをつけるなどして、積極的に友達を紹介し合ったりスキットを演じたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> イントネーションに気をつけて、本文を音読することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文を読んで、ティナの初登校の場面の会話を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶のしかたや紹介のしかたを理解するとともに、アイコンタクトや紹介のときのマナーを理解している。 名前の前に Mr./ Mrs. をつけることで男性・女性を区別すること、「～先生」は Mr./ Mrs. で表現できること

6

<p>Word Network 気持ちを表す言葉</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちを表す形容詞を理解して、人当てゲームをすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二人一組で積極的に人当てゲームに取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい言い方で相手の気持ちをたずねたり、それに答えたりする会話をすることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・be 動詞を使った疑問文のイントネーションを正しく理解している。 ・気持ちを表す形容詞の意味や使い方を理解している。
<p>Unit 3 The Teachers</p> <p>Language Focus ① be 動詞 Word Network 4</p>	8 2 2	<ul style="list-style-type: none"> ・代名詞 he/ she を使って、自分の周りの人について紹介したり質問したりすることができる。 ・「～は何ですか」とたずねたり、それに答えたりすることができる。 ・身近な人の紹介の仕方を理解し、英語で自分の身近な人を紹介することができる。 ・人称による主語の違いを理解することができる。 ・be 動詞を使う文の組み立てを理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> be 動詞や what を使った疑問文を用いて、積極的に質問し合っている。 ・先生や家族について紹介したいことを、間違いを恐れずに書こうとしている。 ・正確なつづりで自分の身近な人を紹介しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい強勢やイントネーションで音読することができる。 ・教科書の文を参考にして、自分の先生について説明する文を書くことができる。 ・英語で自分の身近な人を紹介することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会話文を読んで、登場する先生方の名前、担当教科、特徴をとらえることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・be 動詞や what を使った疑問文のイントネーションを正しく理解している。 ・身近な人を紹介するときを使う語の意味やつづりを理解している。 ・be 動詞を使う肯定文、否定文、疑問文の語順を理解している。 ・主語の人称に応じてどのbe 動詞を使うかを理解している。
<p>Unit 4 On the Way Home</p> <p>Language Focus ② 一般動詞(1)</p>	8 2 2	<ul style="list-style-type: none"> ・一般動詞を使って自分が好きなことなどを伝えたり、相手の好きなことなどをたずねたりすることができる。 ・数をたずねる言い方を理解し、スキットを演じることができる。 ・一般動詞を使う文の組み立てを理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物になったつもりで、英語らしい発音を心がけて本文を音読している。 ・クラスの友達の好きなことについて興味をもってたずねたり、自分が好きなことを積極的に説明したりしている。 ・二人一組で協力してスキットを演じたり、自分たちで積極的にスキットを考えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物になったつもりで、文のイントネーションに気をつけながら、本文を音読することができる。 ・正しい強勢やイントネーションで話すことができる。 ・正しい言い方でペットについてたずねたり、それに答えたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文を読んで4人の登場人物の好きなことなどを理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手をほめる言い方や相づちの言い方を正しく理解している。 ・相手にたずねるときのイントネーションや日本語と英語の発音の違いを正しく理解している。 ・how many を使った文について、意味、形、使い方を正しく理解している。 ・一般動詞を使う肯定文、否定文、疑問文の語順と助動詞 do の使い方を理解している。 ・母音字の読み方に「短い音」と「長い音」があることを理解している。 ・子音字の読み方に「声を出さない音」と「声を出す音」があることを理解して

7

	Go for it! 自己紹介をしよう	4	・自分が好きなこと紹介するスピーチをすることができる。	・原稿を暗記し、聞き手を見ながら発表している。 友達の話に関心をもち、積極的に質問したり、感想を伝えたりしている。	・スピーチ原稿で、好きなことに付け加える情報を2文以上を書くことができる。 ・正しい強勢、イントネーションを用いて話すことができる。 適切な声の大きさではっきり話すことができる。	・モデルのスピーチを聞いたり読んだりして内容を理解するとともに、スピーチの構成を確かめることができる。	いる。
	Sound Focus つづりと発音	2	・アルファベットの母音字と子音字の読み方を理解することができる。				
前期中間まとめの提示（7月）							
9	Unit 5 A Summer Festival Language Focus ③ 人称代名詞 Skit Time 1 ペット	8 2	・look + 形容詞の言い方で様子を表すことができる。 ・命令文を使い、相手に指示することができる。 ・疑問詞 who を使って、人物についてたずねることができる。 ・いろいろな人称代名詞を理解し、正しく使うことができる。 ・種類をたずねる言い方を理解し、スキットを演じることができる。	・登場人物の気持ちを考え、英語らしい発音を心がけて本文を音読している。 ・積極的に相手の着ている物や持ち物などのよいところを見つけてほめようとしている。 ・正しい人称代名詞を利用して書いたり話したりしている。 ・二人一組で協力してスキットを演じたり、自分たちで積極的にスキットを考えたりしている。	・登場人物の気持ちを考え、正しい強勢、イントネーションで音読することができる。 ・正しい強勢やイントネーションで話すことができる。 ・正しい強勢やイントネーションで話すことができる。 ・正しい言い方で持ち主をたずねたり、それに答えたりすることができる。	・本文の会話を読んで、話の展開や登場人物の気持ちをとらえることができる。 ・いろいろな代名詞を読んだり聞いたりして、どれを表しているのか理解できる。	・お礼の言い方や提案する言い方、提案に同意する言い方を正しく理解している。 ・日本の祭りや文化について英語で伝えることに興味をもっている。 ・命令文のイントネーションや日本語と英語の発音の違いを正しく理解している。 ・体の部分を表す語の意味や使い方を理解している。 ・命令文の意味や使い方を理解している。
	評価方法・評価場面		◎ 授業への取り組み ◎ ノート ◎ ジョイフルワーク ○ 夏休みの課題 ・授業に真面目に参加し、発言なども含め、熱心に取り組んでいる。 ・ノート、ペンマンシップに着実に取り組み、提出できる。	◎ 定期テスト ◎ 音読テスト ○ 授業への取り組み ・基礎知識をもとに自ら考え表現できる。 ・書きたい内容に応じた語彙や綴りを身につけている。	◎ 定期テスト ○ 音読テスト ○ ノート ・基礎知識を確実に身につけている。 ・聞き取った内容について、正しく書き取ることができる。	◎ 定期テスト ◎ 小テスト ・基本的な文構造の知識が身につけている。 ・書かれた内容から外国の生活や文化を知ることができる。	

前期取り組みにおける評価の集計 全体まとめの提示

10	<p>Unit 6 Breakfast Time</p> <p>Skit Time 2 電話</p>	8	<ul style="list-style-type: none"> ・「何時ですか」と時刻をたずねることができる。 ・「どちらがいいですか」と相手の好みをたずねることができる。 ・「どこですか」と場所をたずねることができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・電話での表現を理解し、使うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の気持ちを考え、英語らしい発音を心がけて本文を音読している。 ・ what, which, where などを使った文を用いて、積極的に話そうとしている。 <ul style="list-style-type: none"> ・二人一組で協力してスキットを演じたり、自分たちで積極的にスキットを考えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の気持ちを考えながら、発音、強勢、イントネーションに注意して本文を音読することができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・正しい強勢やイントネーションで話すことができる。 ・正しい言い方で持ち主をたずねたり、それに答えたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会話文を読んで、ティナの家の朝の様子を理解することができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・電話での会話から Rumi の状態や家族の気持ちをとらえることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族間の言葉の使い方にマナーがあることを理解している。 ・英文に応じた音の連結やイントネーション、文の強勢を理解している。 <ul style="list-style-type: none"> ・電話での言い方や安心させる言い方を正しく理解している。 ・文の区切り方、イントネーション、強勢を正しく理解している。
	<p>Unit 7 Cheer Up, Tina</p> <p>Language Focus ④ 一般動詞(2)</p> <p>Skit Time 3 落とし物</p>	10 2	<ul style="list-style-type: none"> ・3人称単数現在を使って、友達や家族がすることをたずねたり、説明したりすることができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・主語が3人称単数のときの、一般動詞を使う文の組み立てを理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の気持ちを考え、英語らしい発音を心がけて本文を音読している。 ・ Word Square を参考にしながら、自分の日常生活について積極的に書こうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の気持ちを考え、本文を音読することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・主語が3人称単数のときの肯定文、否定文、疑問文の語順を理解している。 ・動詞の-(e)sの付け方と助動詞 does の使い方を理解している。 <ul style="list-style-type: none"> ・ whose を使った文について、意味、形、使い方を理解している。 ・「～もの」を表す人称代名詞の使い方を理解している。
	<p>Unit 8 Band Practice</p> <p>Sound Focus 2 母音字の読み方と子音字の読</p>	8 2	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞 can を使って、できることやできないことをたずねたり、説明したりすることができる。 ・疑問詞 when を使って「いつですか」とたずねることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の気持ちを考え、みんながミンホを励ましている様子が伝わるように本文を音読している。 ・自分ができると思うことを積極的に発表したり、できるだけ多くの友達にできることを質問したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の気持ちを考え、本文を音読することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バンドの練習中の会話を聞いて、励ます言い方などをとらえるとともに、内容を正しく理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や励ます言い方、賛成や同意を表す言い方を正しく理解している。 ・助動詞 can を使った文の強勢やイントネーション、音の連結などを正しく説明している。

	み方		いを理解し、正しく読んだり聞き取ったりできる。	できる。	じ語を選ぶことができる。	・th,f,v,r,lなどの子音字の読み方を理解している。	
後期取り組みにおける評価の集計 中間まとめの提示【3年】 後期中間まとめの提示【1, 2年】							
1 2	Unit 9 Tina's School Life Language Focus ⑤ 助動詞 can・現在進行形 Go for It! 【2】 大切な人のことを紹介しよう Let's Read What Am I?	8 2 4 2	<ul style="list-style-type: none"> ・現在進行形を使い、今していることをたずねたり、説明したりすることができる。 ・「～してもいいですか」と許可を求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の気持ちを考え、英語らしい発音を心がけて本文を音読している。 ・ブラウン先生の気持ちを想像し、積極的に自分の考えを述べている。 ・現在進行形を用いて、積極的に話している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話の組み立てを考え、「紹介する人が好きなこと」に付け加える情報を3文以上書くことができる。 ・正しい強勢、イントネーション、区切りなどを用いて話すことができる。 ・適切な声の大きさや速さではっきりスピーチすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・球技大会の描写や会話文を読んで内容を正しくとらえることができる。 ・モデルのスピーチを聞いたり読んだりして内容を理解するとともに、スピーチの構成を確かめることができる。 ・文章の内容を正しく理解することができる。 ・文章とイラストからWhat Am I?の答えを当てることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在進行形の文の意味や形、使い方について正しく理解している。 ・助動詞 can を使う文の語順を理解している。 ・現在進行形の文の語順を理解している。 ・助動詞 can や現在進行形を使って紹介文を完成させている。 ・助動詞 can、一般動詞の文、命令文の意味、形、使い方を理解している。
1	Unit 10 Happy New Year	8	<ul style="list-style-type: none"> ・一般動詞の過去形を使い、過去のことをたずねたり、説明したりすることができる。 ・「～はどうですか」という言い方を使って、相手の様子をたずねることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の気持ちを考え、英語らしい発音を心がけて本文を音読している。 ・冬休みにしたことについて、積極的に自分で質問を考えるなどして、友達とたずね合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音の変化やイントネーションに気をつけて、本文を音読することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・待ち合わせをしている場面での会話の内容やメールの内容を正しく理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手を気遣う言い方や驚きを表す言い方を正しく理解している。 ・日本の正月について英語で伝えたり外国の正月について調べたりすることができる。

Language Focus ⑥ 疑問詞	2	<ul style="list-style-type: none"> ・人称代名詞や指示代名詞の意味を理解することができる。 ・疑問詞を使う疑問文の組み立てとその答えを理解することができる。 				<ul style="list-style-type: none"> ・過去を表す文や感嘆文の音の変化やイントネーションを正しく理解している。 ・音の変化や連結について正しく理解している。 ・人称代名詞と指示代名詞の意味や使い方を理解している。
Unit 11 Tina and Japan Language Focus ⑦ 過去形 Go for It! 【3】 ALT 新聞を作ろう インタビュー記事を書く Let's Read The Lion and the Mouse	8 4 4 2	<ul style="list-style-type: none"> ・一般動詞の過去形（不規則変化）を使って、過去の出来事をたずねたり、説明したりすることができる。 ・一般動詞の過去形を使う肯定文、否定文、疑問文の作り方を理解し使うことができる。 ・ALT の先生に、好きなことなどをインタビューして記事を書き、新聞を作ることができる。 ・文章を正しく読み取り、その話にふさわしい格言を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の気持ちを考え、英語らしい発音を心がけて本文を音読している。 ・自分がティナに質問するとしたらどんなことをたずねるか考え、積極的に発表している。 ・Word Square を参考にするなどして、自分がしたことについて多くの文を付け加えて発表している。 ・積極的にたくさんの質問文を考えて質問している。 ・できるだけ詳しい記事を数多く書こうとしている。 ・友達の下書きを読んで積極的にアドバイスしている。 ・割付や文字のデザインなどを工夫して、新聞を仕上げている。 ・ライオンとネズミの気持ちを理解したり、ふさわしい格言を選んだりするために、文章をくり返し読んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音の変化や連結に気をつけて、本文を音読することができる。 ・正しい強勢、イントネーション、区切りなどを用いて話すことができる。 ・ALT の先生に対する質問を2つ以上考えてノートに書くことができる。 ・ALT の先生に質問をすることができる。 ・3文以上の記事を2種類以上書くことができる。 ・正しい英文で記事を書くことができる。 ・正しい強勢、イントネーション、区切りなどを用いて文章を音読することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ティナのインタビューの内容、それに対する他の登場人物の反応を正しく理解することができる。 ・一般動詞の過去形を使う肯定文、否定文、疑問文の仕組みを正しく理解することができる。 ・ALT 新聞を読んで内容を理解し、どのような質問がされたかを考えることができる。 ・ALT の先生の答えを理解してメモを取ることができる。 ・友達の記事の下書きを読んでアドバイスすることができる。 ・文章の概要を理解することができる。 ・文章の詳細を正しく理解することができる。 ・物語にふさわしい格言を選ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・準備ができたかたずねる言い方について正しく理解している。 ・インタビューの進め方を理解している。 ・助数詞の例のように日本語と英語の表現方法には違いがあることを理解している。 ・過去を表す文や感嘆文の音の変化やイントネーションを正しく理解している。 ・例文を参考にするなどして、自分が昨日したことについて多く文を付け加えて発表している。 ・一般動詞の過去形や助動詞 can の意味、形、使い方を理解している。 ・イソップ寓話のおもしろさや英語の格言に興味をもっている。

	<p>評価方法・評価場面</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 授業への取り組み ◎ ノート ◎ スピーキングテスト ○ 発表 ○ プリント ○ 冬休みの課題 ・授業に真面目に参加し、発言なども含め、熱心に取り組んでいる。 ・ノートに着実に取り組み、提出できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 定期テスト ◎ 音読テスト ◎ スピーキングテスト ◎ 発表 ○ 授業への取り組み ○ プリント ○ 小テスト ・基礎知識をもとに自ら考え、表現できる。 ・書きたい内容に応じた語彙や綴りを身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 定期テスト ◎ スピーキングテスト ○ 音読テスト ○ ノート ・基礎知識を確実に身につけている。 ・聞き取った内容について、正しく書き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 定期テスト ◎ 小テスト ・基本的な文構造の知識が身についている。 ・書かれた内容から、外国の生活や文化を知ることができる。
<p>前期・後期取り組みにおける評価の集計 全体まとめの提示</p>					

指導目標		言語感覚を豊かにすることによって、思考力・判断力を高めるようにし、伝え合うことを通して、正確に理解し、表現・伝達する力を大切にします。					
月	章	時数	指導目標	観点別評価基準			
				コミュニケーションへの関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	語や文化についての知識・理解
4 5	Unit 1 Tina's Speech	1 0	●一般動詞や be 動詞の過去形を使って過去のできごとや状況を説明できる	○スピーチの内容を理解し、正しく英文を音読しようとしている。	○一般動詞の過去形を使って正しい言い方で春休みにしたことを友達とたずねあい、会話を続けることができる。	○一般動詞や be 動詞の過去形を使った会話を聞いてないようを正しくとらえることができる。	○話題を切り出す言い方や考えるために間をとるいい方を理解している。
	○過去形を用いて自分らしいスピーチを作成し、発表しようとしている。			○ be 動詞の過去形を使って正しい言い方でたずねあうことができる。	○本文のスピーチや会話の内容を正しく理解することができる。	○多様な文化背景をもつ人々が暮らすニューヨークやそこの英語の役割について考えている。	
6	Unit 2 Nick Helps a Dog	1 0	●自分の考えを伝えることができる ●過去のある時点でしていたことを伝えることができる ●「～したとき・・・」という言い方で物事を説明することができる ●モデル分をもとにまとまりのある文章で日記を書くことができる	○本文を繰り返し読んでニックの心情を理解しようとしている。	○ I think を使って正しい言い方で自分の考えを述べることができる。	○過去進行形を使った会話を聞いて内容を正しくとらえることができる。	○ I think、過去進行形、when 節の意味や形、使い方について正しく理解している。
	○メモをとるなどして話の内容を正しく聞き取ろうとしている。			○登場人物の気持ちを考えて本文を音読（暗唱）することができる。	○本文の会話や日記の内容を正しく理解することができる。	○文のリズムやつながりと区切り方などを理解している。	
6	Writing Plus メールを送ろう	2	●メールの書き方を正しく理解し、メールを自分で作成することができる	○自分らしい内容のメールを作成しようとしている。	○既習の文法事項を用いて、英文を書くことができる。		○メールで使う表現を理解している。
	Unit 3 Plans for the Summer	1 2	●未来を表す表現を使い、予定や未来の事柄を伝えたり、訪ねたりすることができる	○週末や夏の予定を伝える文章を辞書を活用したり、自分で考えるなどして積極的に書き、質問している。	○登場人物の気持ちを考えて本文を音読することができる。	○天気予報を聞いて内容を正しくとらえることができる。	○未来を表す表現の意味や形、使い方について正しく理解している。
6	You Can Do It! 飛行機に乗って	1	●天候などのアナウンスを正しく聞き取ることができる		○自分や友達の予定について未来を表す表現を使って正しく英文でかくことができる。	○本文の会話や手紙の内容を正しく理解することができる。	○ be going to を使って文の強弱のリズムを理解している。
	Unit 4 Taku Gets Lost	1 0	● There is 構文を使って「～に・・・があります」と説明	○ There is 構文や have to を使って自分で質問を考える	○登場人物の気持ちを考えて本文を音読、暗唱することができる	○本文の内容や会話を正しく理解することができる。	○音のつながりや黙示に注意して英文を読んでいる。

7			したり、尋ねたりすることができる	などして友達と積極的に話している。	できる。 ○イラストなどを There is 構文を使って正しく書いたり、それを説明したりすることができる。		○道案内の場面でよく使う言い方を理解している。 ○ There is や have to を使った文の意味や、形、使い方について正しく理解している。
	You Can Do It! 私の町	2	●ニューヨークのセントラル・パークについて学習した上で、自分の町を紹介する文を書くことができる	○2人1組で協力してスキットを演じたり自分たちに積極的にスキットを考えたりしている。	○適切な声の大きさや速さで身振りを交えてスキットを演じることができる。	○自分で下線部を入れ替えたスキットを考え、演じることができる。	○ Will you~? Can I ~? の意味、形、使い方を理解している。
	Skit Time 道案内	1	●英語で道案内をすることができる。	○2人1組で協力してスキットを演じたり自分たちに積極的にスキットを考えたりしている。	○適切な声の大きさや速さで身振りを交えてスキットを演じることができる	○自分で下線部を入れ替えたスキットを考え、演じることができる。	
8							
	Let's Read The Letter	1 0	●文章を読んで内容を正しく理解することができる。 ●友達とは何かということについて考えることができる。		○文の区切りに注意して本文を音読することができる。	○本文の概要をとらえることができる。 ○友だち思いのかえるくんががまくんのためにしてあげたことについて正しくとらえられる。	
9	Unit 5 Aya's Time in Okinawa	1 0	●動名詞、不定詞の名詞的用法、副詞的用法を正しく使って、自分のことを伝えることができる	○石碑をみたアヤの思いについて考えるために本文をくり返し読んでいる。 ○動名詞や不定詞を使って好きなことやしたいことについて積極的にスピーチ原稿を書いている。	○登場人物の気持ちを考えてスピーチらしく本文を音読することができる。	○不定詞を使って会話を気家 t 内容を正しくとらえることができる。 ○会話を聞いて文脈にふさわしい不定詞を使って文を選ぶことができる。	○動名詞。不定詞の意味や形、使い方について正しく理解している。 ○愛さすや話題の導入など、スピーチをするときの表現を理解している。 ○ went to の音の連結などを理解している。
	Skit Time 依頼	1	●依頼する表現と許可を求める言い方を身に付けることができる	○2人1組で協力してスキットを演じたり自分たちに積極的にスキットを考えたりしている。	○適切な声の大きさや速さで身振りを交えてスキットを演じることができる。	○自分で下線部を入れ替えたスキットを考え、演じることができる。	

評価方法・評価場面		◎授業への取り組み ◎発表（関心・意欲・態度） ○QAシートの記入 ○スピーキングテスト ○プリント ○夏休みの課題 ・授業にまじめに参加し、発言・活動に意欲的に取り組んでいる。 ・ノートやプリントに着実に取り組み、提出できる。	◎発表（表現） ◎音読テスト ◎スピーキングテスト ◎定期テスト ○プリント ・基礎知識をもとに自ら考え、適切な英語表現を使って話すことができる。 ・書きたい内容を適切な英語表現を使って正確に書ける。	◎定期テスト ◎スピーキングテスト ◎音読テスト ・既習の文法事項や英文を理解し、必要に応じて使うことができる。	◎定期テスト ◎発表（発音） ◎小テスト ・単語の意味を理解し、使うことができる。 ・基本的な英文構造の知識が身に付いている。	
前期取り組みにおける評価の集計 全体まとめの提示						
前期評価						
Unit 6 A Therapy Dog	1 0	●不定詞の副詞的用法、形容詞的用法を使った説明を理解することができる ● must, mustn't を使ってすべきことやしてはならないことを説明することができる	○登場人物の気持ちを確かめるために本文をくり返し読んでいる。 ○働く犬説明文に続く内容を考え、辞書を活用するなどして文をかいている。	○自分が英語を勉強する理由を考え、不定詞の副詞的用法を使って正しい言い方で友達と会話することができる。 ○標識の意味を must, mustn't をつかって正しく言うことができる。	○不定詞の副詞的用法、形容詞的用法を使った文を読んで会話や内容を正しくとらえることができる。 ○本文の内容を正しく理解し、登場人物の気持ちを考えることができる。 ○盲導犬、介助犬、聴導犬の仕事について正しく理解することができる。	○不定詞の副詞的用法、形容詞的用法 must, mustn't の意や形、使い方について正しく理解している。 ○喜びを表したり、挨拶をしたりする表現を理解している。 ○不定詞を使った文の強弱のリズムなどを理解している。
You Can Do It! 働くイヌたち	1					
1 1 Skit Time レストラン	1	●申し出る言い方やものを勧める言い方を理解し、レストランの注文場面のスキットを演じることができる	○2人一組で協力してスキットを演じたり、自分たちで積極的にスキットを考えたりしている。	○適切な声の大きさとみぶりを交えてスキットを演じることができる。 ○自分で下線部を入れ替えたスキットを考え、演じることができる。		○申し出る言い方やものを勧める言い方の意味や形、使い方を理解している。
Unit 7		●比較の表現を使って物事を比較して説明することができる	○言葉が相手に与える影響について考えるために本文をく	○聞き取った内容に合うように比較級や最上級を使った文	○比較級や最上級を使った会話聞いて内容を正しく	○比較の文の意味や形、使い方について正しく理解し

1 2	You Are the Problem	1 0	る	り返し読んでいる。 ○比較の表現を使って積極的に話したり、文を書いたりしている。	を正しくかくことができる。 ○登場人物の気持ちを考えて本文を音読することができる。	理解することができる。 ○本文の会話や内容を正しくとらえて理解することができる。	ている。 ○英語の慣用句の成り立ちを考えている。 ○ as~as...の文などの強弱のリズムを理解している。
	You Can Do It! 気持ちを伝える	1	●手紙やメールの返事の手書き方が分かる				
	Skit Time 買い物	1	●買い物の場面で使う言い方を理解し、スキットを演じることができる	○2人一組で協力してスキットを演じたり、自分たちで積極的にスキットを考えたりしている。	○適切な声の大きさとみぶりを交えてスキットを演じることができる。 ○自分で下線部を入れ替えたスキットを考え、演じることができる。		
	Unit 8 Christmas Concert	1 0	● more, most を使った比較級、最上級を用いて物事を比較して説明することができる ●「人に～を・・・する」という言い方で出来事を説明することができる	○積極的に登場人物の気持ちを考えて音読しようとしている。 ○ most を使った最上級の文を使って友達に積極的にインタビューをしている。	○登場人物の気持ちを考えて本文を音読することができる。 ○聞き取った内容に合うように more most を使った文を正しく書くことができる。	○ more を使った比較級を用いた会話を聞いて内容を正しくとらえることができる。	○ more, most を使った比較級、最上級 SVOO の文の意味や形、使い方について正しく理解している。 ○謝罪を受け入れたり、相手を気楽にさせたりする言い方を理解している。 ○文の強弱のリズムや音の連結を理解している。
	You Can Do It! 英語でブログ	1	●提示されたトピックについての意見を理由を含めて述べる	○辞書などを活用して意欲的に文章を書くと共に、友達の文章を読んで積極的に自分の考えを述べている。	○モデル文を参考に自分の意見とその理由を適切な表現や語句を使って表すことができる。		

後期取り組みにおける評価の集計 中間まとめの提示

1	World Climate 世界の気候	1	○比較級・最上級を用いて世界の気候を比較することができる				
	職場体験の報告をしよう	3	○自分が行った職場体験につ	○伝えようとする気持ちをも	○正しい英語表現でスピーチ		○正しい英語の発音でスピ

		いて、既習の文法事項を用いてスピーチの原稿を作成し、発表することができる	ってスピーチを行っている。	を行っている。		一チを行っている。
2	Let's Read Living with Robots	8 ●文章を読んで内容は正しく理解することができる ●人間とロボットの未来について興味をもって考えることができる	○自分が好きなロボットをその理由を発表するために本文を繰り返し読んでいます。	○文の区切りに注意して本文を音読することができる	○本文の概要をとらえることができる。 ○ロボットの特徴に着目して本文の詳細を正しくとらえることができる。	○買い物の場面でよく使われる言い方の意味や、形、使い方を理解している。
	Unit 9 Good-bye, Min-ho	10 ●if節を使い、「もし～なら」と条件をつけて自分の考えをいうことができる ●受け身の表現を使って説明したり、その説明を理解したりすることができる	○友達と別れるとき何を言うかを考え、間違いを恐れずに積極的に書いている。	○「もし～なら」という文を正しく言うことができる。 ○受け身の表現を使って正しい言い方で物事をいうことができる。	○受け身の表現を使った説明文を読んで何の説明が正しく理解することができる。 ○本文の内容を正しく理解し、要約文を完成させることができる。	○if節や受け身の表現の意味や形、使い方について正しく理解している。 ○文のイントネーションを理解している。
	Go for It! 「私たちの町」を紹介しよう	3 ●自分たちの町についてAETで紹介する文を書き、発表することができる	○グループで話し合い、効果的な発表ができるように積極的に工夫している。	○役割を分担しないようや構成を考えて町紹介の原稿をかくことができる		
	Skit Time 体調	1 ●体調について述べたりたずねたりする言い方を理解し、スキットを演じることができる	○2人一組で協力してスキットを演じたり、自分たちで積極的にスキットを考えたりしている。	○適切な声の大きさとみぶりを交えてスキットを演じることができる。 ○自分で下線部を入れ替えたスキットを考え、演じることができる。		○体調について述べたりたずねたりするいい方の意味、形、使い方を理解している。
	Let's Read Bamboo Can Do! Your Pain is Our Pain	10 ●話を読んで説明文の内容や登場人物の気持ちを理解することができる ●人々がどのように助け合えるかを深く考えることができる	○自分の感想をまとめるためにくり返し読んでいます。	○内容や登場人物の気持ちを考えながら、音読することができる	○本文を読んで概要をとらえることができる。 ○本文を読んで登場人物の特徴や性格を理解することができる。	○接続詞 as、不定詞、比較表現などの意味、形、使い方を正しく理解している。
			◎授業への取り組み ◎発表 ◎スピーキングテスト	◎発表 ◎音読テスト ◎スピーキングテスト	◎定期テスト ◎スピーキングテスト ◎音読テスト	◎定期テスト ◎小テスト

評価方法・評価場面		○冬休みの課題 ・授業にまじめに参加し、発言・活動に意欲的に取り組んでいる。 ・ノートやプリントに着実に取り組み、提出できる。	◎定期テスト ○プリント ・基礎知識をもとに自ら考え、適切な英語表現を使って話すことができる。 ・書きたい内容を適切な英語表現を使って正確に書ける。	・既習の文法事項や英文を理解し、必要に応じて使うことができる。	・単語の意味を理解し、使うことができる。 ・基本的な英文構造の知識が身に付いている。 ・外国の生活や文化を理解している。
前期・後期取り組みにおける評価の集計 全体まとめの提示					
学年末評価					

●依頼する言い方を理解し、スキットを演じることができる

- 2人1組で協力してスキットを演じたり自分たちに積極的にスキットを考えたりしている。
- 適切な声の大きさや速さで身振りを交えてスキットを演じることができる。
- 自分で下線部を入れ替えたスキットを考え、演じることができる。

指導目標		言語感覚を豊かにすることによって、思考力・判断力を高めるようにし、伝え合うことを通して、正確に理解し、表現・伝達する力を大切にします。					
月	章	時数	指導目標	観点別評価基準			
				関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語・文化に関する知識・理解
4月	Unit 1 Video letter from Min-ho	1 2	●スピーチを聞いて内容を理解したり、ミニスピーチを作ったり発表したりすることができる。 ●未来を表す受け身の表現を使った英文を理解して使うことができる ●「人に～するように言います」という言い方を使ってたずね合うことができる	○自分がビデオレターを作るとしたら、何を伝えたいか考えながら本文をくり返し読んでいます。	○「人に～するように言います」という表現を使って正しい言い方で家で言われることをたずね合うことができる。 ○イントネーションに気を付けて本文を音読することができる。	○「自己紹介・学校紹介」というテーマのスピーチを聞いて内容をとらえることができる。 ○未来を表す受け身の表現を使った会話を聞いて内容を正しくとらえることができる。 ○本文のビデオレターやそれを見たタクたちの会話の内容を正しく理解することができる。	○未来を表す受け身の表現の意味や形、使い方について正しく理解している。 ○「人に～するように言います」という表現の意味や形、使いかたについて正しく理解している。 ○韓国と日本の学校生活の違いなどを調べることに興味を持っている
5月	自己紹介(スピーチ) You Can Do It.	4 1					
6月	Unit 2 How Do They See Japan?	1 2	●継続や完了を表す現在完了を使って説明したり、たずね合ったりすることができる	○本文で読みとった外国の人達の日本に対する意見について感想を述べるためにくり返し本文を読んでいます。	○自分に関係がある人やものについて現在完了(継続)を使って表現することができる。 ○2人1組で現在完了(継続)を使って正しい言い方でお互いのもっている情報をたずね合うことができる。 ○文の強勢に気を付けて本文を音読することができる。	○完了の意味を表す現在完了を使って会話を聞いて内容を正しくとらえることができる。 ○インタビュー記事を読んでその人物の意見を正しく理解することができる。 ○実況中継の場面の音声聞いて内容にあるように絵を並べかえることができる。	○現在完了の意味(継続・完了)や形、使い方について正しく理解している。 ○疑問文やそれに答える文の強勢の置き方を理解している。 ○日本語と英語の発音の違いを理解している。 ○外国の人の話から世界にはさまざまな文化や見方があることに気付き関心をもっている。
	6月	You Can Do It.					
	Unit 3 Our School Trip	1 2	●経験を表す現在完了を使って説明したり、たずね合ったりすることができる。 ●「一が～するのは・・・です」という言い方で自分の考えを述べるすることができる。 ●「人を～させます」という言い方を使って説明したりたずね合ったりすることができる。	○修学旅行新聞の記事で辞書を活用するなどして、自分の経験を積極的に書いて伝えようとしている。	○現在完了(経験)の言い方を使って正しい言い方で経験したことをたずね合うことができる。 ○自分にとって難しいことなど語句を選んで「一が～するのは・・・です。」という文に書き、その理由なども書くことができる。 ○自分を楽しくさせることなどについて「人を～させます」	○経験の意味を表す現在完了を使った会話を聞いて内容を正しくとらえることができる。 ○修学旅行新聞の記事を読んで観点に応じて内容をとらえることができる。 ○会話文やニューズレターの記事を読んで内容を正しく理解することができる。	○現在完了(経験)の意味や形、使い方について正しく理解している ○「一が～するのは・・・です」という文の意味や形、使い方について正しく理解している。 ○「人を～させます」という文の意味や形、使い方について正しく理解している。 ○様子をたずねる言い方や相
	You Can Do It.	1					
	修学旅行新聞を作ろう	4					
	Language Focus ① 現在完了形	2					

7月	YourCoach1		●長い英文を読む。		などの会話をする事ができる。		手を気遣う言い方などを理解している。 ○ It...for...to~.の文なども強弱のリズムを理解している。
8月	Let's Read Treasure Hunt Visas for 6,000 Lives	2 5	●時間の経過に沿って事実を読み取ったりそれぞれの場面の人物の気持ちを読み取ったりすることができる。 ●杉原千畝の行動や考えについて自分の考えをもることができる	○登場人物の気持ちを想像して積極的に発言している ○本文をくり返し読み、杉原千畝の行動や考え方について積極的に考えている。		○時間の経過に沿って事実を読み取ることができる。 ○登場人物のとった行動についてその理由やそのときの気持ちを理解することができる。	
9月	Unit 4 A Guest from Cambodia You Can Do It.	1 2 1	●現在分詞・過去分詞の後置修飾や接触節を使って人やものを説明することができる	○カンボジアの中学生と自分の違う点をとらえるためにくり返し本文を読んでいる。	○絵を見ながら現在分詞の後置修飾を使って正しい言い方で「～している人は誰？」とたずねたり答えたりすることができる。	○過去分詞の後置修飾を使った会話を聞いて内容を正しくとらえることができる。 ○本文の質問と応答を読んで内容を正しく理解することができる。	○現在分詞と過去分詞の後置修飾の意味や形、使い方について正しく理解している。 ○お礼の言い方や「～か、あるいはー」という言い方を理解している。
10月	評価方法・評価場面			◎授業への取り組み ◎スピーキングテスト/リッティングテスト ◎ノート、ジョイフルワーク ◎発表 ○プリント ・授業にまじめに参加し、発言・活動に意欲的に取り組んでいる	◎定期テスト ◎発表・スピーチ ◎スピーキングテスト ◎音読テスト ○プリント ○小テスト ・自分の表現したいことを英語で表し、それを発表することができる	◎定期テスト ◎スピーキングテスト ◎音読テスト ○ノート ・既習の文法事項や英文を理解し、必要に応じて使うことができる	◎定期テスト ◎小テスト ○レポート ・単語の意味を理解し、使うことができる ・題材の背景について興味関心を持って取り組むことができる
前期取り組みにおける評価の集計 全体まとめの提示							
前期の評価							
10月	Unit 5 Dreams for the Future You Can Do It. Language Focus ② 後ろから説明を加える表現 Word Square	1 2 1 2 1	●関係代名詞を使って人やものを説明することができる	○3人の登場人物の将来の夢について自分の感想をまとめるために本文をくり返し読んでいる。 ○活動で辞書を活用するなどしてクイズの問題を積極的に作っている。	○語句を組み合わせて関係代名詞を使った文を作り知る門歯会うことができる。 ○登場人物の気持ちを考えて関係代名詞を使った文を作り、質問しあうことができる。 ○例を参考に関係代名詞などを使ってクイズの問題を作り出題したり答えたりすること	○関係代名詞を使った文の説明や会話を聞き、内容を正しくとらえることができる。 ○本文の会話うあ手紙の内容を正しく理解することができる。 ○関係代名詞を使ったクイズの問題を聞いて内容をと	○関係代名詞 that, who, which の意味や形、使い方について正しく理解している。 ○同意する言い方や確認する言い方、手紙の形式を理解している。 ○関係代名詞を使った文などの強弱のリズムを理解している。

11月	Reading Time The House That Jack Built	1	●リズムを楽しみながら音読することができる	○積極的に音読し、暗唱しようとしている。	○リズムをとって音読することができる。	○house, malt, mouse, cat, dog の関係を理解することができる。	○マザーグースの歌が英国の伝統的な童謡であることを理解している。
	Skit Time 電話	2	●電話での方や依頼する言い方を理解してスキットを演じることができる	○2人1組で積極的にスキットの練習をしたり、協力してスキットの続きを考えたりにしている。	○適切な声の大きさや速さで身振りを交えてスキットを演じることができる。 ○スキットの続きを考えて演じることができる。		○電話での言い方や依頼する言い方の意味、形、使い方を理解している。
12月	Unit 6 Tina's Student News-Net	1 2	●間接疑問文を使った英文を聞いたり読んだりして理解することができる ●「～を…と呼びます」という言い方を使って情報を伝えることができる	○3人の中学生が紹介した取り組みについて意見を述べるために本文を繰り返し読んでいます。	○日本語と英語の違いについて「～を…と呼びます」という言い方を正しく使って友達と情報を交換することができる。	○間接疑問文を使った文の会話を聞き、内容をとらえることができる。 ○3人の中学生の意見をとらえ、整理することができる。	○間接疑問文の意味や使い方について正しく理解している。 ○S+V+O+Cの意味や形、使い方について正しく理解している。 ○列挙するときのイントネーションか強弱のリズム、音の連結日本語と英語の音の違いを理解している
	You Can Do It. Your Coach2	1	●つなぎ言葉を使って英文をまとめる。		○「first,second..」というつなぎ言葉を正しく使って英文をまとめることができる。		
	Let's Have a Debate	5	●立場に応じて自分の意見と理由を述べることができる ●相手の意見を踏まえて反論することができる ●記録をとりながら適切に判定することができる	○トピックについての立場の違った意見を積極的に考えノートにメモしている。	○トピックについて自分の意見を書いたり、相手の意見に反論を書いたりすることができる。 ○自分の意見を理由をつけてのべることができる。	○討論を聞きながら記録をとり、審判として理由を示して判定することができる。	○ディベートと形式を理解している。
Skit time 道案内	2	●道案内でよく使う言い方を理解してスキットを演じることができる	○2人1組で積極的にスキットの練習をしたり、スキットを作ったりしている。	○適切な声の大きさや速さで身振りを交えてスキットを演じることができる。 ○自分たちで行く場所を決めてスキットを作り演じることができる。		○道案内でよく使う言い方を理解している。	
Let's Read Changing the World	6	●スピーチを読んでメッセージを読み取ることができる。	○危機に直面している自然環境や貧富の格差について自分たちはどうすればいいかという視点で考えながら積極的にスピーチを読んで		○スピーチの組み立てをとらえ、メッセージを理解することができる。 ○メッセージに対して自分なりの感想や意見をもつこ		

				いる。		とができる。	
	評価方法・評価場面			◎授業への取り組み ◎スピーキングテスト/リスニングテスト ◎ノート、ジョイフルワーク ◎発表 ○プリント	◎定期テスト/小テスト ◎発表 ◎スピーキングテスト ◎音読テスト ○プリント	◎定期テスト ◎スピーキングテスト ◎音読テスト ○ノート	◎定期テスト ◎小テスト ○レポート
後期取り組みにおける評価の集計 中間まとめの提示							
1月	Unit 7 The Last Concert You Can Do It.	1 0 1	●「人に～してほしい」という言い方の英文を理解して使うことができる ●「～の仕方を・・・する」という言い方の英文を使って友達と会話をしたり発表することができる	○積極的に教科書のストーリーを読み直してタクの手紙の言葉が意味することを考えたり今後の展開を考えたりしている。	○ Do you know how to ~? という言い方を正しく使って友達と会話をし、物知りだと思った人について発表することができる。 ○登場人物の気持ちを考えて音読することができる。 ○中学校生活を振り返りお世話になった人に簡単な感謝の手紙をかくことができる。	○パーティーの準備を頼んでいる会話を聞いてないようを正しく理解したり、ask+人+to do の文を作ったりすることができる。 ○歌のメッセージを理解し、自分なりの感想をもつことができる。	○ want (ask)+人+to do の意味や形、使い方を正しく理解している。 ○ S+V+how など+to の意味や形、使い方を正しく理解している。 ○人を迎えたり、見送ったりする場面で使う言い方を理解している。 ○イントネーション、リズム、区切り、音の連結などを理解している。
2月	Language Focus ③ 文と文をつなぐ言葉	2	●さまざまな接続詞の意味や形、使い方を理解することが				○接続詞の意味や形、使い方を理解している。
	卒業文集を作ろう 心に残ったことを書く Let's Read More No More Landmines The Most Valuable 23 Minutes The Runner Wearing Number67 The Future Is Like the Ocean	5 2 2 2 2	●中学校生活でいちばん心に残っていることについて文章を書くことができる ●時間の経過に沿って事実を読み取ったりそれぞれの場面の人物の気持ちを読み取ったりすることができる。	○辞書などを活用して意欲的に文章を書くとともに友達の文章を読んで意欲的に感想を伝えている。 ○登場人物の気持ちを想像して積極的に発言している	○読み手に伝わるように語句や表現を選択し、文のつながりを考えて文章を書くことができる。	○友達がかいた文章を読んで内容をとらえ、感想をつたえることができる。 ○時間の経過に沿って事実を読み取ることができる。 ○登場人物の行った行動についてその理由やそのときの気持ちを理解することができる。	
	評価方法・評価場面			◎授業への取り組み ◎スピーキングテスト ◎発表 ◎ノート、ワークブック ○プリント	◎定期テスト ◎発表 ◎スピーキングテスト ◎音読テスト ○プリント ○小テスト	◎定期テスト ◎スピーキングテスト ◎音読テスト ○ノート	◎定期テスト ◎小テスト ○レポート
前期・後期取り組みにおける評価の集計 全体まとめの提示							
年度末の評価							

道徳教育全体計画（各教科・領域編 1年）

月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
道徳の時間	A-(4)希望と勇気、克己	A-(3)向上心、個性の伸長	複数内容項目	C-(13)勤労	B-(8)友情、信頼	C-(14)家族愛、家庭生活の充実	C-(10)遵法精神、公德心	B-(6)思いやりの心、感謝	C-(13)勤労	C-(15)よりよい学校生活、集団生活の充実	D-(20)自然愛護
	B-(7)礼儀	B-(9)相互理解、寛容	C-(17)我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	A-(2)節度、節制	D-(19)生命の尊さ	B-(8)友情、信頼	A-(5)真理の探求、創造	B-(6)思いやりの心、感謝	C-(17)我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	C-(18)国際理解、国際親善	C-(17)我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度
	C-(10)遵法精神、公德心	A-(1)自律、自主、自由と責任	C-(12)社会参画、公共の精神		D-(19)生命の尊さ	C-(12)社会参画、公共の精神	C-(11)正義、公正、公平、社会主義			D-(22)よりよく生きる喜び	
			A-(2)節度、節制			D-(22)よりよく生きる喜び	C-(11)正義、公正、公平、社会主義			D-(21)感動、畏敬の念	B-(9)相互理解、寛容
国語	学習内容 野原はうたう	花曇りの向こう	ちょっと立ち止まって	空を見上げて	スピーチをする	大人になれなかった弟たちに	シカの落ち穂拾い	蓬萊の玉の枝	今に生きる言葉	幻の魚は生きていた	少年の日の思い出
	道徳内容 B-6美しい心	A-2強い意志をもって	A-3真理の探究	B-6温かな心	B-9個性の尊重	C-18平和の尊さ	D-20自然への畏敬	C-17日本の伝統と文化	C-18国際理解	D-20自然の保護	D-22人間の弱さと克服する強さ
社会	【地理】 学習内容 第1編(1)世界の姿 (2)世界各地の人々の生活と環境	【歴史】 (序)年代や時代区分の表し方	(1)原始と古代の日本	(2)中世の日本	(3)世界の諸地域	(4)世界のさまざまな地域の調査					
	道徳内容 C-(18) 国際理解・国際貢献	C-(11) 正義、公正、公平、社会主義	C-(18) 国際理解・国際貢献 C-(17)国を愛する態度、我が国の伝統と文化の尊重 C-(11)正義、公正、公平、社会主義	C-(18) 国際理解・国際貢献 C-(10)遵法精神、公德心 C-(13) 勤労 C-(17)国を愛する態度、我が国の伝統と文化の尊重 C-(12)社会参画、公共の精神、社会連帯	C-(10)遵法精神、公德心 C-(18)国際理解・国際貢献	C-(10) 遵法精神、公德心 C-(18) 国際理解・国際貢献					
数	学習内容 正負の数	文字と式	方程式	比例と反比例	平面図形	空間図形	資料の分析と活用				
	道徳内容 A-(2) 基本的生活習慣 A-(5) 真理の追究	A-(5) 真理の追究 B-(9) 個性の尊重	A-(5) 真理の追究 B-(9) 個性の尊重	B-(9) いろいろな見方、考え方	B-(9) いろいろな見方、考え方	A-(5) 真理の追究 B-(9) いろいろな見方、考え方					
理科	学習内容 植物のくらしとなかま ・花のつくりとはたらき ・水や栄養分を運ぶしくみ	・栄養分をつくるしくみ ・植物のなかま分け	光・音・力による現象 ・光による現象 ・音による現象	身のまわりの物質 ・いろいろな物体とその性質 ・いろいろな気体とその性質	・水溶液の性質 ・物質のすがたとその変	活きている地球 ・大地がゆれる ・大地は語る ・大地が火をふく					
	道徳内容 A-(5) 真理の追究、創造 D-(19) 生命の尊さ D-(20) 自然愛護	A-(5) 真理の追究、創造 D-(21) 感動、畏敬の念	A-(5) 真理の追究、創造 D-(21) 感動、畏敬の念	A-(5) 真理の追究、創造 D-(21) 感動、畏敬の念	A-(5) 真理の追究、創造 D-(21) 感動、畏敬の念						
音楽	＜歌唱＞ 学習内容 校歌 エーデルワイス We'll Find the Way	＜器楽＞ (アルトリコーダー) 喜びの歌 かっこう	＜鑑賞＞ 「四季」より“春” 魔王	＜歌唱＞ 合唱コンクールにむけて 各学級の合唱曲	＜鑑賞＞ 日本の民謡と芸能 アジアの音楽と芸能	＜歌唱＞ 朝の風に 飛び出そう未来へ (変声期と合唱形態)	＜器楽＞ (アルトリコーダー) さんぼ道 オーラリー	＜歌唱＞ 赤とんぼ Forever いつか	＜器楽＞ (アルトリコーダー) アニーローリー	＜鑑賞＞ ジョーズのテーマ	
	道徳内容 A-2 希望と勇気 C-15 よりよい校風	A-3 自己の向上 B-9 個性の尊重	D-20 自然への畏敬と愛護 A-5 よりよく生きる	B-6心の感動 B-6感謝 D-20豊かな心 C-15集団生活の向上	C-17 日本の伝統と文化 C-18 国際理解	B-8 男女の信頼 C-15 集団生活の向上	A-3 自己の向上 C-15 集団生活の向上	C-17 日本の伝統と文化 B-6 心の感動	A-3 自己の向上 C-15 集団生活の向上	B-6 心の感動 D-20 豊かな心	
美術	学習内容 色の学習	レタリング 文字絵のデザイン	文字絵のデザイン	文字絵のデザイン 鑑賞会	粘土 鑑賞会	スクラッチ テーマ「自然」	スクラッチ テーマ「自然」 鑑賞会	モダンテクニック	絵画「わたしの手」	絵画「わたしの手」 鑑賞会	
	道徳内容 A-2 基本的生活習慣 A-5 真理の追求	A-3 自己の向上	A-3 自己の向上	A-3 自己の向上 B-9 個性の尊重	A-3 自己の向上 B-6 心の感動	A-3 自己の向上 B-6 心の感動 D-(20) 自然愛護	A-5 真理の追求 B-6 心の感動 D-(20) 自然愛護	A-5 真理の追求 B-6 心の感動	A-5 真理の追求 B-9 個性の尊重	A-5 真理の追求 B-6 心の感動	

月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
保健 体育	学習内容 バレーボール ハンドボール	バレーボール バスケットボール 陸上競技 心身の発達と心の健康	ハンドボール ソフトボール	水泳 スポーツの多様性	水泳 陸上競技 器械運動	陸上競技 器械運動 心身の発達と心の健康	柔道 サッカー 心身の発達と心の健康	ソフトボール 柔道	サッカー バスケットボール 心身の発達と心の健康	サッカー バスケットボール 心身の発達と心の健康	ダンス
	道徳内容 A-2節度と調和 C-15役割と責任	A-2節度と調和 C-10集団の秩序	A-2節度と調和 C-15役割と責任	A-2節度と調和 C-16助け合って	A-2節度と調和 A-2強い意志を持って	A-2節度と調和 A-3個性の伸長	A-2節度と調和 C-17国を愛する心 A-3個性の伸長	A-2節度と調和 C-17国を愛する心	A-2節度と調和 A-3個性の伸長	A-2節度と調和 A-3個性の伸長	A-2節度と調和
技 術	◆オリエンテーション ◆材料と加工に関する技術 ・材料と加工法 ・製作品の設計・製作							◆材料と加工に関する技術 ・材料と加工に関する技術の評価・活用		◆情報に関する技術 ・コンピュータと情報通信ネットワーク	
	C-14家族愛、家庭生活の充実							C-12社会参画、公共の精神、社会連帯		C-10遵法精神、公德心 C-15よりよい学校生活、集団生活の充実	
家 庭	学習内容 ホームエントナ 家庭科の学習について 自立に向けて	◆食生活と自立 ・自分の食生活の振り返り ・栄養素のはたらき ・食品に含まれる栄養素 ・バランスのとれた食生活 ・中学生の栄養の特徴 ・献立作成 ・食品の選択と購入 ・食品添加物と安全性 ・輸入食品 ・郷土(伝統)料理				◆住生活と自立 ・住まいの役割 ・日本の住まいと住まい方 ・生活行為と住空間 ・安全安心な住まい ・健康で快適な室内空間 ・よりよい住空間をめざして			・布を用いた物の製作・・・ 安全や快適な生活を送るために必要な物 住生活に役立つ視点から考えられた物(エコバッグ製作)		
	道徳内容 A-(2)節度、節制 A-(1)自律、自主、自由と責任 A-(5)真理の探求、創造 B-(6)思いやりの心、感謝 C-(12)社会参画、公共の精神、社	A-(2)節度、節制 A-(1)自律、自主、自由と責任 B-(6)思いやりの心、感謝 C-(12)社会参画、公共の精神、社会連帯 C-(11)正義、公正、公平、社会主義 C-(16)郷土を愛する態度、郷土の伝統と文化の尊重 C-(17)我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度 C-(18)国際理解、国際親善 C-(14)家族愛、家庭生活の充実 D-(19)生命の尊さ D-(20)自然愛護				D-(20)自然愛護 C-(10)遵法精神、公德心 C-(17)我が国の伝統と文化の尊重、 国を愛する態度			A-(4)希望と勇気、克己と強い意志 A-(1)自律、自主、自由と責任 A-(3)向上心、個性の伸長 B-(8)友情、信頼 C-(15)よりよい学校生活、集団生活の充実		
外 国 語	学習内容 アルファベット 英語のあいさつ	I am ～. You are ～. 英語であいさつ 自己紹介	He is ～. She is ～.	一般動詞肯定文・ 疑問文・否定文 How many～?	命令文 Who～?の文	疑問詞の使い方 What time～? Which would you like? Where～?	三人称単数現在 電話の掛け方	canの使い方 When～?の文	現在進行形	一般動詞の過去形	
	道徳内容 A-2 基本的な生活習慣 C-18国際理解 B-7礼儀	A-2 基本的な生活習慣 B-7礼儀	B-6思いやり	A-3 自分を深く見つめて	C-17 日本人としての自覚 C-12公德心 C-14家族愛	B-7礼儀 A-3 自分を深く見つめて	B-7礼儀 C-16家族愛	C-15 集団生活の向上	C-15 集団生活の向上 C-18国際理解	C-17 日本の文化と伝統 C-18国際理解	
特 別 活 動	学習内容 中学校に入学して クラスの組織作り クラスの目標	遠足の事前学習 生徒総会に向けて 体育大会の準備	体育大会の準備 芸術祭の準備	体育大会の反省 夏休み前の振り返り 夏休みの過ごし方	芸術祭の準備	前期の反省 後期の目標 後期の組織作り 芸術祭の準備	生徒総会役員選挙に 向けての準備 球技大会の準備	選挙に向けて 冬休み前の振り返り 冬休みの過ごし方	今年の抱負 合唱コンクールにむけて	合唱コンクール準備	合唱コンクール 一年間の振り返り
	道徳内容 A-(2) 節度、節制	C-(15)よりよい学校生活、集団生活の充実 C-(17)我が国の伝統と文化の尊重、 国を愛する態度	A-(2) 節度、節制 A-(3) 向上心、個性の伸長	A-(3) 向上心、個性の伸長 B-(8)友情、信頼	A-(3) 向上心、個性の伸長 C-(15)よりよい学校生活、集団生活の充実	C-(10)遵法精神、公德心 A-(3) 向上心、個性の伸長	C-(10)遵法精神、公德心 A-(3) 向上心、個性の伸長	A-(3) 向上心、個性の伸長 C-(15)よりよい学校生活、集団生活の充実	A-(3) 向上心、個性の伸長 C-(15)よりよい学校生活、集団生活の充実	A-(1)自立、自主、自由と責任 C-(15)よりよい学校生活、集団生活の充実	
総 合 的 な 学 習 の 時 間	学習内容 遠足に向けての取組	遠足の事後学習	キャリア学習への取組	芸術祭に向けての取組			キャリア学習への取組			自然教室に向けての取組	
	道徳内容 A-(4)希望と勇気、克己と強い意志 B-(8)友情、信頼 C-(15)よりよい学校生活、集団生活の充実	A-(3)向上心、個性の伸長 C-(12)社会参画、公共の精神、社会連帯 C-(11)正義、公正、公平、社会主義	A-(3)向上心、個性の伸長 B-(6)思いやりの心、感謝 B-(8)友情、信頼 B-(9)相互理解、寛容 C-(15)よりよい学校生活、集団生活の充実	A-(3)向上心、個性の伸長 B-(6)思いやりの心、感謝 B-(8)友情、信頼 B-(9)相互理解、寛容 C-(15)よりよい学校生活、集団生活の充実			A-(3)向上心、個性の伸長 C-(12)社会参画、公共の精神、社会連帯 C-(11)正義、公正、公平、社会主義 C-(13)勤労			A-(4)希望と勇気、克己と強い意志 B-(8)友情、信頼 C-(15)よりよい学校生活、集団生活の充実	

道徳教育全体計画（各教科・領域編 3年）

月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
道徳 の 時 間	D-(22)よりよく生きる喜び	C-(11)正義、公正、公平	A-(3)向上心、個性の伸長	C-(17)我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	A-(2)節度、節制	D-(21)感動、畏敬の念	A-(4)希望と勇気、克己と強い意志	D-(22)よりよく生きる喜び	D-(20)自然愛護	B-(9)相互理解、寛容	C-(18)国際理解、国際貢献
	B-(7)礼儀	A-(1)自律、自主、自由と責任	B-(6)思いやりの心、感謝	B-(8)友情、信頼	D-(19)生命の尊さ	C-(13)勤労	C-(12)社会参画、公共の精神、社会連帯	C-(11)公平、公正、社会正義	C-(12)社会参画、公共の精神	C-(15)よりよい学校生活、集団生活の充実	C-(13)勤労
	C-(16)郷土を愛する態度、郷土の伝統と文化の尊重	複数内容項目	A-(2)節度、節制		D-(20)生命の尊さ	C-(10)遵法精神、公德心	B-(6)思いやりの心、感謝			A-(5)真理の探求、創造	
国 語	学習内容 春にスピーチ	万葉・古今・新古今 握手	論語 月の起源を探る	和語・漢語・外来語 俳句の可能性 「批評」の言葉をためる	挨拶 奥の細道	新聞の社説を比較し 作られた「物語」を 超えて	話し合って提案をま 批評文を書く	故郷 書き初め	文法 初恋	誰かの代わりに わたしを束ねないで	百人一首 読書
	道徳内容 いろいろなもの見	C-17 日本の伝統と文化 C-18 国際理解・国際平和	C-10 国際理解 B-9 いろいろなもの見	C-17 日本の伝統と文化 B-9 いろいろなもの見	C-18 平和の尊さ C-17 日本の伝統と文化	B-9 いろいろなもの見	B-9 いろいろなもの見	C-15 差別のない社会 C-17 日本の伝統と文化	C-17 日本の伝統と文化	A-3 自分を深く見つめて	C-17 日本の伝統と文化 A-3 自己の向上
社 会	学習内容 【歴史】 (5)二度の世界大戦と日本		(6)現代の日本と世界	【公民】 (1)私たちの生活と現代社会	(2)私たちの生活と政治－日本国憲法の基本原則－ (3)私たちの生活と政治－民主政治と政治参加－		(4)私たちの生活と経済 1消費と経済 2生産と労働 3市場経済と金融 4私たちの生活と財政 5私たちの生活と福祉	(5)私たちと国際社会の諸問題 1 国家と国際社会 2 持続可能な社会をつくるために			
	道徳内容 C-(18)国際理解・国際貢献 D-(19)生命の尊さ		C-(11) 正義、公正、公平、社会主義 C-(18) 国際理解・国際平和	C-(17) 国を愛する態度、郷土の伝統と文化の尊重 C-(18) 国際理解・国際平和	B-(8)友情、信頼 B-(9)相互理解、寛容	C-(12)社会参画、公共の精神、社会連帯 C-(11)正義、公正、公平、社会主義 C-(15) よりよい学校生活、集団生活の向上	C-(10)遵法精神、公德心 C-(13)勤労 C-(14) 家族愛、家庭生活の充実	C-(12)社会参画、公共の精神、社会連帯 C-(15)よりよい学校生活、集団生活の充実 C-(13)勤労	C-(10)遵法精神、公德心 C-(18)国際理解・国際貢献		
数 学	学習内容 多項式の計算 因数分解	平方根 根号を含む式の計算	2次方程式 2次方程式の解の公式 2次方程式の利用	関数 $y = a \times 2$ 相似な図形	平行線と比 相似な図形の面積と体積	円周角 三平方の定理 三平方の定理の応用	標本調査 3年間のまとめ				
	道徳内容		A-(5)真理の追究 D-(22)克服する強さ	A-(3)自己の向上 C-(10)社会の秩序と規律	B-(9)個性の尊重 C-(15)集団生活の向上						
理 科	学習内容 運動とエネルギー ・力のつり合い ・仕事とエネルギー ・多様なエネルギーとその移り変わり ・エネルギー資源とその利用	物体の運動	生命の連続性 ・つながる生命 ・生物の成長とふえ方 ・遺伝の規則性と遺伝子	化学変化とイオン ・水溶液とイオン ・酸・アルカリとイオン	宇宙の中の地球 ・地球とその外側の世界 ・太陽と恒星の動き ・月と金星の動きと見え方	自然と人間 ・自然界のつり合い ・人間と環境 ・自然が人間の生活におよぼす影響	科学技術と人間 ・科学技術の利用と環境保全				
	道徳内容 A-(5)真理の追究、創造 D-(21)感動、畏敬の念		A-(5)真理の追究、創造 D-(19)生命の尊さ D-(20)自然愛護	A-(5)真理の追究、創造 D-(21)感動、畏敬の念	A-(5)真理の追究、創造 D-(21)感動、畏敬の念	A-(5)真理の追究、創造 D-(19)生命の尊さ D-(20)自然愛護					
音 楽	学習内容 <歌唱> 花 帰れソレントへ 風の中の青春	<器楽> (アルトリコーダー) 1・2年生の復習 威風堂々	<鑑賞> 雅楽「越天楽」 能「羽衣」から	<鑑賞> 「ブルタバ」から	<歌唱> 合唱コンクールにむけて 各学級の合唱曲	<器楽> (アルトリコーダー) ユダス・マカベウス ふるさと など	<鑑賞> 世界の諸民族の音楽	<歌唱> きみとともに 花の街 早春賦	<器楽> (アルトリコーダー) 木かげの思い出	<歌唱> いつまでも 卒業式に向けて 合唱のまとめ	
	道徳内容 A-1 希望と勇気 C-15 集団生活の向上	A-3 自己の向上 B-9 個性の尊重	C-17 日本の伝統と文化 C-18 優れた伝統の継承	B-6 心の感動 C-18 優れた伝統の継承	B-6心の感動 B-6感謝 D-20豊かな心 C-15集団生活の向上	A-3 自己の向上 C-15 集団生活の向上	B-9 個性の尊重 B-6 心の感動	C-17 日本の伝統と文化 A-5 よりよく生きる	A-3 自己の向上 C-15 集団生活の向上	B-6心の感動 B-6感謝 D-20豊かな心 C-15集団生活の向上	
美 術	学習内容 仏像の鑑賞	伝統工芸品について 工芸の魅力	木彫ウェルカムボ 鑑賞会	木彫ウェルカムボ 鑑賞会	木彫ウェルカムボ 鑑賞会	自分を見つめ表現す 「私との対話」	自分を見つめ表現す 「私との対話」	自分を見つめ表現す 「私との対話」 鑑賞会	感謝の気持ちを表す メッセージカード制	感謝の気持ちを表す メッセージカード制	感謝の気持ちを表す メッセージカード制
	道徳内容 C-17 日本の伝統と文化 C-18 優れた伝統の継承	C-17 日本の伝統と文化 C-18 優れた伝統の継承	A-(5) 真理の探求、創造	A-(5) 真理の探求、創造	A-(5) 真理の探求、創造	A-3 自分を深く見つめて A-3自己の向上	A-3 自分を深く見つめて A-3自己の向上	A-3 自分を深く見つめて A-3自己の向上 B-9個性の尊重	B-6感謝 B-6心の感動	B-6感謝 B-6心の感動	B-6感謝 B-6心の感動

月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
保健 体育	学習内容 バスケットボール サッカー 新体力テスト	体づくり運動 健康な生活と病気の予防	バレーボール ハンドボール	水泳 器械運動 陸上競技 健康な生活と病気の予防	水泳 器械運動 陸上競技 文化としてのスポーツ	柔道 ダンス 健康な生活と病気の予防	柔道 ダンス 健康な生活と病気の予防	バドミントン・卓球 ソフトボール	バドミントン・卓球 ソフトボール	バドミントン・卓球 ソフトボール		
	道徳内容 A-2望ましい生活習慣 C-15集団の一員としての自覚	A-2望ましい生活習慣 C-15集団の一員としての自覚 A-3充実した生き方	A-2望ましい生活習慣	A-2望ましい生活習慣 A-3充実した生き方	A-2望ましい生活習慣 C-13社会への奉仕	A-2望ましい生活習慣 C-17日本の美 D-19かけがえのない命	A-2望ましい生活習慣 C-17日本の美 C-11理想社会の実現	A-2望ましい生活習慣 C-17日本の美	A-2望ましい生活習慣 C-17日本の美	A-2望ましい生活習慣	A-2望ましい生活習慣	
技 術	◆生物育成に関する技術 ・生物を育てる技術の特徴 ・生物を育てるための計画と管理 ・生物育成に関する技術の評価・活用				◆情報に関する技術 ・プログラムによる計測・制御				◆情報に関する技術 ・情報に関する技術の評価・活用			
	C-14家族愛、家庭生活の充実 D-20自然愛護 D-21感動、畏敬の念				A-5真理の探究、創造				C-12社会参画、公共の精神			
家 庭	◆身近な消費生活と環境 ・契約について ・販売方法と購入方法 ・消費者トラブルの事例と被害にあわないための工夫 ・商品の表示とマークの意味 ・消費者が環境に与える影響 ・循環型社会がめざした生活の工夫 ・持続可能な社会を考える				◆衣生活と自立 ・布を用いた物の製作 ・安全や快適な生活を送るために必要な物 住生活に役立つ視点から考えられた物(エコバッグ製作)				◆家族・家庭と自分の成長 ・生命誕生：家族への感謝 ・働くということ			
	A-(2)節度、節制 A-(1)自律、自主、自由と責任 C-(10)遵法精神、公德心 C-(15)よりよい学校生活、集団生活の充実				A-(4)希望と勇気、克己と強い意志 D-(20)自然愛護 C-(18)国際理解、国際親善 C-12社会参画、公共の精神、社会連帯				A-(1)自律、自主、自由と責任 B-(8)友情、信頼 A-(4)希望と勇気、克己と強い意志 B-(6)思いやりの心、感謝 C-(14)家族愛、家庭生活の充実 C-12社会参画、公共の精神 C-(13)勤労			
外 国 語	学習内容 未来形受動態 tell 人 toへの表現	現在完了形 (継続・完了)	現在完了 (経験)	Visas for 6000lives It~ for~ toの表現 make 人 toの表現	現在過去分詞で名詞 を説明する表現	関係代名詞	間接疑問文 callの表現 I'm sure・I'm afraid	want人toの表現 疑問詞+toの表現	Changing the World No More Landmines	学習のまとめ		
	道徳内容 B-8真の友情 C-18国際理解	C-18国際理解 C-18 世界の中の日本人	C-18国際理解 C-17 日本の伝統と文化	C-18国際理解 C-15差別のない社会 日本の伝統と文化 C-18世界の中の日本人	C-18国際理解 C-18平和の尊さ	A-3 自分を深く見つめて A-3個性の伸長 A-2強い意志	C-18国際理解 C-13 社会への奉仕 4-(10)人類の幸福	C-15 集団生活の向上 B-8真の友情	C-18国際理解 B-6感謝の心 A-1自律・責任	C-18国際理解		
特 別 活 動	学習内容 3年生になって 学級組織作り 学年目標 修学旅行事前学習	修学旅行事前学習 生徒総会に向けて	修学旅行事前学習 体育大会の準備	体育大会の反省 芸術祭へ向けての学習	芸術祭へ向けての学習	芸術祭へ向けての学習	進路学習	進路学習	進路学習	進路学習 合唱コンクール準備	卒業に向けて 合唱コンクール	
	道徳内容 C-(15)よりよい学校生活、 集団生活の充実 C-(17)国を愛する態度、 我が国の伝統と文化の尊重	C-(17) 国を愛する態度、 我が国の伝統と文化の尊重	C-(15) よりよい学校生活、 集団生活の充実	A-(3) 向上心、個性の伸長 B-(8) 友情、信頼	A-(3) 向上心、個性の伸長			A-(3) 向上心、個性の伸長			A-(3) 向上心、個性の伸長 B-(8) 友情、信頼	A-(3) 向上心、個性の伸長 B-(8) 友情、信頼
総 合 的 な 学 習 の 時 間	学習内容 修学旅行に向けての取組		キャリア学習の取組 修学旅行の事後学習			芸術祭へ向けての取組			キャリア学習の取組			
	道徳内容 C-(17) 国を愛する態度、 我が国の伝統と文化の尊重	C-(17) 国を愛する態度、 我が国の伝統と文化の尊重 c-(13)勤労	C-(17) 国を愛する態度、 我が国の伝統と文化の尊重	A-(3) 向上心、個性の伸長 B-(8) 友情、信頼	A-(3) 向上心、個性の伸長 B-(8) 友情、信頼	A-(3) 向上心、個性の伸長 B-(8) 友情、信頼						

道徳教育全体計画(各教科・領域編 2年)

月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
道徳の時間	B-(7)礼儀	C-(11)正義、公正、公平、社会主義	B-(8)友情、信頼	A-(3)向上心、個性の伸長	C-(10)遵法精神、公德心	B-(9)相互理解、寛容	C-(13)勤労	D-(21)感動、畏敬の念	D-(22)よりよく生きる喜び	D-(19)生命の尊さ	C-(14)家族愛、家庭生活の充実
	A-(2)節度、節制	A-(1)自律、自主、自由と責任	A-(4)希望と勇気、克己と強い意志	C-(16)郷土を愛する態度、郷土の伝統と文化の尊重	C-(10)遵法精神、公德心	D-(22)よりよく生きる喜び	C-(18)国際理解、国際親善	D-(22)よりよく生きる喜び	C-(17)我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	D-(19)生命の尊さ	D-(20)自然愛護
	C-(12)社会参画、公共の精神	複数内容項目	B-(9)相互理解、寛容	C-(17)我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	C-(17)我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	B-(8)友情、信頼	A-(5)真理の探求、創造	A-(5)真理の探求、創造	D-(21)感動、畏敬の念	D-(19)生命の尊さ	
			C-(11)正義、公正、公平、社会主義		A-(2)節度、節制	C-(13)勤労	C-(12)社会参画、公共の精神、社会連帯			B-(6)思いやりの心、感謝	
国語	習内容 アイスプラネット	メディアと上手に付き合う 枕草子	新しい短歌のために 短歌を味わう	扇的	漢詩の風景 字のない葉書	モアイは語る 盆土産	敬語 同じ音訓をもつ漢字	話し合って考えを広げよう 根拠を明確にして意見	百人一首 小さな町のラジオ発	表現の仕方を工夫しよう 方言と共通語	本の世界を広げよう 助詞
	道徳内容 B-6 心の感動 D-20 自然愛	A-5 よりよく生きる C-17 日本の伝統と文化	A-3 自己の向上 C-17 日本の伝統と文化	C-17 日本の伝統と文化	C-17 日本の伝統と文化 C-12 公德心	D-20 自然愛 B-6 心の感動	A-3 自己の向上 C-17 日本の伝統と文化	B-8 友情の尊さ A-3 自己の向上	C-17 日本の伝統と文化 A-5 よりよく生きる	C-17 日本の伝統と文化 C-15 集団生活の向上	C-18 国際理解・平和 C-17 日本の伝統と文化
社会	学習内容 【地理】 第1章 日本の姿		【地理】 第2章 世界と比べた日本の地域的特徴		【地理】 第3章 日本の諸地域		【歴史】 第3章 近世の日本の発展と世界の動き		【歴史】 第4章 近代の日本と世界		
	道徳内容 C-17 日本の伝統と文化 C-18 国際理解・平和		C-17 日本の伝統と文化 C-18 国際理解・平和		C-17 日本の伝統と文化 C-18 国際理解・平和		C-10 社会の秩序 C-18 国際理解・平和		C-18 国際理解・平和 D-19 生命の尊重		
数学	学習内容 式の計算	連立方程式	1次関数	平行と合同	三角形と四角形	確率					
	道徳内容 A-5真理の追究	A-5真理の追究 B-9個性の尊重	B-9 いろいろな見方、考え方	A-5真理の追究 B-9いろいろな見方、考え方	A-5真理の追究 B-9いろいろな見方、考え方	A-5真理の追究 B-9いろいろな見方、考え方					
理科	学習内容 電流の性質とその利用 ・電気の性質 ・電流の正体 ・電流と磁界	動物の生活と生物の進化 ・生物の体と細胞 ・生命を維持するはたらき ・感覚と運動のしくみ	動物のなかま ・動物の移り変わり と進化	化学変化と原子・分子 ・物質の成り立ち ・物質を表す記号 ・さまざまな化学変化	化学変化と物質の質量	地球の大気と天気					
	道徳内容 A-5真理の追究 D-20自然への畏敬	A-5真理の追究 D-19生命の尊重 D-20自然への畏敬と愛護	A-5真理の追究 D-19生命の尊重 D-20自然への畏敬と愛護	A-5真理の追究 D-20自然への畏敬	A-5真理の追究	A-5真理の追究					
音楽	学習内容 <歌唱> 夏の日の贈り物 夏の思い出	<器楽> (アルトリコーダー) 虹の彼方に	<鑑賞> 「勸進帳」 小フーガ短調	<歌唱> 合唱コンクールにむけて 各学級の合唱曲	<鑑賞> 交響曲第5番ハ短調 「アイーダ」から	<歌唱> メッセージ サンタルチア Kum ba yah	<器楽> (アルトリコーダー) われは海の子	<鑑賞> 世界の諸民族の音楽	<歌唱> 荒城の月 花の季節 ふるさと	<器楽> (アルトリコーダー) きらきら星	
	道徳内容 C-17 日本の伝統と文化 C-18 国際理解	A-3 自己の向上 B-9 個性の尊重	C-17 日本の伝統と文化 C-18 優れた伝統の継承	B-6心の感動 B-6感謝 D-20豊かな心 C-15集団生活の向上	B-6 心の感動 C-18 優れた伝統の継承	B-8 男女の信頼 C-15 集団生活の向上	A-3 自己の向上 C-15 集団生活の向上	B-6 心の感動 C-18 優れた伝統の継承	C-17 日本の伝統と文化 A-5 よりよく生きる	A-3 自己の向上 C-15 集団生活の向上	
美術	学習内容 環境デザインについて 色の学習	ピクトグラムデザイン	ピクトグラムデザイン	ピクトグラム鑑賞会	石彫	石彫鑑賞会	水墨画の魅力 「私の山水画」	水墨画の魅力 「私の山水画」	水墨画の魅力 「私の山水画」	水墨画の魅力 「私の山水画」	「私の山水画」鑑賞会
	道徳内容 B-6思いやり A-5真理の追究	B-6思いやり A-(5)真理の探求、創造	B-6思いやり A-(5)真理の探求、創造	A-3自己の向上 B-6心の感動	A-3自己の向上 B-6心の感動	A-3自己の向上 B-6心の感動 B-9個性の尊重	A-3自己の向上 B-6心の感動 B-9個性の尊重	D-(20)自然愛護 C-17日本の伝統と文化	D-(20)自然愛護 C-17日本の伝統と文化 B-6心の感動	D-(20)自然愛護 C-17日本の伝統と文化 B-6心の感動	D-(20)自然愛護 B-6心の感動

月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
保健体育	学習内容 新体力テスト バレーボール ハンドボール	陸上競技 傷害の防止	ハンドボール バレーボール	水泳	水泳 陸上競技 器械運動	陸上競技 器械運動	柔道 サッカー 傷害の防止	ソフトボール 柔道 健康な生活と病気の予防	サッカー バスケットボール 健康な生活と病気の予防	バスケットボール ソフトボール	ダンス
	道徳内容 A-2 基本的生活習慣 C-15 集団生活の向上	C-10ルールを守る A-2 基本的生活習慣 D-19生命の尊重	A-2 基本的生活習慣 C-10ルールを守る	A-2 基本的生活習慣	A-2 基本的生活習慣	A-2 基本的生活習慣	A-2 基本的生活習慣 C-10ルールを守る D-19生命の尊重	A-2 基本的生活習慣 C-10ルールを守る	A-2 基本的生活習慣 C-10ルールを守る B-7礼儀の意義	A-2 基本的生活習慣 C-10ルールを守る B-7礼儀の意義	A-2 基本的生活習慣 C-10ルールを守る
技術	学習内容 ◆エネルギー変換に関する技術 ・エネルギーの変換と利用 ・製作品の設計・製作						◆エネルギー変換に関する技術 ・エネルギー変換に関する技術の評価・			◆情報に関する技術 ・コンピュータと情報通信ネットワーク ・デジタル作品の設計・製作	
	道徳内容 A-2節度、節制 C-14家族愛、家庭生活の充実						C-12社会参画、公共の精神、社会連帯			C-10遵法精神、公德心	
家庭	学習内容 ◆住生活と自立 ・住まいの役割 ・日本の住まいと住まい方 ・快適な室内空間 ・家庭内事故 ・住まいの災害対策 ・よりよい住空間をめざして		◆住生活と自立 ・布を用いた物の製作・・・住生活に役立つ視点から考えらる (エプロン製作)			◆食生活と自立 ・日常食の調理(肉・魚) ・調理用具の適切な取り扱い ・食品の調理上の性質を知る ・環境に配慮した実習			◆身近な消費生活と環境 ・契約について ・販売方法と購入方法 ・消費者トラブルの事例と被害にあわないための工夫 ・商品の表示とマークの意味 ・マーク集め ・持続可能な社会を考える		
	道徳内容 D-(20)自然愛護 C-(10)遵法精神、公德心 C-(17)我が国の伝統と文化の尊重、 国を愛する態度		A-(4)希望と勇気、克己と強い意志 A-(1)自律、自主、自由と責任 A-(3)向上心、個性の伸長 B-(8)友情、信頼 C-(15)よりよい学校生活、集団生活の充実			A-(1)自律、自主、自由と責任 B-(8)友情信頼 D-(20)自然愛護 C-(15)よりよい学校生活、集団生活の充実 C-(16)郷土を愛する態度、 郷土の伝統と文化の尊重			A-(2)節度、節制 A-(4)希望と勇気、克己と強い意志 A-(1)自律、自主、自由と責任 D-(20)自然愛護 C-(10)遵法精神、公德心 C-(15)よりよい学校生活、集団生活の充実 C-12社会参画、公共の精神、社会連帯		
外国語	学習内容 Tina's Speech 過去形 Be動詞の過去形	Nick Helps a Dog I think～の用法 過去進行形 when「～したとき」	Plans for the Summer 未来形willの用法 be going to	Taku Gets Lost There is～の文 have to～の文	Aya's Time in Okinawa 動名詞 不定詞 becauseの使い方	A Therapy Dog 不定詞 mustの文	You Are the Problem 比較級、最上級	Christmas Concert 比較級、最上級 giveの文 lookの文	Goodbye, Min-ho 受動態 Ifの文	Bamboo Can Do! と Your Pain is Our Pain 長文読解	
	道徳内容 C-18 国際的視野	B-6思いやり	D-20 自然愛護	B-9 個性の尊重	A-2 希望と勇気	B-9 個性の尊重	D-20 自然愛護	C-18 世界平和		B-6 思いやりの心	
特別活動	学習内容 二年生になって 学級組織作り 学年目標 自然教室の準備	学ぶことの意義 自然教室の準備と反 生徒総会に向けて	芸術祭の準備 体育大会の準備	芸術祭の準備 体育大会の反省 夏休み前までを振 り返って	芸術祭の準備	後期の目標 後期の学級組織 芸術祭の準備と反省	生徒会役員選挙に 向けて 進路について (神奈川方式の説 明)	冬休み前を振り返 って	今年の抱負	合唱コンクール準備	合唱コンクール 1年間を振り返って
	道徳内容 A-2 望ましい生活習慣 C-15 学級や学校の一員 として	A-1 自律の精神 B-6 思いやりの心 B-8 友情の尊さ	C-15 集団生活の向上	A-2 心身の健康 A-3 自己の向上 C-15 役割と責任	B-8 高め合う心	A-2 望ましい生活習慣 A-3 自己の向上 C-15 役割と責任	A-5 自己の人生 B-9 個性の尊重 C-15 より良い校風	A-2 心身の健康 A-2 強い意志 A-3 充実した行き方		B-8 友情・協力 B-8 男女の理解	A-3 充実した生き方 C-15 集団生活の向上
総合的な学習の時間	学習内容 自然教室に向けての取組		キャリア学習の取組 自然教室の事後学習		芸術祭へ向けての取組		キャリア学習の取組		修学旅行に向けての取組		
	道徳内容 D-20 自然愛護 A-3 自己の向上 C-15 役割と責任		C-13 勤労の尊さ		A-3 個性の伸長 B-8 友情・協力 A-3 自己の向上		C-15 役割と責任 C-13 勤労の尊さ		C-13 勤労の尊さ B-7 適切な言動		C-13勤労の尊さ B-7適切な言動 A-3 自己の向上 C-17 優れた伝統の継承 日本の伝統と文化

特活指導部年間指導計画

月	生徒会本部	学級指導			進路指導		
		1年	2年	3年	1年	2年	3年
4	入学式参加 離任式・対面式 新入生オリエンテーション 前期認証式 学級・専門委員会 中央委員会	入学式 自己紹介 学年集会 学級目標 学級組織作り 新入生オリエンテーション 遠足準備	自己紹介 学年集会 学級目標 学級組織作り 自然教室準備	自己紹介 学年集会 学級目標 学級組織作り 修学旅行準備	友人の良さ・ 自分の良さを 考える	自分の将来を 考える	進路計画の 具体化
5	生徒総会準備 学級・専門委員会	体育大会準備 遠足準備 遠足実施・反省 生徒総会準備 体育大会実施	体育大会準備 自然教室実施・反省 生徒総会準備 体育大会実施	体育大会準備 修学旅行実施・反省 生徒総会準備 体育大会実施			(進路希望調査)
6	生徒総会準備 生徒総会実施・反省 学級・専門委員会 中央委員会	保健指導 生徒総会準備 生徒総会実施 中間テストに向けて	保健指導 生徒総会準備 生徒総会実施 中間テストに向けて	保健指導 生徒総会準備 生徒総会実施 中間テストに向けて			第1回進路説明会
7	学級・専門委員会 中央委員会 「しなの森のさと」訪問	芸術祭準備 夏休みの計画 期末テストに向けて 学年集会	芸術祭準備 夏休みの計画 期末テストに向けて 学年集会	芸術祭準備 夏休みの計画 期末テストに向けて 学年集会	自分を振り返る	自分を振り返る	自分を振り返る 進路選択に向けて
8		夏休みの反省 防災訓練 芸術祭準備 期末テストに向けて	夏休みの反省 防災訓練 芸術祭準備 期末テストに向けて	夏休みの反省 防災訓練 芸術祭準備 期末テストに向けて			高等学校説明 会参加
9	学級・専門委員会 中央委員会	期末テストに向けて 芸術祭準備 後期組織作り	期末テストに向けて 芸術祭準備 後期組織作り	期末テストに向けて 芸術祭準備 後期組織作り			(進路希望調査)
10	学級・専門委員会 中央委員会 後期認証式	前期反省 後期組織作り 芸術祭準備 芸術祭実施・反省	前期反省 後期組織作り 芸術祭準備 芸術祭実施・反省	前期反省 後期組織作り 芸術祭準備 芸術祭実施・反省		職場体験準備	第2回進路説明会 (進路希望調査)
11	選挙管理委員会 役員引き継ぎ準備 学級・専門委員会 中央委員会	中間テストに向けて 役員選挙について 球技大会準備	中間テストに向けて 役員選挙について 球技大会準備	中間テストに向けて 役員選挙について 球技大会準備		職場体験実施 ・反省	(進路希望調査) 進学・就職の準備
12	選挙管理委員会 新役員選挙 学級・専門委員会 中央委員会 新旧役員引き継ぎ 本部新組織作り	新役員選挙 球技大会準備 球技大会実施 学年集会 冬休みの計画	新役員選挙 球技大会準備 球技大会実施 学年集会 冬休みの計画	新役員選挙 学年集会 冬休みの計画 進路決定に向けて	自分を振り返る	自分を振り返る	進路決定に向けて
1	新役員認証式 お別れ会準備 学級・専門委員会 中央委員会 名中探検準備	冬休みの反省 百人一首大会 自然教室準備	冬休みの反省 百人一首大会 修学旅行準備	冬休みの反省 学年末テストに向けて	「社会に出る」 ことについて 考える	上級学校を知る	入試の心構え
2	名中探検準備・実施 お別れ会準備 学級・専門委員会 中央委員会	自然教室準備 学年末テストに向けて お別れ会準備	修学旅行準備 学年末テストに向けて お別れ会準備	卒業期特別日課 3年間のまとめ 球技大会準備 球技大会実施		2年進路説明会	自分を振り返る
3	お別れ会実施・反省 学級・専門委員会 中央委員会 卒業式参加 次年度各行事準備 離任式準備	お別れ会 卒業式参加 1年間の反省 学級のまとめ 学年集会	お別れ会 卒業式参加 2年間の反省 学級のまとめ 学年集会	球技大会準備 球技大会実施 卒業期特別日課 卒業式	自分を振り返る	自分を振り返る	将来に備えて

横浜市立名瀬中学校「総合的な学習の時間」(横浜の時間)全体計画

第1の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。
- 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

横浜市立名瀬中学校の教育目標

- 互いを認め、高め合う学びを大切にします。【知】
- 自他の生命を尊重し、思いやり心を大切にします。【徳・体】
- 自らの生き方を考え、実践する力を大切にします。【公・開】

《具体的な目標》

- 知 学習意欲の向上と基礎・基本の定着を図るため、自らが興味・関心を持ち、学ぶことの大切さや喜びを感じながら、あきらめないねば強い子どもを育てます。
- 徳 気持ちよく進んであいさつができ、互いの立場を尊重し、思いやりや個性を認めるとともに、その中で自分らしさを伸ばそうとする子どもを育てます。
- 体 生命を大切に自ら心と身体を健やかに育み基本的な生活習慣を身につけるとともに、安全・安心・安定した健康づくりに努める子どもを育てます。
- 公 横浜を見つめ、かかわり、そして地域の人から知識・技能を学ぶとともに「まち」を愛し「まち」とともに歩む子どもを育てます。
- 開 日本の伝統や文化を大切にするとともに、世界の国々にも関心を持ち、異文化を尊重し進んで社会のために貢献しようとする子どもを育てます。

横浜市立名瀬中学校「総合的な学習の時間」の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、学ぶ過程を大切にしながら、地域社会と関わり他者と学び合う学習を通して、自らの生き方を考え実践していく力を育成することを目指す。

- 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにします。
- 地域や実生活の中から興味・関心のある課題を見だし、解決のための見通しをもって、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにします。その過程で、学ぶことの大切さや喜びを感じながら、あきらめないねば強さを育てます。
- 課題のよりよい解決を目指し、探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの立場を尊重し思いやりと個性を認め、積極的に社会に参画しようとする態度を養うようにします。

横浜市立名瀬中学校の「総合的な学習の時間」の内容

学年	目標を実現するにふさわしい探究課題	探究課題の解決を通して育成する具体的な資質・能力		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性
1	職業の選択と社会への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ○世の中には様々な職業が存在するということを知る。 ○自分の適性に合った職業を選択するとよいということを知る。 ○働く人は、自分の職業に責任と誇りを持ちながら社会に貢献しているということを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な人の職業や自分が就きたい職業について調べ、具体的な仕事の内容や、その職業に就くための方法を知り、働くイメージを持てるようになる。(情報の収集) ○働いている人が自分の職業に対して持っている思いや願い、苦労についてインタビューする。(情報の収集) ○知り得た情報を整理し、自分に適性があるかどうかを考えながらまとめる。(整理・分析) ○自分が調べた職業について仲間に紹介する。(まとめ・表現) 	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な職業に対して興味を持てるようになる。 ○働くことで社会貢献をしている人に対し、敬意を持てるようになる。 ○将来的に、自分自身も勤労を通じて社会貢献をしようと考えられるようになる。
	仲間との交流・親睦・協力の喜び	<ul style="list-style-type: none"> ○仲間との活動を成功させる ○集団で活動するときのマナーやルールについて知る。 ○緊急時の対応について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○仲間との交流・親睦・協力に主眼を置いた遠足の目標を設定する。【課題の設定】 ○各教科の学びを生かし、話し合いなど適切な手段で、仲間の意向・長所などの情報を収集する。【情報の収集】 ○目標を達成するために必要な約束が守れたかを振り返るとともに、仲間の長所を整理、分析する。【整理・分析】 ○自分の体験をもとに、遠足で得たことを効果的かつ適切な手段で表現し、学習や生活に生かそうとする。【まとめ・表現】 	<ul style="list-style-type: none"> ○中学生としてのマナーや自覚が持てるようになる。 ○自分たちで決めた目標やルールを守ろうとする意識が高まる。 ○生徒同士の交流を深め、お互いの特徴や良さを知り、学級・学年の和を広げられるようになる。
	文化的な活動の意義と協力の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ○文化的な活動の意義について知る。 ○学校図書やインターネット等を利用して発表する内容や表現技法について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分が表現したいことが何なのかを明確にし、失敗を怖れずに表現しようとする。(課題設定) 	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に準備に携わろうとする姿勢を持てるようになる。 ○他者の発表を見て自らの新たな課題に気づく姿勢を持つ。
2	働くことの意味や働く人の夢や願い	<ul style="list-style-type: none"> ○働くことで、社会に貢献したり、自己有用感を得たり、収入を得たりするなど、働くことには意味や目的があることを知る。 ○働く人には、職業に対する思いや願いがあり、その実現に向けて、夢や誇りをもって努力を続けていることを知る。 ○働くことには、喜びとともに、厳しさを伴うものであり、仲間と協働して、厳しい状況乗り越えたり、よりよいものを創り出したりしていることに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○実際の職場体験での職業や関わる人を想定し、「働くこと」や「勤労」について課題を持ち、解決への見通しや手順を明確にする。(課題設定) ○課題解決や職場体験当日に必要な情報を、適切な手段を選択して収集したり、職場体験を通して、目的に合った情報を収集したりする。(情報収集) ○得た情報を、比較したり関連付けたりしながら、目的に沿って整理分析することによって、課題を解決するとともに、勤労について自己の考えを形成する。(整理・分析) ○勤労についての意見や考えをまとめ、体験を考え重ねて根拠を明確に表現する。(まとめ・表現) 	<ul style="list-style-type: none"> ○職場体験に関わる探究的な活動を通して、進んで実社会の問題や課題と向き合ったり、解決しようとする。 ○職場体験に向けた活動や職場体験当日の活動について、体験先の方や仲間の思いや意見を受け止め、協力しながら探究的に学ぼうとする。 ○職場体験先の方との関わりや、異なる職場体験をした仲間との意見交流などを通して、他者の考えや異なる意見を受け入れて尊重しようとする。

各教科等で育成する資質・能力

2	自然の美しさや偉大さと自然保護の大切さ	<ul style="list-style-type: none"> ○自然教室で訪れる南房総の自然について、横浜との違いを知る。 ○地域によって自然環境と人との関わりは異なっていることがわかる。 ○地域の生活は自然環境に基づいて行われ、自然を生かして生活することが環境を保全する動きにつながることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自然教室で訪れる南房総の環境について、横浜との違いに着目し、豊かな自然に密着した課題を設定する。【課題の設定】 ○各教科での学びを生かし、地域における体験など適切な手段で情報を収集する。【情報の収集】 ○豊かな自然の様子や、それを生かし、守る人々の生活について、比較、整理、関係性を分析する。【整理・分析】 ○自分の体験をもとに、地域の自然の様子や人々の生活について、効果的かつ適切な手段で表現し、学習や生活に生かそうとする。【まとめ・表現】 	<ul style="list-style-type: none"> ○自然の美しさや偉大さに感動し、それを守ることの重要性に気付いて、自分にできることを実行しようとする。 ○環境を生かして生活する人々と関わり、その思いを理解し、共感する。
	文化的な活動の質の向上と創作意欲	<ul style="list-style-type: none"> ○より高い質の発表を行うためには、さらに幅広い情報収集を行い、発表内容や表現技法を獲得する必要があることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○数多くの資料の中から自分の発表に適した楽曲を探し、目的に合った情報を収集する。(情報収集) ○自分が表現したいことを相手により明確に伝えることを課題とし、解決への見通しや手順を明確にする。(課題設定) 	<ul style="list-style-type: none"> ○よりよい発表を実現するために様々な資料を得ようとする態度を養う。 ○仲間の思いや意見を受け止め、協力しながら探求的に学ぼうとする。
3	実社会で働く人々と自己の将来	<ul style="list-style-type: none"> ○希望や夢の実現に向けて必要なものを知る。 ○必要なものを身に付けるためにはどうすればよいか、自己の将来と共に考える。 ○実社会で働く人の講話を聞き、自己の見識を広げ、進路選択の一助とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○夢や希望の実現に向けて必要な情報を収集し、進路と踏まえて設定できるようにする。(課題設定) ○必要な情報をインターネットや学校見学会、説明会等の様々な方法で集める。(情報収集) ○集めた情報を、目的に沿って整理分析し、進学、就労について自己の考えを形成する。(整理・分析) ○進学、就労についての自己の考えをまとめ、進路決定に繋げていく。(まとめ・表現) 	<ul style="list-style-type: none"> ○場に応じた服装、礼節、言葉遣いがあることを知り、行動できるようにする。 ○ボランティアなどの場を設定し、体験することで、実社会に積極的に貢献できるようにする。 ○高齢者・障がい者などの福祉との関わりや年代の違う方々との意見交換、交流などを通して、他者の考えや異なる意見や考えを受け入れて尊重できるようにする。
	奈良・京都の歴史・文化の偉大さと、文化遺産を保存することの大切さ	<ul style="list-style-type: none"> ○我が国の歴史・文化の故郷である京都・奈良の文化遺産に、先人たちの築いた素晴らしさがあることがわかる。 ○人々の様々な努力のお蔭で、貴重な文化遺産が守られていることがわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○修学旅行で訪れる日本の伝統的な文化や歴史、古い歴史や伝統が息づく古都の街並みに着目した課題を設定する。【課題の設定】 ○各教科での学びを生かし、適切な手段で情報を収集する。【情報の収集】 ○古都の様子やそれを守る人々の生活について、比較、整理、関係性を分析する。【整理・分析】 ○自分の体験をもとに、古都の様子や文化遺産について、自分の表現方法で表現し、今後の生活に生かそうとする。【まとめ・表現】 	<ul style="list-style-type: none"> ○昔からの伝統文化を重んじ、それを受け継いで生活する人々と関わることで、その思いを理解、共感する。 ○文化遺産や自然を大切にしようとする心を養う。 ○グループで古都の名所や旧跡を訪ねることを通して、協調性を養う。また、役割を持たせることで責任感や自主性を育てる。
	文化的な活動の活性化と自主的活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○高等学校の文化祭などに足を運び、多様な表現活動に触れることで、図書やインターネットだけでは知ることのできない知識や表現技法があることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校生活全般や進路学習の中で培った知識をもとに、様々な表現の工夫の中から自分の発表に適した方法を考える。(整理・分析) ○自分自身で計画をし、準備日程の中でできることとそうでないことを判断し、決断する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自主的に意見を出し合いながら、学級の仲間と協働してよりよい発表を目指そうとする。 ○進路学習と関連付けながら、高校生の発表などを見聞きする中で、表現意欲を高める。

各教科等で育成する資質・能力

教科等を越えた全ての学習の基盤となる資質・能力

